

# SHARP

## インフォメーションディスプレイ

*MultiSync*<sup>®</sup>

形名

**PN-M982**

**PN-M862**

**PN-M752**

**PN-P756**

**取扱説明書**

**HDMI**<sup>®</sup>

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

**この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。**

●ご使用前に「安全にお使いいただくために」（4 ページ）を必ずお読みください。

# もくじ

ご使用前に.....	3	各種設定メニュー.....	32
安全にお使いいただくために.....	4	メニューの基本操作.....	32
使用上のご注意.....	11	メニュー項目の詳細.....	34
商標・ライセンスについて.....	12	入力.....	34
付属品を確認する.....	13	映像設定.....	37
各部の名前.....	14	音声設定.....	43
設置について.....	16	スケジュール.....	43
機器の接続.....	20	スロット.....	44
電源の接続.....	23	保護設定.....	48
リモコンの準備.....	24	システム.....	50
電池の入れかた.....	24	便利な機能.....	55
リモコンで操作できる範囲.....	24	リモコンIDモード機能について.....	65
電源の入/切.....	25	マルチディスプレイ接続.....	66
主電源を入れる.....	25	映像出力.....	69
電源を入れる.....	25	コンピューターで本機を制御する(RS-232C).....	70
電源を切る.....	25	コンピューターで本機を制御する(LAN).....	71
電源オンモードと電源オフモード.....	26	マルチ接続について.....	72
パワーマネージメント機能.....	27	HTTPを使用したブラウザー	
基本的な操作.....	28	によるネットワークの設定.....	73
ボタン/キーで操作する.....	28	ネットワーク設定.....	75
リモコンで操作する.....	28	コマンドによる制御.....	87
		Proof of Play機能.....	87
		故障かな?と思ったら.....	88
		アフターサービスについて.....	93
		仕様.....	94
		付録-A 外部のリソース.....	97
		設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用).....	98
		Crestron Connected 機能について.....	101

# ご使用前に

## 電波障害に関するご注意

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

付属のケーブルを使用してください。

HDMI 入力端子、DisplayPort 入力端子、USB Type-C1 (アップストリーム) 端子、USB Type-C2 (ダウンストリーム) 端子、USB Type-A 端子、RS-232C 入力端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

## 通信回線に接続するときのご注意

本機は法令上、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダなど）の通信回線（公衆無線 LAN を含む）に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続する場合は、必ずルーターなどの機器を経由して接続してください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

本商品は社団法人電子情報技術産業協会が定めた「表示装置の静電気」に関するガイドラインに適合しています。

## お願い

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。

残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。ただし、長時間同じ画像を表示し続けると、消えない場合があります。

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
- (2) この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 画面表示を含め本書に記載のイラストは説明用のものであり、実際とは多少異なります。
- (5) 本書に記載している数値は、お客様の環境などにより実際の数値と異なることがあります。
- (6) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では (3) 項および (4) 項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

# 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本書をお読みください。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 <b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の財産に損害をあたえたりすることがあります。

図記号の意味は次のとおりです。

	この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
	この記号はしてはいけないことを表しています。
	この記号はしなければならないことを表しています。

●ご使用前に、この欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。

 **警告**

 プラグを抜く	<p>下記の場合、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本機から煙が出ている、変なにおいがする、変な音がする場合</li> <li>・ 本機を落としたり、キャビネットを破損した場合</li> </ul> お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
 分解禁止	<p>裏ぶたを外さない、修理・改造をしない。</p> 内部には電圧の高い部分があり、さわるとけが・火災・感電の原因となります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
 使用禁止	<p>ぐらついたり、スタンドにひびがある場合は近づかない。</p> 本機が転倒してけがの原因となります。修理はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。
<p>電源コードについて</p>	
 禁止	<p>電源コードを傷つけない、加工しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源コードを本機や重い物の下敷きしない。</li> <li>・ 電源コードを敷物などで覆わない。</li> <li>・ 電源コードを無理に曲げない、ねじらない、引っ張らない。</li> <li>・ 電源コードを加熱しない。</li> </ul> 電源コードが破損すると、火災・感電の原因となります。破損した場合（芯線の露出・断線など）は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店に交換をご依頼ください。
 接触禁止	<p>雷が鳴り出したら、電源コードなどには触れない。</p> 感電の原因となります。
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。</p> 感電の原因となります。
 指示	<p>電源コードは付属または指定のものを使用する。</p> 付属や指定以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。付属の電源コードは本機専用です。安全のため他の機器には使用できません。AC 200 V (50/60Hz) のコンセントでお使いになる場合は、別売の電源コードが必要です。
 指示	<p>正しい電源電圧で使用する。</p> 付属の電源コードは AC100V・日本国内専用です。指定の電源電圧以外で使用すると火災・感電の原因となります。
 禁止	<p>アース線を電源コンセントに挿入・接触させない。</p> 火災・感電の原因となります。

## 安全にお使いいただくために

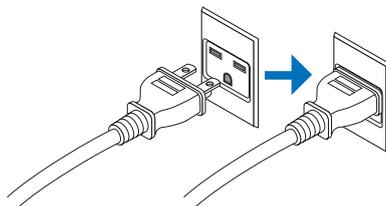
### 警告



アース線を  
接続せよ

#### アースに接続する。

- 本機はアース線つき 2 芯プラグ機器です。機器の安全確保のため、電源コードのアース線を、コンセントのアース端子に接続し、機器のアースを確実に接続してください。アースに接続しないと感電するおそれがあります。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接続してください。また、アース線を外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 200V 用電源コード（別売）をお使いになるときは、3 芯コンセントに直接接続し、機器のアースを確実に接続してください。2 芯プラグへの変換アダプターは使用しないでください。
- アースが接続できない場合は、専門の工事業者にご相談ください。



指示

#### 据え付け、取り付けは必ず工事専門業者または販売店に依頼する。

工事が不完全ですと重大事故の原因となります。



指示

#### 設置するときに気を付けること。

スタンドなどの取り付け器具が必要です。

運搬、移動、設置の際は十分な安全を確保できる人数（必ず 4 人以上）で作業し、必ずすべての取っ手を持ってください。落下してけがの原因となることがあります。

- 壁掛けや天吊りなど高所への設置は、アイボルト（M10）を使用して吊り上げ装置（機械）等で本機を吊り上げる。  
人の力だけで本機を持ち上げると、落下してけがの原因となることがあります。
- PN-M982: 自立スタンドを使用する場合は、床置きしないでください。机などに置いて使用するか、壁掛け金具をご使用ください。

市販の取り付け器具を使用する際は、器具の取扱説明書を参照し、取り付け、取り外し方法の詳細を確認してください。

布などで通風孔をふさがしないでください。内部に熱がこもり、火災や感電の原因となることがあります。

以下の場所には設置しないでください。

- 風通しや換気の悪い所
- 直射日光のあたる所や熱器具のそば
- 振動の多い所
- 湿気、ほこり、油煙、湯気の当たる所
- 腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど）の存在する所
- 屋外
- 温度、湿度が急激に変化し結露がしやすい所  
結露が起きたときには、結露がなくなるまで電源を入れずに放置してください。  
そのまま使用すると故障の原因となることがあります。
- 本機と取付金具の総重量を恒久的に十分に保持できない所  
荷重は必ず梁などの堅牢な構造材で受け、確実に取り付けてください。強度が不十分な場合、落下して重大事故の原因となることがあります。
- 人が容易にぶら下がったり、寄りかかれるような場所、頭や目がぶつかってしまうような所。

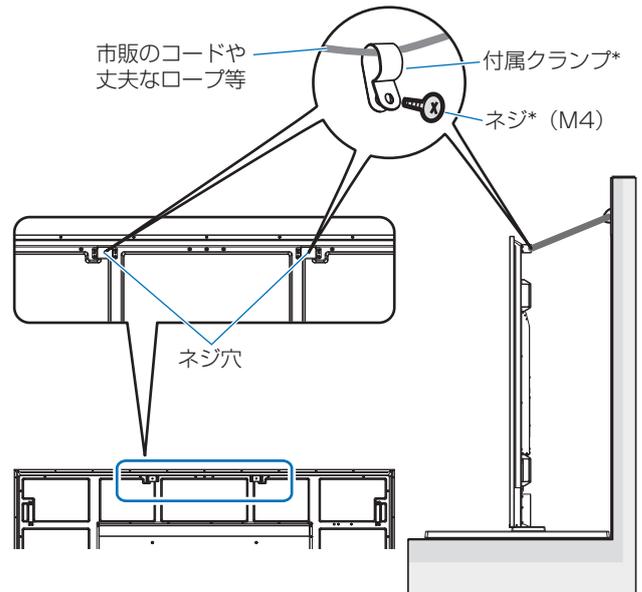
上下逆さまに設置しないでください。

## 警告

地震等での製品の転倒・落下によるけがなどを軽減するために、転倒・落下防止対策を講じる。

取り付ける壁や台の強度によっては、転倒・落下防止効果が大幅に減少します。その場合は、適当な補強を施してください。また、転倒・落下防止対策は、けがなどの軽減を意図したのですが、すべての地震に対してその効果を保証するものではありません。

- 丈夫なロープを用いて本機を固定する  
固定しないと転倒してけがの原因となることがあります。  
固定には付属のクランプ\*を付属のネジ(M4)\*で本機にしっかりとつけてください。アイボルトブラケットが付けられている場合は、アイボルトブラケットを使用して本機を固定してください。(\*: スタンドに付属)  
スタンドによっては転倒防止対策が施されている場合があります。スタンドの取扱説明書も参照ください。
- 本機を十分保持できる壁や柱などに、しっかり固定する。
- ロープは本機の重さに耐えられる丈夫なものを使用する。
- 本機を移動する場合は、事前にロープを外す。落下すると重大事故の原因となることがあります。
- 落下防止用ワイヤーのみでは絶対に壁掛け設置・天吊り設置しない。
- 建物や構造物の丈夫な箇所と本機の所定の箇所を市販のフック、金具などを用いて落下防止用ワイヤーで接続する。
- 市販のフック、金具、ワイヤーは本機を保持するのに十分強度のある物をご使用する。
- 落下防止用ワイヤーは少したるませるように設置する。



安定性と危険について

本機が落下すると重大事故の原因となることがあります。けがなどを軽減するために、本機を設置する際は取扱説明書の手順に従い、床や壁に確実に取り付けてください。特にお子様に関する事故の多くは簡単な方法で防ぐことができます。

- 推奨されているスタンドを使用し、取扱説明書の手順に従って取り付ける。
- 本機を安全に支えることができる什器に設置する。
- 本機がはみださない大きさの什器に設置する。
- 本機にさわろうとして設置している什器に登ったりすると危険であることをお子様に説明する。
- 本機に接続するコードやケーブルは、つまずかないように、また引っ張ったりつかんだりできないように配線する。
- 本機を不安定な場所に設置しない。
- 本機を背の高い什器に設置する場合は、本機と什器、什器と壁や柱など、それぞれをしっかりと固定する。
- 本機の下に布などを敷かない。
- 本機や設置している什器の上に、お子様の興味を引くようなもの(玩具やリモコンなど)は置かない。設置場所を変える場合は、上記をふまえ設置してください。



指示



禁止

ぐらつく台の上や、傾斜面、不安定な場所に置かない。  
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。



禁止

異物をいれない。  
火災・感電の原因となります。特にお子様にご注意ください。  
異物が本機の中に入った場合は、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にて修理をご依頼ください。

## 安全にお使いいただくために

### 警告

 水ぬれ禁止	<b>水のかかるところに置かない。</b> 水などが本機の内部に入った場合はすぐに本体の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてお買いあげの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、故障・火災・感電などの原因となります。 エアコン等水を排出する機器にも注意してください。
 禁止	<b>清掃時に可燃性ガスのスプレーを使用しない。</b> 火災の原因となります。
 指示	<b>オプションボードをしっかり固定する。</b> オプションボードは、スロットカバーを固定しているネジを使用し、しっかりと固定してください。固定しないと、落下して重大事故の原因となります。
 禁止	生命維持にかかわる医療機器などの人命に直接かかわる業務や、航空機、原子力設備などの極めて高い信頼性を必要とする業務には使用できません。

## ⚠ 注意

### 電源コードについて

 指示	電源プラグの抜き差ししやすい場所のコンセントを使用する。
 しっかり 差し込む	電源プラグを奥までさしこむ。 電源コードが容易に抜けるのを防止する。 差し込みが不完全だと発熱したり、ほこりが付着して火災の原因となります。また、電源プラグの刃に触れると感電の原因となります。 電源コードが抜けるのを防止するため、本機付属のケーブルクランプとネジで固定してください。
 指示	火災や感電を防ぐために、次のことを守る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。</li> <li>・ お手入れのときや、夜間、休業日などで長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。</li> <li>・ 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みがゆるく電源プラグがぐらついているときは、使用をやめる。お買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご相談ください。</li> </ul>
 ほこりを取る	電源プラグのほこりなどは定期的に取り除く。 火災・感電の原因となることがあります。
 指示	電源コードやケーブル類を抜いてから移動する。 コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。電源コードが傷つき火災や感電の原因となることがあります。
 禁止	電源コードは、タコ足配線しない。 タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。
 禁止	電源コードおよび USB ケーブルは束ねない（丸めない）。 ケーブルが発熱して火災の原因となるおそれがあります。
 禁止	過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない。 本機の LAN 端子は、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN 端子に過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。
 禁止	本機を設置している台には乗らない。 本機が倒れたり、置き台が動いたりしてけがの原因となることがあります。 キャスター付き置き台に本機を設置する場合は、必ずキャスター止めをしてください。
 指示	スタンドの取り付けや高さを調節する場合。 本機とスタンドの間に手や指をはさむとけがの原因となることがあります。 高さ調節が可能なスタンドは指定された位置に固定してください。指定以外の位置では、転倒してけがの原因となることがあります。
 禁止	本機を強く押さない、乗らない、つかまない、ぶら下らない。 硬いものでこすったり、たたいたりしない。 破損して火災、感電、けがの原因となることがあります。
 禁止	画面に衝撃を加えない。 先のとがった物で押さない。 破損してけがや故障の原因となることがあります。

## 安全にお使いいただくために

### 注意

 指示	<p><b>乾電池は適切に取り扱う。</b>            乾電池は誤った使い方をすると液漏れや破裂によるけがの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定以外の電池を使用しない。</li> <li>・ 乾電池のプラスとマイナスを、表示のとおり正しく入れる。</li> <li>・ 種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。              乾電池は種類によって特性が異なります。</li> <li>・ 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。              新しい乾電池の寿命を短くしたり、古い乾電池から液が漏れるおそれがあります。</li> <li>・ 乾電池が使えなくなったら、すぐに取り出す。              液が漏れて故障の原因となるおそれがあります。              漏れた液に触れたときは、ただちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。              漏れた液が目に入ったときは、こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。              皮膚がかぶれたり、目に障害を与える原因となるおそれがあります。</li> <li>・ 長時間使わないときは、電池を取り出す。</li> <li>・ 高温になる場所や気圧の低い場所に放置しない。              破裂したり乾電池から可燃性の液やガスが漏れる可能性があります。</li> <li>・ 乾電池を水の中に投入したり、器具で押しつぶしたり、焼却、加熱、切断、改造しない。              破裂のおそれがあります。</li> <li>・ 乾電池をショートや充電をしない。</li> <li>・ 乾電池を廃棄する際は、プラス (+) とマイナス (-) をセロハンテープで絶縁して廃棄する。              廃棄する際は販売店、または自治体に問い合わせてください。</li> </ul>
 禁止	<p><b>本機の温度が高くなる部分に長時間触れない。</b>            低温やけどの原因となることがあります。</p>
 指示	<p><b>適度な明るさの環境で使用する。</b>            画面の反射による目の疲れを防ぐために、適度な明るさの中でご使用ください。</p>
 通風孔の清掃	<p><b>通風孔を掃除する。</b>            通風孔がごみやほこりでふさがると内部に熱がこもり火災や感電の原因となることがあります。月に一度は通風孔に付着したごみやほこりを取り除いてください。</p>
 内部清掃	<p><b>1年に一度は内部掃除を。</b>            内部にほこりがたまったまま使うと、内部に熱がこもり火災や故障の原因となることがあります。内部掃除はお買いあげの販売店またはお客様ご相談窓口にご依頼ください。</p>
 指示	<p><b>温度や湿度が急激に変化する環境での使用や保管は避ける。</b>            以下の使用環境・保管環境を守らなかった場合は故障、火災や感電などの原因となることがあります。            使用環境温度：0～40℃ / 湿度：20～80%（結露のないこと）            保管環境温度：-20～60℃ / 湿度：10～80%（結露のないこと）</p>

# 使用上のご注意

 国内専用	<p><b>本製品は日本国内用として製造・販売しています。</b> 日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。 またこの製品に関する技術相談、アフターサービス等も日本国外ではお受けできません。 This product is designed for use in Japan and can not be used in any other countries.</p>
 指示	<p><b>キャビネットのお手入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• お手入れの際は電源プラグを抜いてください。</li><li>• 柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときには水でうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。</li><li>• ベンジンやシンナー、アルカリ性洗剤、アルコール系洗剤、ガラスクリーナー、ワックス、研磨クリーナー、粉石鹸などでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変質・ひび割れしたり、塗装がはげる原因となることがあります。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。キャビネットおよびスタンドが変色したり、変質・ひび割れするなどの原因となることがあります。</li></ul>
<p><b>画面のお手入れ</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 画面にほこりがついた場合は、市販の静電気除去ブラシ（除じん用ブラシ）をお使いください。</li><li>• 画面の汚れは、乾いたきれいな布で軽くふき取ってください。しめった布や化学ぞうきんでふき取らないでください。また、同じ布を繰り返し使用しないでください。</li><li>• 画面は傷つきやすいので、硬いもので押しったりこすったりしないように注意してください。</li><li>• 画面は触指などにより汚れることのないように注意してください。</li></ul>	
<p><b>上手な見方</b></p> <p>明るすぎる部屋は目が疲れます。適度な明るさの中でご使用ください。 また、連続して長い時間、画面を見ていると目が疲れます。</p>	
<p><b>電磁波妨害に注意してください</b></p> <p>本機の近くで携帯電話などの電子機器を使うと、電磁波妨害などにより機器相互間での干渉が起こり、映像が乱れたり雑音が発生したりすることがあります。</p>	
<p><b>ネットワークについて</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• ネットワークには、通信内容を盗み見られたり、不正にアクセスされるなどの危険があります。安全が確保されたネットワークで使用してください。</li></ul>	
<p><b>画面保護機能（モーション）について</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>• 本機は、液晶パネルの残像を軽減させるため、約 60 秒ごとに表示が上下左右に少し動きます。（出荷時設定）動きを止める場合は、「モーション」を「オフ」にしてください。（<a href="#">49 ページ</a>）</li></ul>	

### 商標・ライセンスについて

- Microsoft® およびWindows® は、マイクロソフトグループの企業の商標です。
- DisplayPort および DisplayPort ロゴは、Video Electronics Standards Association の米国その他の国における商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- MultiSync、TILE COMP はシャープ NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- Intel 及び Intel ロゴは、Intel Corporation またはその子会社の商標です。
- Ethernet は米国ゼロックス社の登録商標です。
- VESA は Video Electronics Standards Association の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Blu-ray は、Blu-ray Disc Association の商標です。
- USB Type-C® および USB-C® は USB インプリメンターズ・フォーラムの登録商標です。
- Crestron™、Crestron ロゴ、Crestron Connected™、Crestron Fusion™、および XiO Cloud™ は、Crestron Electronics, Inc. の、米国その他の国における商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、各社の商標および登録商標です。

# 付属品を確認する

万一、不足のものがありましたら、販売店にご連絡ください。

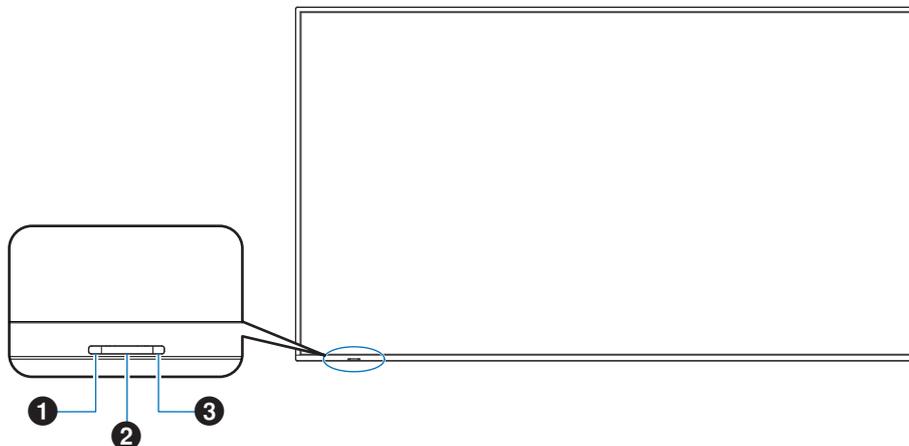
- 本体：1 台
- リモコン：1 個
- リモコン用乾電池（単 4 形）：2 本
- ケーブルクランプ：1 個
- ケーブルクランプ取付ネジ（M4）：1 個
- 電源コード（AC100V 用・約 3m）：1 本
- セットアップマニュアル：1 部
- 保証書：1 部
- HDMI ケーブル（約 3 m）：1 本

## ご参考

- AC200V（50/60Hz）のコンセントを使用するときは、別売の電源コード（QACCJ1093MPPZ）を使用してください。

# 各部の名前

## ■ 前面

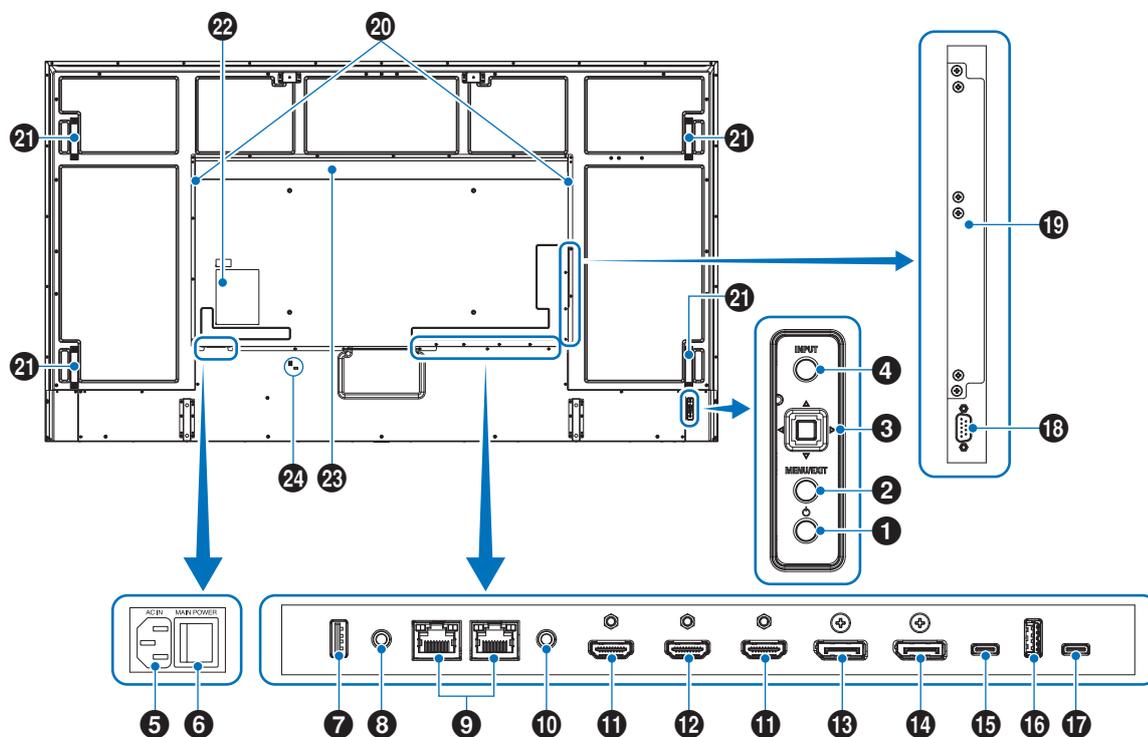


- ① 電源ランプ (26 ページ)
- ② リモコン受光部 (24 ページ)
- ③ 外光センサー (40 ページ)

### ご参考

- ・ 外光センサーは周囲の明るさを検知するセンサーです。「外光センサー」を有効にした場合に使用します。「外光センサー」を有効にしたときは障害物の陰にならないよう注意してください。

## ■ 後面

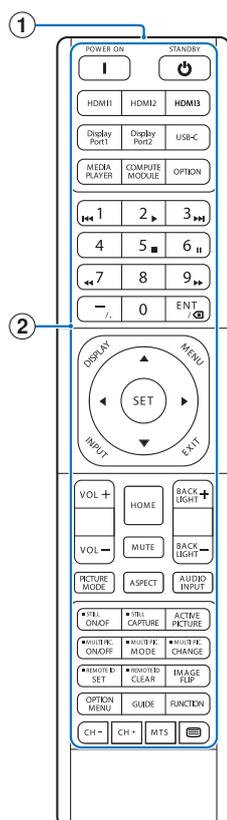


- ① POWER (電源) ボタン (28 ページ)
- ② MENU/EXIT ボタン (28 ページ)
- ③ Joystick キー /SET ボタン (28 ページ)
- ④ INPUT (入力切替) ボタン (28 ページ)
- ⑤ 電源接続端子 (23 ページ)
- ⑥ 主電源スイッチ (25 ページ)

- ⑦ サービス端子 (20 ページ)
- ⑧ 音声出力端子 (20 ページ)
- ⑨ LAN 端子 (20 ページ)
- ⑩ リモート入力端子 (ステレオミニジャック)  
(20 ページ)
- ⑪ HDMI1/2 入力端子 (HDMI1 (ARC) /HDMI2)  
(20 ページ)
- ⑫ HDMI 出力端子 (21 ページ)
- ⑬ DisplayPort 入力端子 (21 ページ)
- ⑭ DisplayPort 出力端子 (21 ページ)
- ⑮ USB Type-C1 (アップストリーム) 端子  
(21 ページ)
- ⑯ USB Type-A 端子 (21 ページ)
- ⑰ USB Type-C2 (ダウンストリーム) 端子  
(21 ページ)
- ⑱ RS-232C 入力端子 (21 ページ)
- ⑲ オプションボードスロット (22 ページ)
- ⑳ スピーカー
- ㉑ 取っ手
- ㉒ ラベル
- ㉓ 通風孔
- ㉔ セキュリティースロット

セキュリティースロットは、市販のケンジントン社製セキュリ  
ティークーブルに対応しています。

## ■ リモコン



- ① 発信部
- ② 操作ボタン (28 ページ)

# 設置について

## お客様へ

設置業者の紹介につきましては、販売店へご相談ください。壁掛けや天吊り設置に関する設置業者との契約につきましてはお客様の責任においてご契約ください。

## 設置後のメンテナンス

- ねじのゆるみや部品のずれ・ゆがみなど異常や不具合が発見された場合には、すぐに工事専門業者または販売店に修理を依頼してください。
- 環境によっては経年変化で取り付け部などの強度が不足するおそれがあります。定期的に工事専門業者に点検を依頼し、メンテナンスをしてください。

## ご注意

- 本体のパネル表面にガラスやアクリル製の保護カバーをかぶせると、パネル表面が密閉され内部温度が上昇します。コンピューターのパワーマネージメント機能を利用したり、ディスプレイの輝度を低くするなどして内部温度の上昇を防いでください。

## 設置業者様へ

SHARP 販売店、設置業者の方は、「設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）」をご確認ください（96 ページ）。

壁や天井に本機を設置する際には、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所（コンクリートの壁や柱など）に取り付けてください。

本機の質量は「製品仕様」を参照ください。

誤った設置、改造、自然災害による損傷につきましては、保証の対象範囲外です。

以上の推奨事項に従わなかった場合、保証書は無効になることがあります。

通風孔を取付金具などの器具でふさがないようにご注意ください。

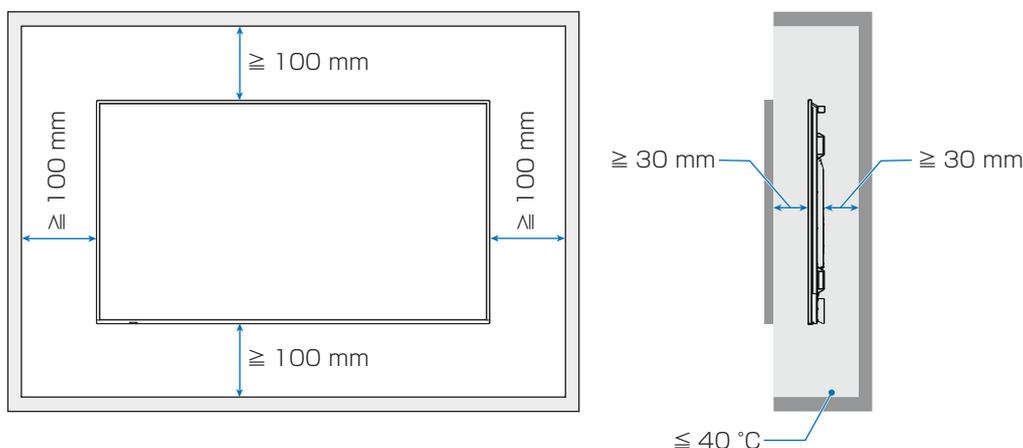
設置の場所や状態によって本機内部に熱がこもらないように、空調や通風には十分配慮してください。

## ■ 据付条件

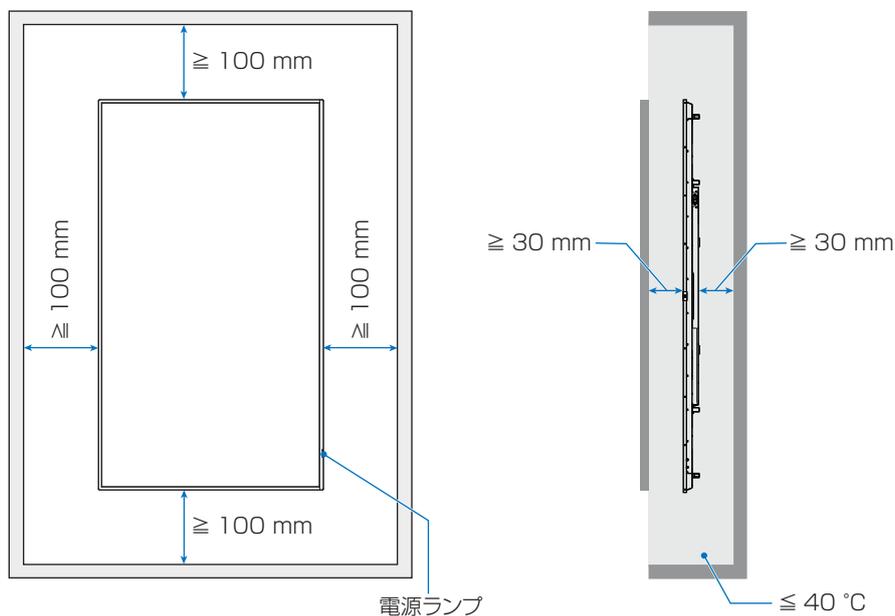
熱がこもるのを防ぐため、狭い場所（壁埋め込みなど）に設置する場合は、ディスプレイの周囲は下図のように壁から離してください。

- 本機の使用环境温度の範囲は 0 ~ 40 °C です。
- 別売品取り付け時の周囲温度は、別売品の説明書をご確認ください。別売品を付けると周囲温度が変わる場合があります。

## 横長で使用する場合

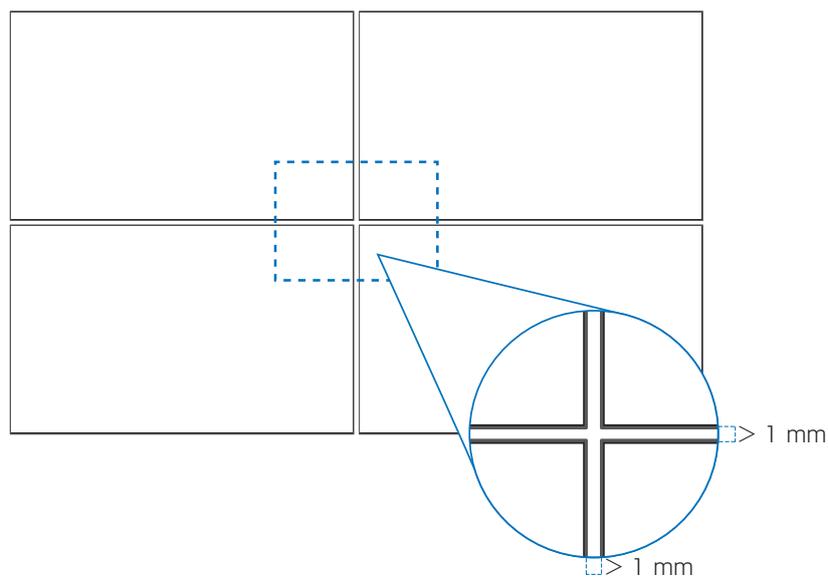


縦長で使用する場合



**ご注意**

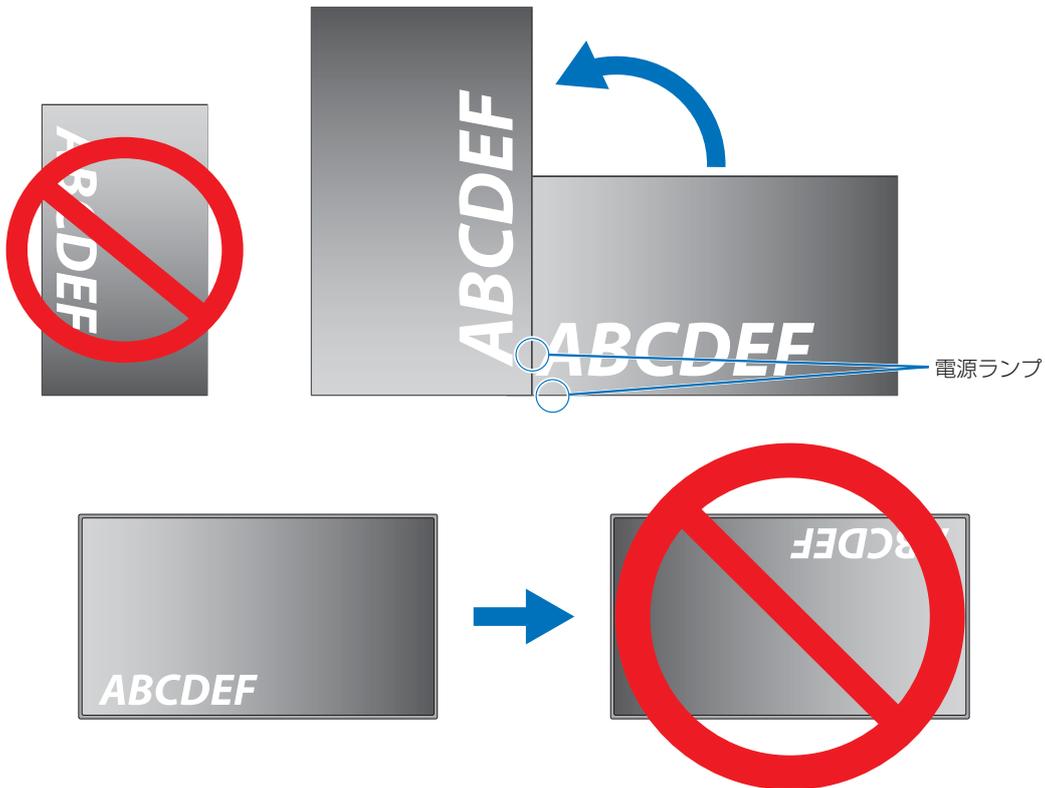
- 内部温度が高温になると「警告」が表示されます。「警告」が表示されたら本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。
- 本機をケースなどの中でお使いの場合、あるいは液晶パネルの表面をアクリル板などで覆っている場合は、本機の周囲温度をチェックしてください。周囲温度が本機の動作温度を上回ったときは本機の使用を中止して電源を切り、温度が下がるのを待ってください。
- ディスプレイをマルチスクリーン構成で設置し長時間使用した場合、本機の内部温度の変化によりディスプレイが若干膨張することがあります。隣り合うディスプレイとの間に 1 mm 以上の隙間をあけて設置されることをおすすめします。



## 設置について

### ■ 取り付け向きについて

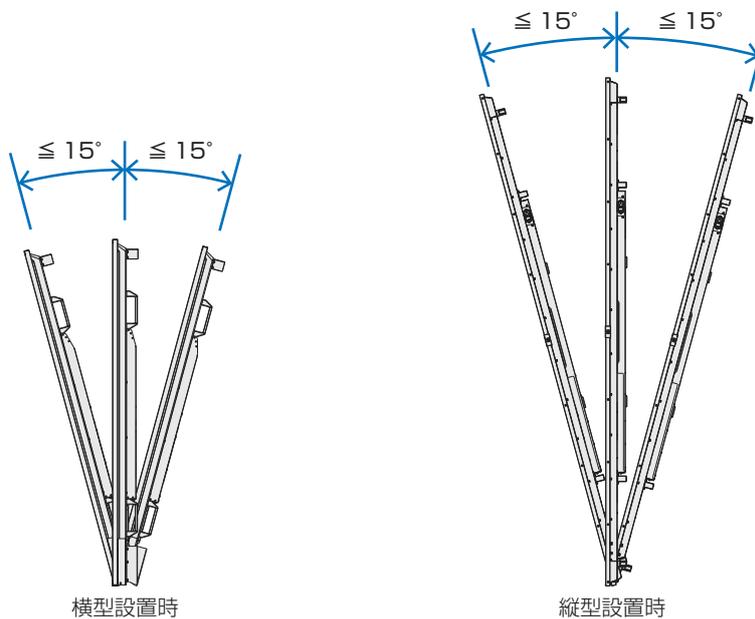
本機を縦型設置で使用するときには、必ず正面から見て右側面を上側に、左側面が下になるよう反時計回りに回転してください。誤った向きに設置すると、本体内部に熱がこもることがありディスプレイの寿命が縮む可能性があります。上下逆さまでの設置はできません。



本機は 16°以上に傾けた状態で使用することはできません。

### ■ ご注意

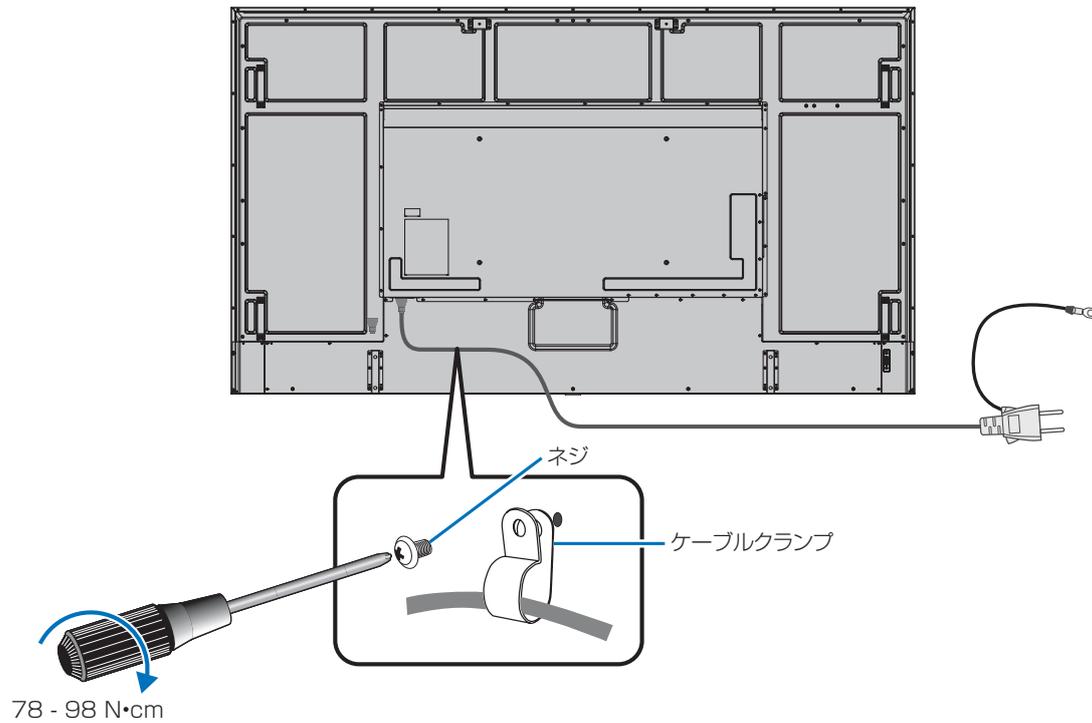
- 16°以上に傾けた状態で設置すると、故障の原因となります。



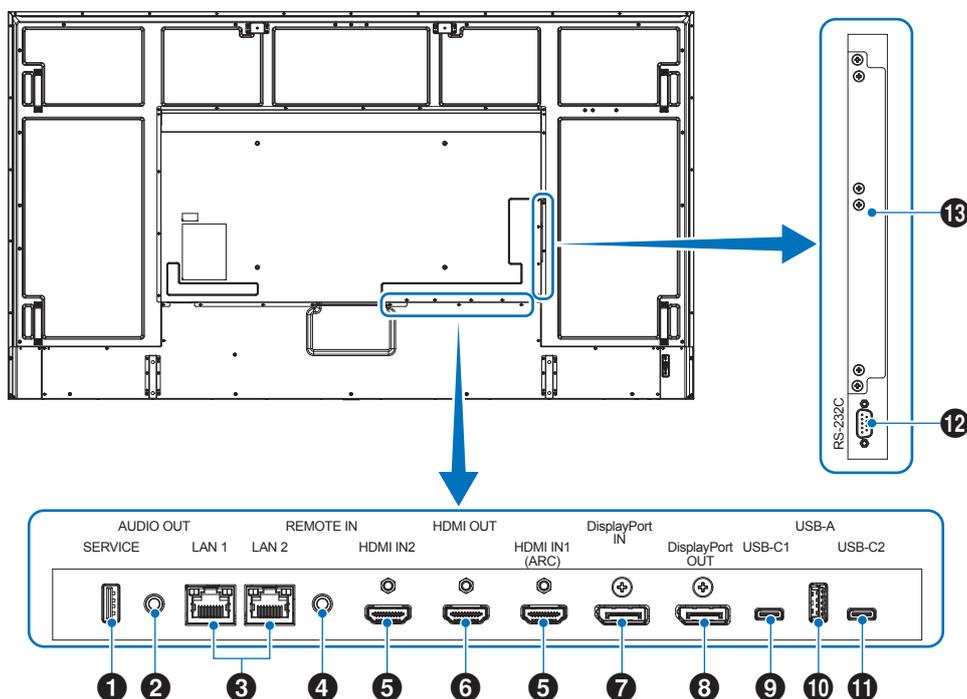
## ■ 電源コードをクランプで固定する

電源コード（付属）は、必ず固定部に付属のケーブルクランプで固定してください。

固定するときは、電源コード（付属）の端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コード（付属）を無理に曲げないようにしてください。



# 機器の接続



## ご注意

- コンピューターに接続する前に、本機、コンピューターおよび周辺機器の主電源を切ってください。
- それぞれの機器の取扱説明書を参照してください。
- USB メモリーは本機の主電源がオフのときに抜き差しすることをおすすめします。
- USB メモリーは必要に応じてウイルスチェックを実施してください。

### ① サービス端子

USB Type-A、サービスサポート用。ファームウェアの更新に使用します。

### ② 音声出力端子

選択されている音声を出力します。

## ご注意

- ヘッドホン用端子ではありません。

### ③ LAN 端子 (RJ-45)

市販の LAN ケーブルを使ってネットワークに接続します。ネットワーク経由で、本機をネットワーク上のコンピューターから制御することができます。

### ④ リモート入力端子 (ステレオミニジャック)

本端子に別売のコントロールキットのセンサーユニットを接続すると、センサーユニット上のリモコン受光部を利用してリモコンで制御できます。

## ご注意

- 指定のもの以外は使用しないでください。

## ご参考

- センサーユニットを接続した場合、本機のリモコン受光部は動作しません。
- 本機に付属しているリモコンを使って操作してください。

### ⑤ HDMI 入力端子 (HDMI IN1 (ARC) /HDMI IN2)

デジタル映像インターフェースの HDMI 規格に準拠した機器と接続します。

#### HDMI1 (ARC):

HDMI1 端子は ARC (オーディオリターンチャンネル) 機能に対応しています。ARC に対応した HDMI ケーブルを接続してください。

### HDMI2:

#### ご参考

- 付属の ARC 対応 HDMI ケーブル 1 本で、本機の音声を AV アンプなど ARC 対応のオーディオ機器から出力することができます。付属のリモコンを使用してオーディオ機器の音声などを調節することができます。
- HDMI ケーブルは HDMI ロゴがついているものをご使用ください。4K 信号を入力するときはハイスピード対応の HDMI ケーブルをご使用ください。
- 本機の映像入力機能は HDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection) で保護された映像コンテンツに対応しています。HDCP の規格が変更された場合など、本機が故障していなくても、デジタル入力信号の映像が表示されないことがあります。
- HDMI の仕様により、お使いの HDMI ケーブルや HDMI 機器では映像を正しく表示することができない場合があります。
- 対応信号は仕様 (94 ページ) を参照ください。

### 6 HDMI 出力端子

本機に表示されている画面、出力されている音声を外部機器に出力できます。

HDMI2、オプションボードスロット入力からの信号を出力します。

### 7 DisplayPort 入力端子

デジタル映像インターフェースの DisplayPort 出力端子と接続します。

### 8 DisplayPort 出力端子

本機に表示されている画面、出力されている音声を外部機器に出力できます。

DisplayPort、USB Type-C1 (アップストリーム) 入力からの信号を出力します。

### 9 USB Type-C1 (アップストリーム) 端子

電源供給 : 5 V/3 A、9 V/3 A、12 V/3 A、15 V/3 A、20 V/3.25 A。  
(5 V/3 A オプションボード装着時)

USB ケーブルを接続する際は、端子形状が合っていることを確認してください。USB Type-C 端子を電源に使用する場合は、3.25A 対応の USB ケーブルを使用してください。

接続する USB Type-C 機器が DisplayPort Alt Mode on USB Type-C 規格に対応している場合に動作します。対応していない場合は、USB ハブとして使用できます。接続された機器に電源を供給するためには、Power delivery 規格に対応している必要があります。

#### ご注意

- USB ケーブルを束ねないでください。過熱や火災の原因となります。

#### ご参考

- 接続したすべての機器に電源の供給を保証するものではありません。接続した機器の取扱説明書で供給に必要な条件を確認してください。

### 10 USB Type-A 端子

USB 2.0/USB 3.2Gen1 準拠。

この端子に接続したマウスなどの外部機器で、USB Type-C1 端子に接続しているコンピューターを制御できます。外部 USB 機器 (カメラ、USB メモリー、キーボードなど) も接続できます。

#### ご注意

- USB ケーブルの端子形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB メモリーを本機に接続 / 取り外ししないでください。本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスの接続 / 取り外しをすることをおすすめします。

#### ご参考

- 本機に接続した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。使用する USB メモリーは、FAT32 形式フォーマットにしてください。フォーマット方法については、お使いのコンピューターの取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。
- 市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

### 11 USB Type-C2 (ダウンストリーム) 端子

USB 2.0/USB 3.2Gen1 準拠。

この端子に接続したマウスなどの外部機器で、USB Type-C1 端子に接続しているコンピューターを制御できます。外部 USB 機器 (カメラ、USB メモリー、キーボードなど) も接続できます。

#### ご注意

- USB ケーブルの端子形状および向きをよく確かめてから接続してください。
- 本機の電源がオンのときに USB メモリーを本機に接続 / 取り外ししないでください。本機の故障やデバイスに保存されたファイルの破損を避けるために、本機の電源がオフのときにデバイスの接続 / 取り外しをすることをおすすめします。

#### ご参考

- 本機に接続した USB メモリーが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。使用する USB メモリーは、FAT32 形式フォーマットにしてください。フォーマット方法については、お使いのコンピューターの取扱説明書またはヘルプファイルを参照ください。
- 市販されているすべての USB メモリーの動作を保証するものではありません。

### 12 RS-232C 入力端子 (D-SUB 9 ピン)

コンピューターを接続します。詳細は本取扱説明書の「RS-232C 経由でのディスプレイ制御」を参照ください。

## 機器の接続

### 13 オプションボードスロット

インテル<sup>®</sup> SDM の仕様に対応した市販のオプションボードが装着できます。

#### ご参考

対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

#### 注意

付属のケーブルを使用してください。

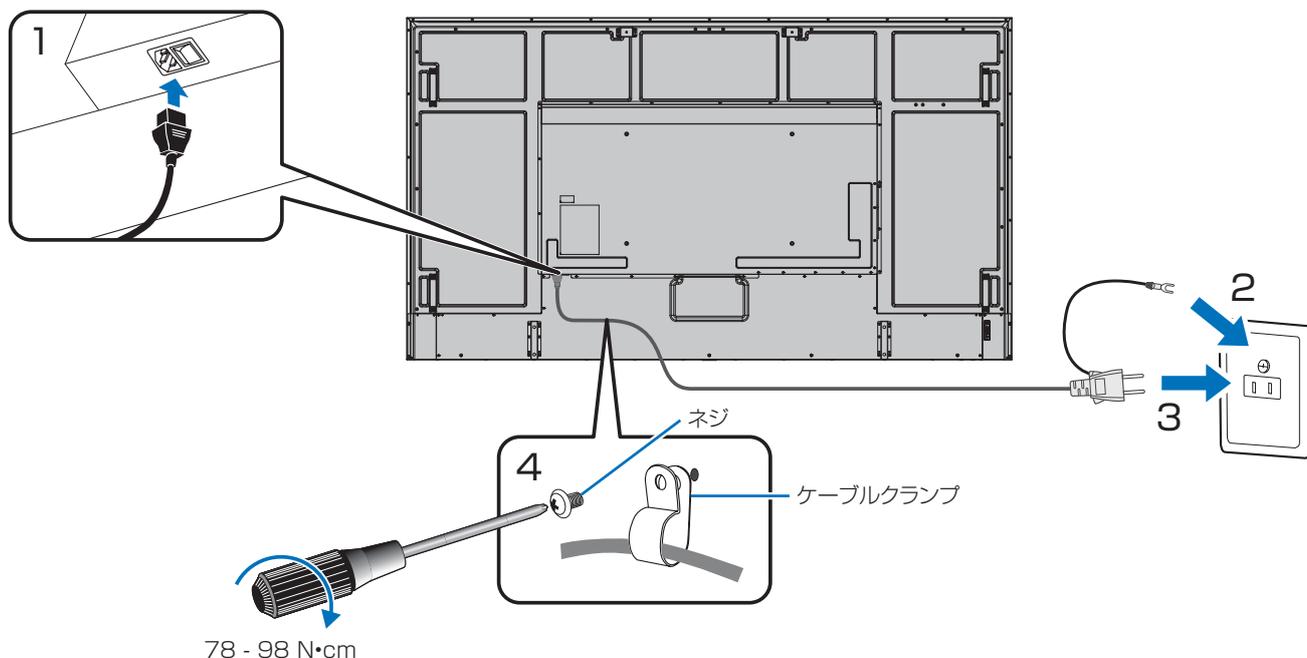
HDMI 入力端子、DisplayPort 入力端子、USB Type-C 1 (アップストリーム) 端子、USB Type-C 2 (ダウンストリーム) 端子、USB Type-A 端子、RS-232C 入力端子はシールドタイプを使用してください。これ以外のタイプのケーブルを使用した場合、受信障害の原因となることがあります。

#### ご注意

- 本機または外部機器の主電源がオンの場合、ケーブルを抜き差ししないでください。
- 接続するオーディオ機器端子の形状がステレオミニジャックの場合は、オーディオケーブルは抵抗なしを使用してください。抵抗ありのオーディオケーブルを使用した場合、音量が大きくならなかったり、音が出ない場合があります。

# 電源の接続

1. 電源コード(付属)を電源接続端子に差し込む。
2. 電源コード(付属)のアース線を(アースに)接続する。
3. 電源コード(付属)のプラグをコンセントに差し込む。
4. 電源コード(付属)をケーブルクランプで固定する。



## ご注意

- 電源コンセントに接続するときは、本機の使用に十分な電力が供給されることを確認してください。本機の使用電源は「製品仕様」を参照ください。
- 電源コードは本機に接続してから電源コンセントに接続してください。

## ご参考

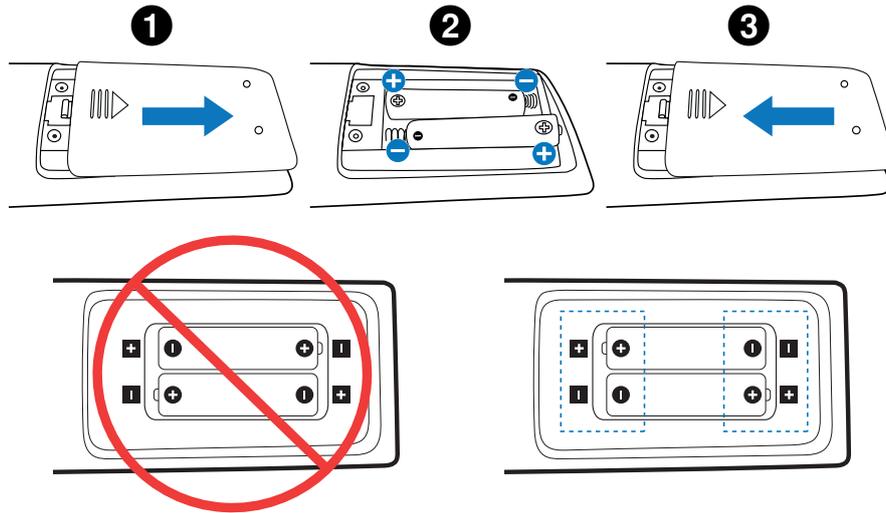
- AC200 V (50/60 Hz) のコンセントを使用するときは、別売の電源コード (QACCJ1093MPPZ) を使用してください。
- 電源コード (付属) は、必ず付属のケーブルクランプで固定してください。固定するときは、電源コード (付属) の端子部分に力が加わらないようにしてください。また電源コード (付属) を無理に曲げないようにしてください。

# リモコンの準備

## 電池の入れかた

単 4 形乾電池 2 つが必要です。

下図に従って電池を入れてください。



### ご参考

- ・ リモコンに付属の乾電池は保存状態により短時間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- ・ 長期間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して保管してください。
- ・ 電池は、マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。

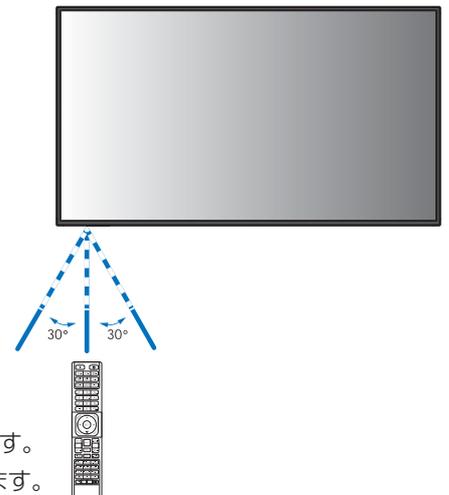
## リモコンで操作できる範囲

リモコンの操作をするときは本機のリモコン受光部の方向にリモコンの先を向けてください。

リモコンは、リモコン受光部から 7 m 以内、上下左右 30°では 3.5 m 以内でご使用ください。

### リモコンの取り扱いについて

- ・ 強い衝撃を与えないでください。
- ・ 水に濡らさないでください。もし濡れた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ 熱やスチームなどにあてないでください。
- ・ 電池を廃棄する際は、お買いあげの販売店、または自治体にお問い合わせください。
- ・ 電池交換のとき以外はリモコンのふたを開けないでください。



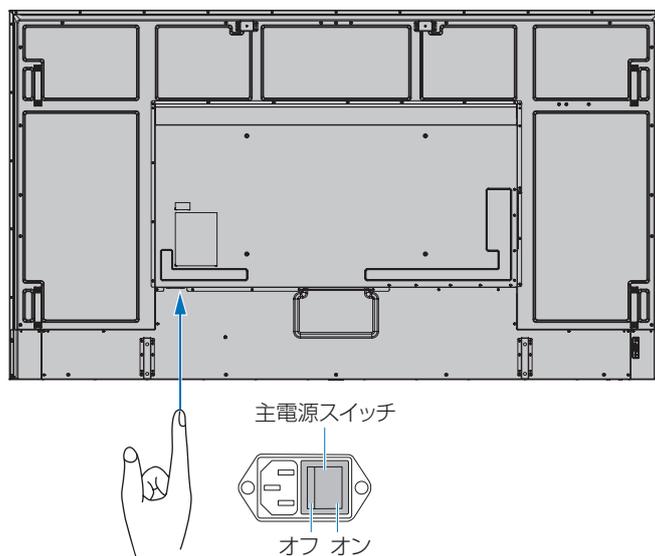
### ご注意

- ・ リモコン受光部に直接日光や強い照明が当たっているとリモコンが動作しにくくなります。
- ・ リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物があると、操作できないことがあります。
- ・ 電池が消耗してくると、操作できる距離が徐々に短くなります。早めに新しい電池に交換してください。
- ・ 蛍光灯などが近くにある場合は、動作しにくいことがあります。
- ・ 誤動作防止のために、エアコンやステレオコンポなど、他の機器のリモコンと同時に使用しないでください。
- ・ 他の機器のリモコンによる影響が懸念される場合は、リモコンの識別 ID (リモコン ID) を設定するなどして誤動作を防止してください。

# 電源の入／切

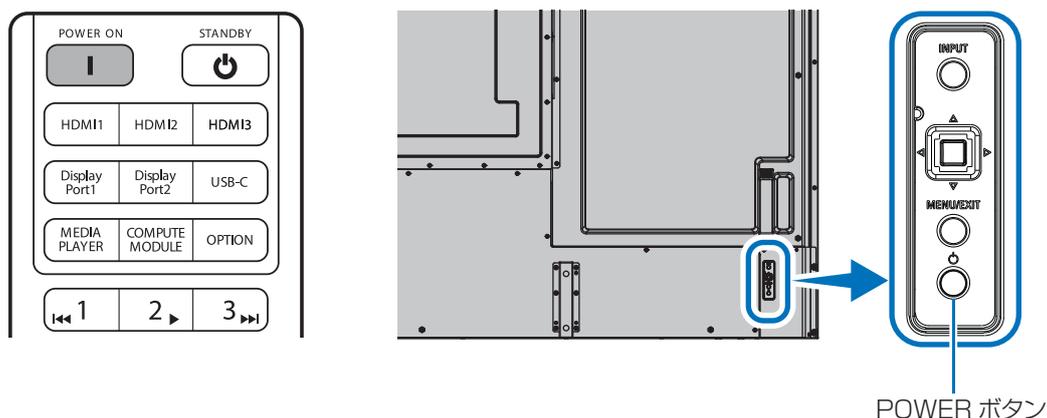
## 主電源を入れる

主電源スイッチがオン（|）になっていることを確認してください。



## 電源を入れる

主電源の切／入は、主電源スイッチでおこなってください。主電源が「切」の場合、電源を入れることはできません。本機の電源を入れたあとに、コンピューターや再生機器の電源を入れてください。



## ■ 初回電源投入後の操作

初めて電源を入れると、スタート画面が表示されます。リモコンの ▲/▼ ボタンで「スタート」を選択し、SET ボタンを押してください。表示される画面に従って、言語や日付などを設定してください。

## 電源を切る

### 1. 本体のPOWERボタンを押す、またはリモコンのSTANDBYボタンを押します。

電源が切れます。(スタンバイ状態)

## 電源の入／切

### 電源オンモードと電源オフモード

POWER ボタンを押して本機をオンにします。

本体の電源ランプが、電源の状態を示します。電源ランプと本機の状態とその復帰方法については、以下の表を参照ください。

電源ランプ色と点灯パターン	状態	復帰方法
青色点灯	通常動作時	
緑色点滅* <sup>2</sup>	選択している映像信号がない状態で一定時間* <sup>1</sup> 経過した場合で以下の状態のどれかを満たした場合 <ul style="list-style-type: none"><li>別売のセンサーユニットをリモート入力端子に接続していない場合、または「人感センサー」が「オフ」の場合</li><li>「入力選択」が「HDMI2」で、HDMI2 端子にケーブルを接続している場合</li><li>「スロット電源」が「オン」か「自動」で、オプションボードが装着されている場合</li><li>「スロット電源」が「オン」になっている場合</li><li>「CEC」の「電源連動」が「許可」になっている場合</li><li>「DisplayPort バージョン」が「1.2 MST」または「1.4 MST」になっている場合</li><li>「自動入力切換」(OSD 機能)が「オフ」以外になっている場合</li><li>「USB 電源」が「オン」になっている場合</li><li>「クイック起動」が有効になっている場合</li></ul>	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。 2. 映像信号を入力する。
橙色点灯* <sup>2</sup> (ネットワークスタンバイモード)	<ul style="list-style-type: none"><li>緑色点滅の条件に該当せず 20 秒*<sup>3</sup> 経過した時、本機が LAN 接続を認識し、選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合</li></ul>	
橙色点滅* <sup>2</sup> (スタンバイモード)	<ul style="list-style-type: none"><li>橙色点滅の条件に該当せず 3.5 分経過した時、本機が LAN 接続の認識および選択している映像信号がない状態で一定時間経過した場合</li></ul>	
赤色点灯	ネットワーク機器や映像信号機器との接続状態に関わらず、リモコンなどで本機をオフした場合	1. リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンする。

\*1: 本機がパワーセーブに移行する時間は、OSD メニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「時間設定」で設定できます。

\*2: 「パワーセーブ」が「許可」になっている場合。

\*3: 「入力選択」が「HDMI2」でHDMI2端子にケーブルを接続していない場合は、90秒です。  
「入力選択」が「USB-C」の場合は、3分です。

#### ご参考

- 通常動作時は青色に点灯します。電源ランプを消灯したい場合は「システム」→「電源ランプ」で「オフ」を設定してください。
- 入力が USB-C (アップストリーム) の場合、電源ランプが橙色点灯または点滅の状態になると、映像信号を入力しても表示できません。映像信号入力で本機を復帰させる場合は、「クイック起動」を有効に設定してください。「クイック起動」が無効の場合は、リモコンもしくは本体のボタンで本機をオンにしてください。

#### ご注意

- 電源ランプが短い点灯と長い点灯の組み合わせで赤色に点滅した場合は故障の可能性があります。販売店へお問い合わせください。
- ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があり、バックライトの明るさは使用時間に応じて低下します。
- 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。ただし、長時間同じ画像を表示し続けると、消えない場合があります。本機を長くご使用いただくために、次の点にご注意ください。
  - 使用していないときは本機の主電源を切ってください。
  - 本体の POWER ボタンまたはリモコンのSTANDBYボタンで本機をスタンバイ状態にしてください。
  - OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」を使用してください。信号が入力されないときに自動的にパワーセーブモードに切り替わります。
  - OSDメニューの「スケジュール」を使用して、使用する時間に合わせて自動的に電源をオンまたはスタンバイ状態にしてください。

## パワーマネジメント機能

本機の主電源を入れたままでも、コンピューターを使用しないときに本機の消費電力を減少させる機能です。

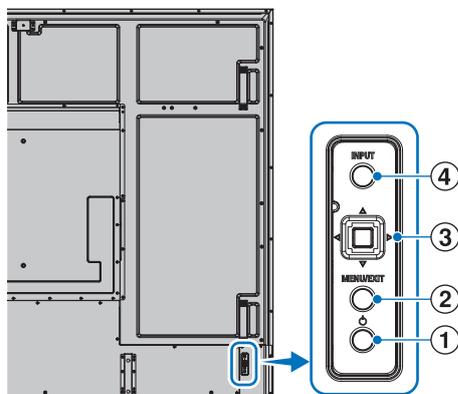
ビデオカードによっては正しく動作しない場合があります。OSDメニューの「保護設定」→「パワーセーブ設定」→「パワーセーブ」を有効にした場合、入力信号が失われてから設定した時間が経過すると、自動的にパワーマネジメント機能に入ります。

### ご参考

- お使いのコンピューターやビデオカードによっては、パワーマネジメント機能が働かないことがあります。
- 映像信号が途絶えると、設定した時間の経過後ディスプレイは自動的にオフになります。
- 本機の電源オンおよびスタンバイ状態へ移行するまでのスケジュール ([55 ページ](#)) を設定することができます。
- パワーマネジメント機能に関しては「保護設定」→「パワーセーブ設定」を参照ください。

# 基本的な操作

## ボタン/キーで操作する



### ① POWER ボタン (電源ボタン)

電源をオン/スタンバイするときに押します。

### ② MENU/EXIT ボタン

OSD 画面が表示されていないときに押すと、OSD 画面を表示します。

OSD 画面が表示されているときは、ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

### ③ Joystick キー /SET ボタン \*3

◀/▶ : 左右方向に移動します。

- OSDコントロールメニューを左または右に移動します。
- OSDメニューの設定値を増減させます。
- OSDメニューを閉じているときは音量が調節できません。

▽/△ : 上下方向に移動します。

- OSDコントロールメニューを上または下に移動します。

SET : (ボタン押下)

- OSDメニューを選択したり、実行します。

\*3: ◀、▶、△、▽ の機能は、ディスプレイの向き (ランドスケープポートレート) によって変化します。

### ④ INPUT ボタン (入力切替ボタン)

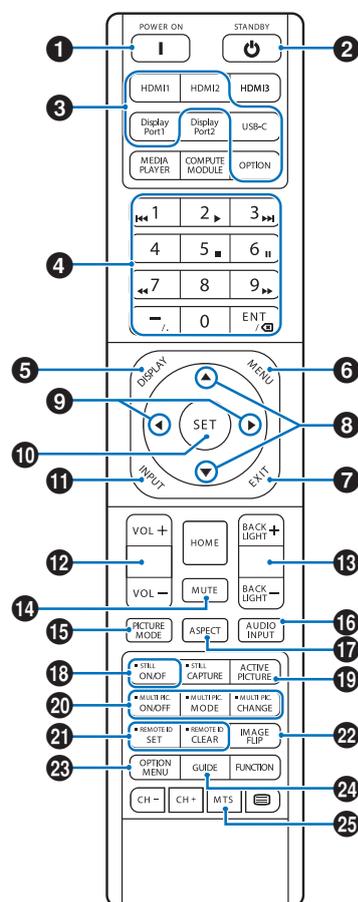
INPUT : 以下の映像入力を切り替えます。

「DisplayPort」、 「USB-C」、 「HDMI1」、 「HDMI2」、 「OPTION」 \*1、 「COMPUTE MODULE」 \*2 名称は工場出荷時のものです。

\*1: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

\*2: 動作しません。

## リモコンで操作する



- 説明のないボタンは動作しません。
- 一部のボタンは HDMI-CEC 機器の操作に使用します (CEC(Consumer Electronics Control))。「CEC」の設定により対応するボタンは異なります。36 ページを参照ください。
- OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」で「IR」をロックした場合、DISPLAY ボタンを 5 秒以上押し続けるとロックを解除できます (63 ページ)。

### ① POWER

電源をオンにします。

### ② STANDBY

ディスプレイをスタンバイ状態にします (26 ページ)。

### ③ 入力切替

入力信号を選択します。

入力信号の名称は工場出荷時のものです。

### ご参考

USB-C を押すと、USB Type-C 1 (アップストリーム) 端子に入力を切り替えます。

#### 4 数字入力ボタン

セキュリティー設定のパスワードやリモコン ID の番号入力 (65 ページ) に使用します。

一部の数字ボタンを本機に接続した HDMI-CEC 機器の操作に使用します。

#### 5 DISPLAY

選択されている映像入力端子などの情報を表示します。



- ① 入力名称
- ② 解像度情報
- ③ HDR 情報
- ④ IP/ID 情報\*

\* 「IP/ID 情報」が「オン」の場合：  
白表示 - LAN 接続時  
赤表示 - LAN 非接続時

#### 6 MENU

OSD 画面の表示をオン / オフします (32 ページ)。

#### 7 EXIT

ひとつ前の OSD 画面に戻ります。

#### 8 ▲/▼ (上 / 下)

OSD 画面の調節項目の選択に使用します。

#### 9 ◀/▶ (左 / 右)

OSD 画面で選択した項目の調節、設定値の調節に使用します。

#### 10 SET

OSD 画面で調節した内容を決定します。

#### 11 INPUT

入力切替メニューを表示します。

入力信号の名称は工場出荷時のものです。

#### 12 VOL + / - (音量調節)

音量の大 / 小を調節します。

#### 13 BACKLIGHT + / - (明るさ調節)

+や-で明るさを調節します。

#### 14 MUTE

音声や映像の出力をとめます。

もう一度押すと音声や映像を出力します。詳細は「ミュート設定」(53 ページ) を参照ください。

#### 15 PICTURE MODE

ピクチャーモードを選択します。

「標準」、「店舗」、「会議室」、「高輝度」、「交通機関」、「CUSTOM」から選択できます。37 ページ。

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サインージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

#### ご参考

- OSD メニューの「ピクチャーモード」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

#### 16 AUDIO INPUT (音声入力切替)

音声入力を各映像入力ごとに切り替えることができます。

「OPTION」音声入力に対応するオプションボードが搭載されている場合のみ選択可能です。

#### 17 ASPECT

画像のアスペクトを「標準」、「フル」、「ワイド」、「1:1」、「ズーム」から選択します (31 ページ)。

#### 18 STILL (画面静止)

ON/OFF ボタン： スチル機能をオン / オフします。

#### ご参考

- 入力信号の周波数が 50 Hz または 60 Hz の場合は動作しません。
- 本機能実行中に「アスペクト」、「マルチ画面」、「タイトルマトリクス」、「映像反転」、「オーバースキャン」、「音声入力」の設定を変更した場合、または入力信号が変化した場合、本機能は解除されます。
- 本機能は、「マルチ画面」、「タイトルマトリクス」、「映像反転」、「回転」が有効になった場合、動作しません。
- 入力信号に「OPTION」を選択している場合は、対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

#### 19 ACTIVE PICTURE

マルチ画面モードが動作している場合、選択画面を表示設定します。

## 基本的な操作

### 20 MULTI PICTURE

ON/OFF： マルチ画面モードをオン / オフします。

MODE： PIP、PBP から表示形態を設定します。

CHANGE： PIP 選択時のみ映像を入れ替えます。

#### ご参考

マルチ画面表示中に SET ボタンを押すと、選択画面の表示サイズを変更できます。

### 21 REMOTE ID (リモコン ID)

リモコンのモードを切り替えます。詳細は「リモコン ID モード機能について」(65 ページ) を参照ください。

ノーマルモード： モニター ID の設定に関係なく、ディスプレイをリモコン制御できます。

ID モード： リモコン ID と同じ番号のモニター ID を持つディスプレイのみをリモコンで制御できます。

SET ボタン： ボタンを押しながら 0 ~ 100 までの数字を入力すると、リモコン ID が設定できます。

CLEAR ボタン： 5 秒以上押し続けると、ノーマルモードになります。

#### ご参考

- ・ 説明のないボタンは動作しません。
- ・ 一部のボタンは HDMI-CEC 機器の操作に使用します (CEC(Consumer Electronics Control))。「CEC」の設定 (36 ページ) により対応するボタンは異なります。

### 22 IMAGE FLIP (映像反転)

画像を左右、上下反転、180°回転することができます。「左右反転」、「上下反転」、「180°回転」、「オフ」の順に切り替わります。映像反転については 52 ページを参照ください。

### 23 OPTION MENU

対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

### 24 GUIDE

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

### 25 MTS

オプションボード装着時に使います。ボタンの動きは、本機に装着したオプションボードにより異なります。

## ■ アスペクト変更について

OSD メニューの「映像設定」→「アドバンスト」→「アスペクト」またはリモコンの ASPECT ボタンで画面のアスペクトを選択することができます。

DisplayPort、USB-C 選択時

- 「フル」→「1:1」→「ズーム」→「標準」



HDMI1、HDMI2、OPTION(TMDS)\*<sup>1</sup>、COMPUTE MODULE\*<sup>2</sup> 選択時

- 「フル」→「ワイド」→「1:1」→「ズーム」→「標準」



\*<sup>1</sup>: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

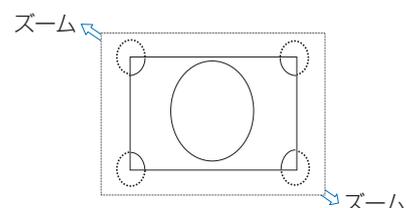
\*<sup>2</sup>: 動作しません。

画面のアスペクト	変更前 * <sup>3</sup>	推奨されるアスペクト設定 * <sup>2</sup>	説明
4:3		「標準」	比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。
スクイーズ		「フル」	比率を変えて、画面いっぱいに表示します。
レターボックス		「ワイド」	16:9 レターボックス信号を画面いっぱいに表示します。

\*<sup>3</sup>: 図の灰色の部分は画像表示に使用されない領域です。

「1:1」: 画像サイズそのまま表示します。

「ズーム」: 画像は、画面の有効表示領域を超えて拡大されます。有効表示領域を超えた部分は見ることができません。



### ご参考

- もとの信号と異なる画面のアスペクトで使用したいときは画面に歪みが発生します。  
例) 4:3 信号をフルにした場合は横長画面となります。

### ご注意

- 営利目的または公衆に視聴されることを目的として喫茶店、ホテルなどにおいてアスペクト変更等を利用して画面を圧縮したり引き伸ばすと著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがありますのでご注意願います。

# 各種設定メニュー

## メニューの基本操作

本機には画面の調節が簡単にできる OSD（On Screen Display）機能がついています。OSD 機能により画面上に表示されるメニューを操作し、明るさなどの画面調節などを設定します。各項目の詳細は、[34 ページ](#)をご覧ください。

### ■ メニューの見かた

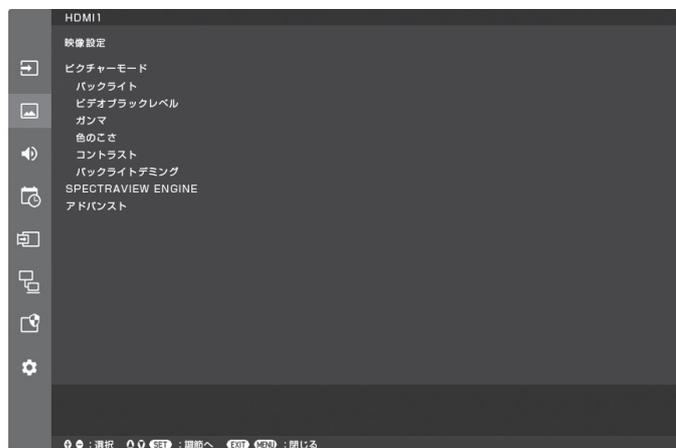
**OSD 画面の構成** OSD 画面は、以下に示すような構成になっています。



### ■ 操作例

映像調節メニューの「ピクチャーモード」を調節する。

1. MENU ボタンを押し、メニュー画面を表示する。



2. ▲または▼ボタンで「映像設定」を選び、SET ボタンを押す。

3. ▲または▼ボタンで設定項目「ピクチャーモード」を選択する。



4. ▶ボタンで「標準」を選択し、SETボタンを押す。

5. MENU ボタンを押し、メニュー画面を閉じる。

**ご注意**

- 約 3 分間操作しないと、メニュー画面は自動的に閉じます。

以下に、各 OSD メニュー項目の機能を簡単に示します。メニュー内容の詳細は [34 ページ](#) 示されています。



入力：入力信号に関する設定です。



映像設定：規定のピクチャーモードの選択、色設定の手動調節、アスペクト比調節など、映像に関する設定です。



音声設定：音量やバランス、イコライザーの調節など、音声に関する設定です。



スケジュール：本機電源制御のスケジュール作成、サマータイムの設定およびオフタイマーの設定です。



スロット：装着したオプションボードに関する設定です。



ネットワーク：ネットワーク情報、セキュリティーなどに関する設定です。



保護設定：冷却ファンの制御設定、パワーセーブおよび電源オンへの移行時間設定、アラートメールなどに関する設定です。



システム：ディスプレイインフォメーション表示、日付時刻や言語などの設定や、工場出荷時状態へのリセットができます。

## 各種設定メニュー

### メニュー項目の詳細

#### ■ 入力

##### 入力選択

入力信号を選択します。

「DisplayPort」、「USB-C」、「HDMI1」、「HDMI2」、「COMPUTE MODULE\*1」、「OPTION\*2」

##### 入力設定

###### 入力名称

現在表示中の入力端子名称を変更できます。最大文字数は14文字です。

1. 名称フィールドにカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
2. ◀/▶ボタンで変更したい文字にカーソルを移動し、▼/▲ボタンでアルファベット、数字、一部の記号、スペースを切り替えます。
3. SETボタンを押して確定します。
4. 最後にEXITボタンを押すと入力した名称が保存されます。

###### 名称リセット

「実行」でSETボタンを押すと現在の入力端子名称が工場出荷状態に戻ります。

###### 自動入力切替\*3

複数の入力がある場合に、入力信号がある端子に自動的に切り替える機能です。

選択されている端子はリモコンのDISPLAY ボタンを押すとインフォメーションOSD に表示されます。

###### ご参考

- ・「自動入力切替」の動作時に「人感センサー」を実行すると「自動入力切替」は解除されます。

オフ ..... 入力端子を手動で切替えます。

FIRST DETECT ..... 現在表示している端子の入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。  
現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示は切り替えません。

LAST DETECT ..... 現在表示している端子の入力信号が無くなった場合は、入力信号のある他の端子を探して自動的に切り替えます。  
現在表示している端子とは別の端子から新たに信号が入力された場合は、表示を切り替えます。

CUSTOM DETECT ..... 入力信号を自動で切り替えるときの優先順位を設定できます。

###### ご参考

- ・「CUSTOM DETECT」を選択すると、「優先順位」を設定していない入力信号には切り替えられません。

##### 入力信号情報

入力信号の情報を表示する機能です。

###### 現在の入力端子

###### 解像度

###### FREQUENCY

###### カラーフォーマット

###### HDR EOTF

###### 色深度

###### HDCP

###### ビデオレンジ

###### ビデオIDコード

###### オーバースキャン

## アドバンスト

## 入力信号設定

DisplayPort (DisplayPort, USB-C入力の場合のみ)

DisplayPort 入力 の機能を選択します。

DisplayPortバージョン

入力信号に応じて以下の設定ができます。

DisplayPortバージョン: 1.1a, 1.2, 1.4

1.2 または 1.4 設定時に、SST または MST を選択します。

**ご参考**

- ・「USB-C 設定」の「USB」が「USB3.2」に設定されていると「1.2」のみの設定となります。
- ・「1.4」の場合のみ、入力信号の解像度 4096 x 2160 の選択が可能です。

HDCPバージョン

DisplayPortバージョンごとに「HDCP1.3」、「HDCP2.2」で設定します。

1.2: HDCP1.3, HDCP2.2

1.4: HDCP1.3, HDCP2.2

**ご参考**

- ・「DisplayPortバージョン」が「1.1a」の場合、自動的に「HDCP1.3」を設定します。

HDR

DisplayPortバージョンごとにHDRに対応するか「許可」、「禁止」で設定します。

**ご参考**

「DisplayPortバージョン」が「1.1a」の場合、動作しません。

HDMI (HDMI1, HDMI2, OPTION (TMDS)\*<sup>2</sup>入力の場合のみ)

HDMIモード

HDMI モード (バージョン)「設定1」または「設定2」を選択します。

設定1: 最大解像度4096 x 2160(30Hz)

設定2: 最大解像度4096 x 2160(60Hz)

**ご参考**

「HDR」を有効にする、または「HDCPバージョン」で「HDCP2.2」を設定している場合、「設定2」を設定してください。

HDCPバージョン

HDCPバージョン「HDCP1.4」または「HDCP2.2」を選択します。

HDR

HDMIモードごとにHDRに対応するか「許可」、「禁止」で設定します。

**ご参考**

「HDMIモード」が「設定1」の場合、動作しません。

シグナルフォーマット

オーバースキャン (HDMI1/HDMI2/OPTION (TMDS)\*<sup>2</sup>/COMPUTE MODULE\*<sup>1</sup>入力の場合のみ)

画像表示エリアを選択します。

オン: 入力信号の約95%を表示します。

オフ: 入力信号のほぼ100%を表示します。信号によっては、画面の端にノイズが出る場合があります。

自動: 入力画像表示エリアを自動設定します。

**ご参考**

HDMI出力を使用している場合、「オフ」を設定してください。

## 各種設定メニュー

### ビデオレンジ

表示する階調範囲を映像信号にあわせ、映像の白飛びや黒浮きを改善します。

フル: コンピューター用の設定です。入力信号の0 ~ 255 階調をすべて表示します。

リミテッド: AV 機器用の設定です。入力信号の16 ~ 235 階調を0 ~ 255 階調に拡張して表示します。

自動: 映像信号を検出し「フル」と「リミテッド」を自動的に切り替えます。  
通常はこちらを選択してください。

### カラリメトリ

信号の種類をRGB と色差から選択できます。「自動」、「RGB」、「YCbCr(BT.601)」、「YCbCr(BT.709)」、「YCbCr(BT.2020)」から設定できます。通常は「自動」を選択してください。

### CEC

HDMI-CEC 対応機器を本機に接続する場合に設定します。

CEC はConsumer Electronics Control の略称です。

#### CEC

「オフ」、「設定1」、「設定2」から設定します。

「設定1」または「設定2」を選択すると HDMI 入力端子に接続したHDMI-CEC 対応機器をリモコンで操作することができます。また、対応機器をスタンバイ状態から起動させたとき、本機も連動してスタンバイ状態から電源をオンします。

「設定1」または「設定2」を選択した場合、以下の項目を設定します。

#### ご参考

- 「設定1」または「設定2」を選択すると以下の動作を実行します。接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。

- HDMI 入力端子に接続しているHDMI-CEC 対応機器を再生すると、本機の電源が連動してオンし入力信号をHDMI に切り替えます。本機の電源がオンの場合は、入力信号をHDMI に切り替えます。

- リモコンでHDMI 入力端子に接続しているHDMI-CEC 対応機器を操作することができます。

- 対応するリモコンボタンは以下になります。

設定1:

1、2、3、5、6、7、9、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、MUTE、VOL+、VOL-

設定2:

0 ~ 9、数字ボタンの-、ENT、EXIT、▲、▼、◀、▶、GUIDE、MUTE、SET、VOL+、VOL-、CH+、CH-

### 電源連動

「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を選択すると、本機をリモコンのSTANDBY ボタンまたは本体のPOWER ボタンでスタンバイ状態にしたときに接続しているHDMI-CEC 対応機器の状態も連動してスタンバイ状態にします。

#### ご参考

接続しているHDMI-CEC 対応機器が録画など作動中の場合は本機の状態に連動しない場合があります。

### オーディオレシーバー

ARC対応オーディオ機器を接続する場合、付属のARC対応HDMIケーブルを使用して本機のHDMI1 (ARC) 端子に接続してください。

許可: 接続したARC対応オーディオ機器から音声を出力し、本機内蔵のスピーカーはミュート(消音)になります。

禁止: 本機内蔵のスピーカーから音声を出力し、接続しているARC対応オーディオ機器の音声をミュート(消音)になります。

#### ご参考

オーディオレシーバーの設定を切り替えると音声が出力されるまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。

### バックグラウンドカラー

4:3 画面を表示した場合、両側の画像のない部分の色を調節します。

▶ボタンを押すと、白く(明るく)なり、◀ボタンを押すと、黒く(暗く)なります。

### リセット

「入力選択」「入力名称」、「自動入力切替」の「CUSTOM DETECT」の「優先順位」以外の入力の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1: 動作しません。

\*2: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

\*3: 機器によっては、正しく検出されない場合があります。

## ■ 映像設定

### ピクチャーモード (SPECTRAVIEW ENGINE がオフの時)

使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます (60ページを参照してください)。

#### バックライト

画像の明るさをバックライトで設定します。

▶ボタンと◀ボタンで画面をお好みの明るさに設定してください。通常の明るさ調節にはこちらをお使いください。

#### ご参考

「アドバンスド」の「外光センサー」で「オン」が選択されている場合は動作しません。

#### ビデオブラックレベル

画面の黒レベルを設定します。

#### ガンマ

グレーなど、中間色の明るさを設定します。

NATIVE .....	ガンマ補正をオフし、液晶パネルの階調特性で表示します。
2.2 .....	コンピューターで一般的な特性です。
2.4 .....	DVD や Blu-ray などビデオ機器で一般的な特性です。
S GAMMA .....	暗い部分をより暗く、明るい部分をより明るく表示します。画像の明暗が強調されるため映画などに適します。
DICOM SIM .....	医療業界で用いられる DICOM に近似したガンマ調節値に設定します。
HDR-ST2084 (PQ) .....	HDR 信号のガンマ設定で、UHD ディスクの再生やストリーミングビデオの表示に適したガンマ値です。
HDR-HYBRID LOG .....	HDR 信号のガンマ設定で、UHD 放送に適したガンマ値です。
PROGRAMMABLE 1, 2, 3 .....	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。
AUTO HDR SELECT (HDMI 入力の場合のみ) .....	「オン」を選択するとHDR 信号を検出し、対応信号が入力された場合は「HDR-ST2084 (PQ)」または「HDR-HYBRID LOG」に自動的に切り替えます。

#### 色のこさ

色のこさ .....

色のこさを設定します。  
▶ボタンを押すと濃くなり、◀ボタンを押すと薄くなります。

色温度 .....

白色の色温度を設定します。  
色温度が低くなると画面が赤っぽくなり、高くなると画面が青っぽくなります。さらに細かい設定をする場合、R/G/Bゲインをそれぞれ変更できます。  
「NATIVE」は液晶パネルの白色を表示します。R/G/Bゲインの設定を変更すると「カスタム」が自動的に設定されます。

#### ご参考

- 「ガンマ」で「PROGRAMMABLE1」、「PROGRAMMABLE2」または「PROGRAMMABLE3」が選択されている場合は動作しません。

カラーコントロール ... 指定の色の色相を設定します。例えば赤色を黄色もしくは紫色に変化させることができます。

#### コントラスト

コントラストを設定します。

▶ボタンと◀ボタンで画面をお好みのコントラストに設定してください。

#### バックライトデミング

「オン」を選択すると映像内容に応じてバックライト制御を細分化し、画面の明るさを自動的に調節します。

#### ご参考

- 「オートブライツネス」で「設定 2」が選択されている場合、本機能は「オフ」できません。
- 工場出荷時は本機能はグレーアウトし「オフ」を設定できません。オフする場合は「オートブライツネス」を「設定 2」以外にしてください。

## 各種設定メニュー

### ピクチャーモード (SPECTRAVIEW ENGINE がオンの時)

使用する環境に適した映像設定にしたり、任意の設定ができます。

#### ピクチャーモード

5つのピクチャーモードを記憶しており、それぞれ個別に設定、選択することができます。(60ページを参照してください)

#### エミュレーション

##### 色覚エミュレーション

異なる色覚特性(P/D/T型)の見え方を擬似的に表示します。  
GRAYは画像のコントラストを確認する機能です。  
代表的な見え方を擬似的に再現し、絵柄や文字の見えやすさを確認できます。

#### ご参考

本機能は色の見分けにくさを擬似的に表現するもので、実際の見え方を表現するものではありません。

#### 6色調節

他の色に影響を与えずRED:赤色、YELLOW:黄色、GREEN:緑色、CYAN:水色、BLUE:青色、MAGENTA:紫色を個別に調節する機能です。6色それぞれに対して色相、彩度、明るさの調節があります。  
選択していない色のほか、白やグレーなどの無彩色は変化しません。

RED 例: RED(赤色)の設定値を最小/最大に変更した場合の色の变化

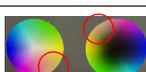
YELLOW

GREEN

CYAN

BLUE

MAGENTA

	最低値	0	最大値
出荷時			
色相			
彩度			
明るさ			

#### ユニフォミティ

「オフ」、「1-5」から設定します。「オフ」以外を選択した場合、画面全域の色ムラ、輝度ムラを改善します。

#### ご参考

設定値が大きいほど強く補正しますが、消費電力や本機の寿命に影響することがあります。

### バックライトデミング (SPECTRAVIEW ENGINE がオンの時)

「オン」を選択すると映像内容に応じてバックライト制御を細分化し、画面の明るさを自動的に調節します。

### SPECTRAVIEW ENGINE

#### SPECTRAVIEW ENGINE

「オン」を選択すると、高度な色補正機能が利用できます。詳細は本取扱説明書の機能「高度な色補正機能」を参照ください(56ページを参照してください)。

#### ピクチャーモード使用数

選択可能な「ピクチャーモード」の使用数を「1-5」から設定します。「ピクチャーモード使用数」で「3」を設定した場合、選択できるピクチャーモードは「1, 2, 3」となります。以下のような目的で使うことができます。

- ロック  
「1」を設定することでピクチャーモードを1つに固定し、他の設定になることを防ぎます。
- スキップ  
リモコンなどでピクチャーモードを切り替える際に使わないモードをスキップすることができます。

#### メタメリズム

「オン」を選択すると当社製のディスプレイを複数台使用する場合に、視覚的な色のマッチングを改善します。正確な色再現が必要な際は「オフ」に設定してください。

## アドバンスト

### UHDアップスケーリング

低解像度の画像を高解像度で表示する場合の処理レベルを「オフ」、「弱」、「中」、「強」から選択します。

### シャープネス

文字や画像のキレを調節します。

▶ボタンを押すとシャープになり、◀ボタンを押すとソフトになります。

#### ご参考

調節によっては線が二重になる場合があります。この場合はシャープネスをソフトに調節してください。

### アスペクト

画像のアスペクトを選択します。詳細は本取扱説明書のアスペクト変更を参照ください。

#### ご参考

- ・ タイルマトリクスを開始すると、「アスペクト」が「ズーム」の場合は、「フル」に変更されてからタイルマトリクスが開始されます。タイルマトリクスをオフすると、アスペクトは「ズーム」に戻ります。
- ・ 画面を縮小して表示している場合「H POS」と「V POS」の設定を変更しても、画像は変更されません。
- ・ 「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」を「ズーム」に設定した場合、タイルマトリクス解除後に反映されます。

標準.....比率を変えずに、できるだけ大きく表示します。

フル.....比率を変えて、画面いっぱいに表示します。

ワイド..... 16:9 のレターボックス信号を画面いっぱいになるよう表示します。

画像のアスペクトによっては画像の一部が表示されない場合があります。

1:1.....画像サイズそのまま表示します。入力信号の解像度が推奨解像度を超える場合、画像サイズを小さくし画面に合うよう表示します。

ズーム.....画像を拡大/縮小します。

#### ご参考

- ・ 拡大表示した場合、表示エリアから出た部分の画像は表示しません。縮小で表示した場合、画像が劣化することがあります。
- ・ 入力信号が 4K50Hz、または 4K60Hz の場合、縮小表示のみ機能します。

ZOOM: 水平、垂直比を維持して画像を拡大します。

H ZOOM: 水平のみが拡大/縮小します。

V ZOOM: 垂直のみが拡大/縮小します。

H POS: ▶で右へ移動、◀で左へ移動します。

V POS: ▶で上へ移動、◀で下へ移動します。

### アダプティブコントラスト (HDMI1、HDMI2、OPTION(TMDS)\*\*3、COMPUTE MODULE\*1 入力の場合のみ)

画像に合わせてコントラストを自動的に調節する機能です。「オフ」、「弱」、「強」から選択します。「強」を選択すると明暗がはっきりした表示になりますが、明るさの変化が不自然になる場合があります。

#### ご参考

「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。

### ユニフォミティ

「オン」を選択すると、色の再現性を向上し、ディスプレイの輝度の不均一性をなくします。

#### ご参考

「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。

## 各種設定メニュー

### オートデミング

画面の明るさを自動的に調節する機能です。

オートブライツネス ..... 「オフ」、「設定1」、「設定2」から設定します。「オフ」以外を選択した場合、映像内容に応じて画面の明るさを自動的に調節する機能です。

設定1: 映像の明るい領域が大きくなると、自動的に画面の明るさを暗くします。

設定2: 映像の暗い領域が大きくなると、自動的に画面の明るさを暗くします。

#### ご参考

- ・「外光センサー」で「オン」が選択されているとき「設定1」は動作しません。
- ・「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。

外光センサー ..... 室内の明るさに応じて画面の明るさを自動的に調節する機能をもっています。「オン」に設定すると、室内の明るさの状態に応じてディスプレイの明るさを自動的に調節します。「オン」を選び、明るいときと暗いときのバックライト値を設定します。

明るい時: 室内が明るい状態のときの設定

照度—室内が明るい状態での明るさのレベル

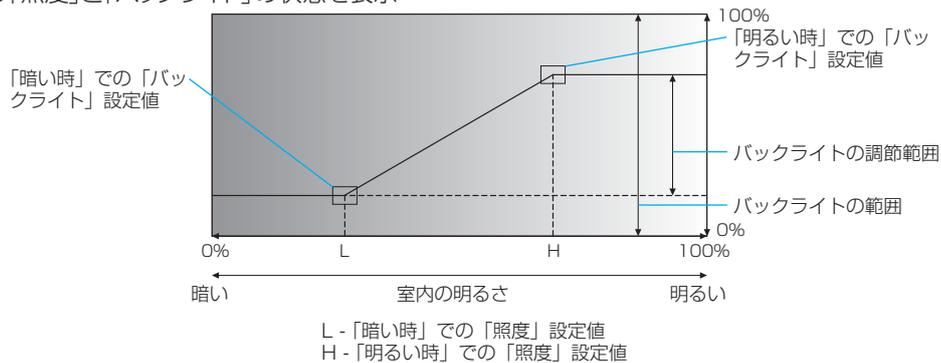
バックライト—室内が明るい状態でのバックライトの最大値

暗い時: 室内が暗い状態のときの設定

照度—室内が暗い状態での明るさのレベル

バックライト—室内が暗い状態でのバックライトの下限値

状況: 現在の「照度」と「バックライト」の状態を表示



#### ご参考

- ・「外光センサー」を設定すると、「バックライト」、「オートブライツネス」の「設定1」は動作しません。
- ・「オートブライツネス」で「設定1」が選択されているときは動作しません。
- ・「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、動作しません。

#### ご注意

- ・「外光センサー」選択時には、センサーが障害物の陰にならないよう注意してください。

人感センサー\*2 ..... 人感センサーによる省電力機能を選択します。「待ち時間」で設定した時間が経過すると動作します。

#### ご参考

- ・「自動入力切替」を「オフ」以外に設定した場合、本機能は「オフ」に設定されます。

オフ:

「人感センサー」を使用しません。

オートオフ:

人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、自動的にパワーオフの状態になります。

人を感知すると元の状態に復帰します。

CUSTOM:

人が離れたことを感知し、設定した時間が経過すると、画面の明るさ、音量、入力が自動的に「バックライト」、「音量」、「入力選択」で設定した状態になります。人を感知すると明るさと音量、入力は自動的に元の「現在の設定」の状態に戻ります。

「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オン」の場合、「バックライト」は動作しません。

## 簡単タイルマトリクス設定

100台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。詳細についてはマルチディスプレイ接続(66ページ)の簡単タイルマトリクス設定を参照ください。

## タイルマトリクス

タイルマトリクス.....「オン」を選択すると画面を分割してマルチスクリーンで表示します。また、画像を水平および垂直に最大10分割できます。

### ご参考

- 分配器、DisplayPort 出力端子または HDMI 出力端子を使って、映像信号を各々のディスプレイへ接続することが必要です。
- 「タイルマトリクス」動作時は、「マルチ画面」、スチル機能、は動作しません。
- 「アスペクト」で「ズーム」が設定されている場合、「フル」の設定になります。「タイルマトリクス」をオフにすると「ズーム」の表示に戻ります。
- 「タイルマトリクス」動作時に「アスペクト」の設定を「ズーム」に変更した場合、「タイルマトリクス」解除後に反映されます。
- 低い解像度の映像信号は多数のディスプレイを使用するマルチスクリーン表示には適していません。  
入力信号の解像度には分割台数に制限があります。  
3840 x 2160: 最大「水平モニター数」10、「垂直モニター数」10  
1920 x 1080: 最大「水平モニター数」5、「垂直モニター数」5  
640 x 480: 最大「水平モニター数」1、「垂直モニター数」1
- 「タイルマトリクス」動作時に「映像反転」でオフ以外を実行すると「タイルマトリクス」は解除されます。

水平モニター数.....水平分割数を設定します。

垂直モニター数.....垂直分割数を設定します。

位置.....拡大したい部分を選択します。

TILE COMP.....「オン」を選択すると画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更します。  
▶ボタンまたは◀ボタンで表示画面の位置やサイズを微調節することもできます。

タイルカット.....「オン」を選択すると画像を分割し、その中の一部分を表示します。  
分割枠の大きさは「水平モニター数」「垂直モニター数」で設定します。  
分割された画像から表示する部分を「位置」で選択します。  
▶ボタンまたは◀ボタンで選択した枠の位置を調節し、表示部分を設定します。

## 映像反転

映像反転.....画像を左右反転、上下反転、180°回転して表示する機能です。

オフ:	通常の表示状態です。	
左右反転:	左右反転して表示されます。	
上下反転:	上下反転して表示されます。	
180°回転:	180°回転して表示されます。	

### ご参考

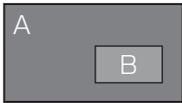
- 「オフ」以外を設定している場合、入力が DisplayPort 1 または USB-C で、4k50Hz 10bit、または 4k60Hz 10bit の場合、本機能は解除します。
- 「映像反転」で「オフ」以外を選択すると、「マルチ画面」、スチル機能、「タイルマトリクス」は動作しません。
- インターレース信号を入力している場合、設定が解除されます。インターレース信号以外を入力すると動作します。

## マルチ画面

マルチ画面モード.....「オフ」が選択されているときは、1 画面が表示されます。  
「PIP」または「PBP」から表示形態を選択し、各画面に表示する入力を設定します。

## 各種設定メニュー

PIP



PBP



### ご参考

- PIPの場合、「画面2」（図中B）は、画面の中央に配置できません。また、画面の中央を越えて拡大できません。
- PBPの場合、「画面1」と「画面2」は、画面の中央を越えて拡大できません。
- 「映像反転」のオフ以外、「タイルマトリクス」を有効にすると、本機能は解除されます。
- 本機能の動作時にスチル機能は動作しません。
- CECを「設定1」または「設定2」に設定している場合、リモコン操作によるマルチ画面操作に一部制限があります。
- 「PIP」または「PBP」を選択している場合、「HDMI2」、「COMPUTE MODULE」、「OPTION」は各画面に1つのみ設定可能です。
- 「画面1」「画面2」共にインターレース信号を表示すると、映像が乱れることがあります。

音声設定 ..... 「マルチ画面モード」を使用しているときに出力する音声を選択します。  
選択した画面の音声が出力されます。

### お知らせ

「マルチ画面モード」が動作している場合、「音声入力」は無効になります。

選択画面 ..... 「マルチ画面モード」が「オフ」のとき、「画面1」が選択画面です。「マルチ画面モード」が「オフ」以外のとき、複数のピクチャーから選択画面を選択します。

選択枠 ..... 「オン」を選択すると選択画面に白枠を表示します。

画面サイズ ..... 選択画面のサイズを設定します。  
SET ボタンを押して、ピクチャーサイズを調節します。  
▶ ボタンまたは BACKLIGHT+ ボタンを押すと拡大されます。  
◀ ボタンまたは BACKLIGHT- ボタンを押すと縮小されます。

### ご参考

- 「マルチ画面モード」が「PBP」の場合、動作しません。

画面位置 ..... 「選択画面」の位置を設定します。SET ボタンを押して、位置を調節します。  
▶ ボタンを押すと選択画面は右に移動し、◀ ボタンを押すと左に移動します。  
▲ ボタンを押すと選択画面は上に移動し、▼ ボタンを押すと下に移動します。

## 回転

回転するマルチ画面を設定します。

全回転 ..... 「オン」を選択するとすべての画像を90°回転します。

画面1 ..... 「オン」を選択すると画面1を90°回転します。

画面2 ..... 「オン」を選択すると画面2を90°回転します。

## リセット

「ピクチャーモード」および「SPECTRAVIEW ENGINE」以外の映像設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1: 動作しません。

\*2: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

\*3: 対応可能なオプションについては販売店へお問い合わせください。

## ■ 音声設定

### 音声モード

使用する環境に適した音声効果の設定にしたり、任意の設定ができます。

標準.....標準の音響設定です。

店舗.....店舗等でのサインージ用途に適した音響設定です。

会議室.....電話会議やテレビ会議に適した音響設定です。

高輝度.....視覚的なメッセージを強調するための音響設定です。工場出荷時の設定では無音状態になります。

交通機関.....公共施設等の設置に適した音響設定です。工場出荷時の設定では無音状態になります。

CUSTOM.....任意の設定ができます。

### 音量

音量を調節します。ラインアウトの音量は、「ラインアウト」が「連動」のときのみ調節できます。

### バランス

ステレオ/モノラル.....音声の出力を「ステレオ」か「モノラル」かを設定します。

ステレオ: 左右の音声バランスを調節できます。▶ボタンを押すと右側の音が大きくなり、◀ボタンを押すと左側の音が大きくなります。

モノラル: 音声バランスは調節できません。

サラウンド.....「オン」を選択するとサラウンドサウンド音響を人工的に作り出します。

### イコライザー

高音.....高音域の音量を調節します。

▶ボタンを押すと高い音が強くなり、◀ボタンを押すと高い音が弱くなります。

低音.....低音域の音量を調節します。

▶ボタンを押すと低い音が強くなり、◀ボタンを押すと低い音が弱くなります。

### アドバンスト

#### ラインアウト

「連動」を選択すると本体の◀/▶ボタンまたはリモコンのVOL +/VOL -ボタンで出力端子から出力されるオーディオの音量を調節できます。「固定」を選択すると音量は固定されます。

#### 音声入力

一画面表示をしているときに出力する音声を選択します\*3。

音声入力ソースを「DisplayPort」、「USB-C」、「HDMI1」、「HDMI2」、「OPTION\*1」、「COMPUTE MODULE\*2」から選択します。

#### お知らせ

- ・「マルチ画面」が有効の場合、動作しません。

#### 内蔵スピーカー

内蔵スピーカーから音声を出力します。

#### リセット

「音声モード」以外の音声設定の各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

\*1: 対応可能なオプションについては販売店へお問い合わせください。

\*2: 動作しません。

\*3: 「入力」が「HDMI2」の場合、音声入力ソースに「COMPUTE MODULE\*2」または「OPTION」は設定できません。  
「入力」が「OPTION」の場合、音声入力ソースに「HDMI2」または「COMPUTE MODULE\*2」は設定できません。

## ■ スケジュール

### スケジュール設定

本機の動作スケジュールを設定します。

▲/▼ボタンで項目を移動し、◀/▶ボタンで調節します。

本体のINPUTボタンまたはリモコンのSETボタンでチェックボックスのチェックを付けたり外したりすることができます。スケジュールの詳細は55ページを参照ください。

## 各種設定メニュー

### 設定

最大14件設定することができます。チェックボックスをチェックするとスケジュールが有効になります。

### 電源制御

電源制御の「オン」/「オフ」を設定します。  
スケジュールを設定した各チェックボックスごとにオンまたはオフを設定してください。

### 時刻

スケジュールを実行する時間を設定します。

### 入力

スケジュールを実行時に使用する入力信号を設定します。スケジュール実行前に選択されていた入力信号から変更しない場合は「—」を設定してください。  
入力を設定する際は「電源制御」を「オン」に設定してください。

### 日付

特定の日付を指定する場合に年/月/日を設定します。

### 毎週

毎週同じ曜日にスケジュールを実行する場合、実行する曜日のチェックボックスにチェックを付けます。

### オフタイマー

「オン」を選択すると、本機がスタンバイ状態になるまでの時間を1時間～24時間の間で設定します。

### ご参考

「オフタイマー」を「オン」にすると、スケジュールは動作しません。

### リセット

「オフタイマー」以外のスケジュールの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## ■ スロット

### OPTION\*1

接続されているオプションボードに関する設定です。

### POWER CONTROL

電源ボタン..... SETボタンを押すと、接続されているオプションボードの電源ボタンと同様に動作します。  
強制シャットダウン..... SETボタンを押すと、接続されているオプションボードの電源を強制的に切ります。

### ご注意

オペレーティングシステムの問題などにより、手動で電源を切ることができない場合のみ使用してください。

リセット..... SETボタンを押すと、接続されているオプションボードを再起動します。  
「電源ボタン」、「強制シャットダウン」が機能しない場合のみ使用してください。

### ご参考

接続された機器のデータが破損する可能性があります。

Connection Status\*2..... オプションボードスロットに接続されている機器の接続状態を表示します。  
Power Status\*2..... オプションボードスロットに接続されている機器の動作状態を表示します。  
Module\*2..... オプションボードスロットに接続されている機器の情報を表示します。

### POWER SETTING

AUTO SHUTDOWN\*3..... 「許可」、「禁止」から選択します。「許可」を選択するとディスプレイが待機状態になったときに、接続されているオプションボードの電源を切ります。

## COMPUTE MODULE

(本機は動作しません)

### POWER CONTROL

電源ボタン  
リセット  
Connection Status  
Power Status  
Module

### POWER SETTING

AUTO SHUTDOWN

### アドバンスト

シャットダウン シグナル  
IR信号  
モニタ制御  
WDT  
START UP TIME  
PERIOD TIME

## スロット電源

オプション用スロットに接続されている機器への電力供給を設定します。

### ご参考

- オプションボードスロットに接続されている機器からの入力が無くなったときにパワーセーブ機能を使用する場合は、「自動」または「オン」に設定してください。
- 自動..... オプションボードスロットに機器が接続されている場合は、本機がパワーセーブモード、スタンバイ状態でもオプションボードスロットに電力を供給し続けます。  
オプションボードスロットに機器が接続されていない場合は、本機がパワーセーブモード、スタンバイ状態に移行すると、オプションボードスロットに電力は供給されません。
- オン..... 本機がパワーセーブモードまたはスタンバイ状態でも、オプションボードスロットに電力を供給し続けます。
- オフ..... 本機がパワーセーブモードまたはスタンバイ状態に移行すると、オプションボードスロットに接続されている機器に電力は供給されません。

## リセット

「スロット電源」以外のスロットの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

- \*1: オプションボードスロットに対応するオプションボードが装着されているときのみ設定できます。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。設定を変更した場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- \*2: オプションボードによっては正しく表示されない場合があります。
- \*3: オプションボードがコンピューターの時、コンピューター側の設定をご確認ください。

## ■ ネットワーク

### ネットワーク情報

ネットワークの設定をします。

### IP設定

本機を接続するネットワークが、DHCP サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は、「手動」を選択し、「IP アドレス」、「サブネットマスク」、および「デフォルトゲートウェイ」を設定してください。

### ご参考

- 「IP 設定」を「手動」にしている場合の IP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。

## 各種設定メニュー

### IP アドレス

「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のIP アドレスを設定します。

### サブネットマスク

「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。

### デフォルトゲートウェイ

「IP 設定」が「手動」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。

#### ご参考

- 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

### DNS

本機を接続するネットワークがDHCP サーバーによってIP アドレスを自動的に割り当てる場合は、「自動」を選択します。自動的に割り当てられない場合は「手動」を選択し、下の「優先DNS サーバー」および「代替DNS サーバー」を設定してください。

#### ご参考

- 「DNS」を「手動」に設定している場合のIP アドレスは、ネットワーク管理者にご確認ください。

### 優先DNSサーバー

本機を接続するネットワークの優先DNS サーバーのIP アドレスを設定します。

#### ご参考

- 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

### 代替DNSサーバー

本機を接続するネットワークの代替DNS サーバーのIP アドレスを設定します。

#### ご参考

- 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

### MACアドレス

MAC アドレスを表示します。

### 実行

SETを押すと設定が反映されます。

## ネットワークインターフェース

### インターフェース

ネットワーク経由で機能の設定をします。

ネットワーク経由でファームウェアのリビジョン更新する際は、すべての設定を有効にしてください。

ディスプレイを制御する機能の選択をします。「COMPUTE MODULE」は動作しません。

「ディスプレイ」を無効にすると以下の機能が無効になります。

外部制御、ネットワークサービス、NAVISET SECURE、IEEE802.1X、ファームウェア更新(ネットワーク)、マルチ接続機能。

SETを押すと設定が反映されます。

#### ご参考

- 無効に設定した場合、マルチ接続機能を用いたディスプレイの操作ができなくなります。無効にする際はご注意ください。

### ネットワークサービス

選択したネットワーク機能の「有効」/「無効」を設定します。無効にすると各機能が無効になります。

### NAVISET SECURE

ネットワーク (LAN)、またはインターネットを経由して外部機器から本機を制御するとき、本機と各機器の間の通信を暗号化して安全にする機能です。

#### ご参考

- このメニューの設定は、本機のIP アドレス、モデル名、シリアル番号の情報が含まれます。

### ペアリング開始

対応するアプリケーションに本機を登録します。初回は本機のOSDメニューを使用して登録します。72時間以内にペアリングが完了しない場合は、登録せずに自動的に終了します。ペアリングの追加はアプリケーション側で登録します。

ペアリングモード ..... ペアリングで使用する接続の種類を設定します。

- ローカル: 本機がLANで接続しているネットワークで実行されているアプリケーションとペアリングします。インターネット接続は必要ありません。
- リモート: インターネット経由で、本機とは異なるネットワークで実行されているアプリケーションとペアリングします。インターネット接続が必要です。

ペアリングコード 本機とアプリケーションをペアリングする際に必要なコードが表示されます。有効にした場合、ペアリングする際にUse Pairing Codeに表示されているコードをアプリ側の該当欄に入力してください。「ペアリングモード」が「ローカル」の場合は、この機能を無効にすることができます。

#### ご参考

- 「ペアリングモード」が「リモート」の場合は、ペアリングするときに表示されるコードが常に要求されます。

### ペアリングデータのリセット

取得したペアリングデータを削除します。

### NAVISET SECURE REMOTE

インターネット経由で外部機器から本機を制御するときのリモートアクセスを安全にします。

有効にする場合は使用許諾契約の同意が必要です。

このメニューで指定したデバイス識別情報は、リモートアクセスに必要とされる登録サーバーに送信されます。

無効の場合は、LAN経由でのローカルアクセスのみが対象になります。

#### ご参考

- 本機能の設定はインターネットに接続する必要があります。
- 有効にして使用許諾契約に同意すると、「リモートステータス」でクラウドサーバーの接続状態を表示します。LAN 接続の状態では常に「切断中」と表示されます。

### PING

プリセットのIPアドレスで、通信の応答を確認します。

### IPアドレス

PING を送る「IP アドレス」を設定します。

### 実行

SETを押すと設定した「IP アドレス」に対してPING を送信し、返答の有無を確認します。

### ホスト名

ホスト名を設定します。

### IEEE802.1X

チェックボックスをチェックにすると、IEEE802.1Xが有効になります。IEEE802.1X の認証を使用することで、許可されたデバイスにネットワークの使用を許可します。第三者による不正デバイスによるネットワークの使用を防ぎます。IEEE802.1Xの設定はHTTPサーバーで使用できます(78ページ)。

### リセット

「ネットワークサービス」の「NAVISET SECURE」および「NAVISET SECURE」以外のネットワーク各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## 各種設定メニュー

### ■ 保護設定

#### パワーセーブ設定

##### パワーセーブ

パワーセーブの「許可」/「禁止」を設定します。「許可」を設定した場合、入力信号が失われてから本機がパワーセーブに移行するまでの時間を設定することができます。パワーマネージメント機能については本取扱説明書の機能「電源オンモードと電源オフモード」を参照ください。「禁止」を設定した場合、パワーセーブに移行しません。

##### ご参考

- ・ 「人感センサー」\*<sup>1</sup> で「オートオフ」または「CUSTOM」が選択されている場合、パワーセーブ機能は動作しません。
- ・ 入力信号が無い場合でもビデオカードによっては信号を送り続けてしまうことがあります。この場合、パワーセーブに移行しません。

\*<sup>1</sup>: 別売のリモートコントロールキットのセンサーユニット接続時のみ。センサーユニットについては販売店にお問い合わせください。

時間設定 ..... パワーセーブに移行する時間を設定します。入力信号が失われ設定した時間が経過するとパワーセーブ機能が動作します。

##### パワーセーブメッセージ

「オン」を選択するとパワーセーブに入るときにメッセージを表示します。

##### クイック起動

「許可」、「禁止」から設定します。「許可」を設定した場合、消費電力は大きくなりますが、映像信号を入力したときのディスプレイの復帰時間が早くなります。

#### 温度管理

##### ファン制御

冷却ファンの制御方法を設定します。

オン ..... 冷却ファンがファンスピードで設定された速さで常時動作します。

自動 ..... 内部センサー温度が高温になったときに、自動的に冷却ファンが動作します。

##### ご参考

- ・ 冷却ファンは内部センサー温度が高温になったとき、またはファン制御で「オン」を選択したときに動作します。

##### ファンスピード

ファン制御で「オン」を選択したときのファンが回る速さを「高速」、「低速」から設定します。

##### ご参考

- ・ 製品周囲温度が動作保証温度以上になったときは、ファンは常に「高速」のスピードで回ります。

##### ディスプレイ

##### ファン可動状態

ディスプレイに取り付けられている内部ファンの状況を表示します。

内部温度 ..... 本機の内部温度を表示します。

##### ご参考

- ・ 製品周囲温度が動作保証温度よりある一定温度を超えたとき、画面が暗くなります。この場合、画面上に「温度警告!!」の警告が表示されます。

##### スロット

オプションボードスロットの内部温度を表示します。

##### ファン可動状態

オプションボードスロットのファンの状態を表示します。

内部温度 ..... オプションボードスロットの内部温度を表示します。

##### システムファン条件

オプションボードスロットからのシステムファン動作要求の有無を表示します。

OPTION

COMPUTE MODULE (本機は動作しません)

### スクリーンセーバー

液晶パネルにかかる負担を軽減させます。

ガンマ..... 「オン」を選択すると残像になりにくいガンマに切り替えて、液晶パネルの残像を軽減させます。

#### ご参考

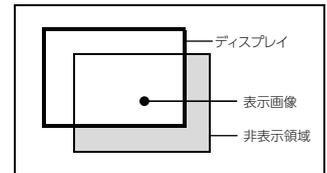
本機能は「SPECTRAVIEW ENGINE」が「オフ」で、「ピクチャーモード」の「ガンマ」が「PROGRAMMABLE 1, 2, 3」以外に設定している場合に動作します。

### モーション

「オン」を選択すると表示内容をわずかに上下左右に動かして、液晶パネルの残像を軽減させます。

インターバル..... 何秒ごとに表示内容を動かすか設定します。

範囲..... 表示内容をどの程度動かすか設定します。数値が大きいほど残像の軽減効果が高くなります。画面端部に表示されている内容は表示されない場合があります。



### パワーオンディレイ

スタンバイから電源オンモードになるまでの時間を設定します。

#### 遅延時間

遅延時間は0 ～50 秒の間で設定できます。

#### ID連動

「オン」を選択すると「遅延時間」をディスプレイの ID にリンクします。これにより、マルチ接続しているすべてのディスプレイが同時にオンになった場合に発生する電力サージが抑えられます。モニター ID の数が大きいほど、ディスプレイの電源がオンになるまでの遅延が長くなります。

たとえば、モニター ID が 20 で、「遅延時間」が 5 秒の場合は、POWER ボタンが押されてから、実際に電源がオンになるまでにかかる時間は 95 秒です。

これにより、マルチ接続している 19 台のディスプレイをそれぞれ 5 秒間隔でオンにすることができます。

#### ご参考

「遅延時間」が 0 秒に設定されている場合は、「ID 連動」の遅延はありません。電源のオンを遅らせるには、遅延時間を 1 秒以上にする必要があります。

### セキュリティ設定

セキュリティ機能を設定します。

#### パスワード

パスワードを入力します。パスワードの初期値は「0000」です。

#### SECURE MODE

START-UP LOCK ..... 選択すると主電源オン時にセキュリティ機能のパスワードを要求します。

CONTROL LOCK ..... 選択すると本体のボタンまたはリモコンのボタンを押したときにセキュリティ機能のパスワードを要求します。

#### パスワード変更

パスワードを変更します。パスワードの初期値は「0000」です。

現在のパスワード..... 現在のパスワードを入力します。

新しいパスワード..... 新しいパスワードを入力します。

パスワードの確認..... 「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力します。

### ロック設定

リモコンのボタンと本体コントロールパネル上のボタン/キー操作をロックする機能です。

[「ボタン操作のロック」](#)(63ページ、64ページ)を参照ください。

### リセット

「パワーオンディレイ」と「セキュリティ設定」以外の保護設定が工場出荷時の状態に戻ります。

## 各種設定メニュー

### ■ システム

#### モニターインフォメーション

ディスプレイのモデル名、シリアル番号、およびファームウェアリビジョンを表示します。

#### MODEL

#### SERIAL

#### CO2削減量

推定二酸化炭素削減情報を kg-CO<sub>2</sub> で表示します。二酸化炭素削減計算における二酸化炭素排出量係数は、OECD (2008 Edition) に基づきます。

#### CO2排出量

推定二酸化炭素排出情報を kg-CO<sub>2</sub> で表示します。これは、実際の測定値ではなく、計算上の推定値です。この推定値は、どのオプションも指定していない場合の値です。

#### ファームウェア

ディスプレイの現在のファームウェアリビジョンを表示します。

#### MACアドレス

ディスプレイの「MACアドレス」を表示します。

#### 日付/時刻設定

##### タイムゾーン

本機を使用する地域とUTC(Universal Time, Coordinated)(協定世界時)との時差を設定します。

##### インターネット時刻サーバー

ネットワーク上のNTPサーバーから日付と時刻を取得し、設定します。

「オン」に設定して、NTPサーバーのIPアドレス、またはホスト名を入力し、「更新」を選択します。

年

月

日

時刻

年/月/日/時間を設定します。設定後、「更新」ボタンで設定値を反映します。

##### ご参考

本機の主電源オフのまま約2週間経過すると時計機能が停止します。この場合は「日付/時刻設定」を再度設定してください。

・「インターネット時刻サーバー」が「オン」の場合、動作しません

日付

現在の時刻を表示します。

更新

SETを押すと設定時刻を本体に反映します。インターネット時刻サーバー使用時は、時刻を更新します。

#### サマータイム

##### サマータイム

「オン」を設定した場合、以下で設定した「サマータイム」を実行します。

本機を日本で使用する場合は、サマータイムを設定しないでください。

##### 開始月/日/時刻

サマータイムの開始月/日/時間を設定します。

##### 終了月/日/時刻

サマータイムの終了月/日/時間を設定します。

時差

「現在時刻」と「サマータイム」の時差を設定します。

**外部制御**

コントロール用のID番号を設定します。

**ポート**

本機を外部制御する端子を「RS-232C」または「USB」から設定し、SETを押します。  
「USB」を設定した場合、USB-Type-C 1（アップストリーム）端子接続した機器から本機を制御します。

**モニターID**

モニターID番号は1～100、グループID番号はA～Jの間で選べます。

モニターID番号は以下の場合に使用します。

- ・リモコンをIDモードで使用する場合
- ・LANを使ってマルチ接続（数珠つなぎ）をした場合

**グループID**

グループID番号はLANを使ってマルチ接続（数珠つなぎ）する場合に使用します。グループID番号は1つのディスプレイに複数設定できます。

**ご参考**

- ・「AUTO ID/IP 設定」、「AUTO ID/IP リセット」を実行中に主電源オフまたはスタンバイ状態にしないでください。

**AUTO ID/IP設定**

「開始」を選択すると、「AUTO ID/IP設定」の設定画面が表示されます。  
マルチ接続（数珠つなぎ）をしているディスプレイ間にネットワーク機器を接続しないでください。

モード選択 ..... 「モニターID」、「IPアドレス」、「ID and IP」から設定する項目を選択します。

モニターID: 設定中のディスプレイ以下のマルチ接続（数珠つなぎ）されているすべてのディスプレイにモニターIDが自動的に設定されます。  
設定されていた「モニターID」は上書きされます。グループIDは変更されません。

IPアドレス: 設定中のディスプレイ以下のマルチ接続（数珠つなぎ）されているすべてのディスプレイにIPアドレスが自動的に設定されます。  
設定されていた「IPアドレス」は上書きされます。

ID and IP: 「モニター ID」と「IPアドレス」を設定します。

先頭番号 ..... 親機のベース番号を1～99の間で設定します。親機のベース番号を基準にマルチ接続されているすべてのディスプレイのモニターIDを昇順に自動設定します。モニターIDの最大値が99となるため、マルチ接続されているすべてのディスプレイに設定されるモニターIDが99に納まるように親機のベース番号を設定してください。

BASE ADDRESS ... BASE ADDRESSの第1オクテットから第3オクテットを設定してください。  
第4オクテットはディスプレイが接続されている順にベース番号から昇順に自動設定します。  
BASE ADDRESSはモード選択で「IPアドレス」もしくは「ID and IP」を設定したときのみ表示されます。

ID/IP設定開始 ..... SETを押すとを選択した場合、マルチ接続されているすべてのディスプレイに対して「AUTO ID/IP設定」が実行されます。

モニター検出数 ..... モード選択を選択しID/IP 設定開始を実行するとモニター検出数が表示されます。  
接続台数と異なる場合は「リトライ」を選択し再度実行してください。  
接続台数が正しい場合は「続ける」を選択してください。

**AUTO ID/IPリセット**

「リセット」を選択すると、「AUTO ID/IPリセット」の設定画面が表示されます。

リセットモード選択 ..... 「モニター ID」、「IPアドレス」、「ID and IP」からリセットする項目を選択します。  
マルチ接続（数珠つなぎ）する台数を変更する場合は、「AUTO ID/IP設定」の「モード選択」で選択した項目を「リセットモード選択」で選択してください。

ID/IPリセット開始 ..... 「リセットモード選択」で選択した項目を初期値に戻します。

**ご参考**

- ・「AUTO ID/IP リセット」を実行した場合、マルチ接続（数珠つなぎ）をしていても「モニター ID」や「IP アドレス」の設定は個々の設定になります。

## 各種設定メニュー

### モニター検出数

モニターIDが設定されたディスプレイの台数を表示します。

### コマンド転送

「オン」を設定した場合、コマンドをマルチ接続(数珠つなぎ)しているディスプレイに転送します。AUTO ID/IPリセットを実行すると、ディスプレイ間でのコマンド転送操作はできなくなります。

### 言語選択

OSD に使用する言語を選択します。

### OSD

#### OSD位置

OSD メニューを表示する位置を調節します。

▶ボタンを押すと画面の右へ移動し、◀ボタンを押すと画面の左へ移動します。

▲ボタンを押すと画面の上へ移動し、▼ボタンを押すと画面の下へ移動します。

#### インフォメーションOSD

インフォメーションOSD の表示の「オン」/「オフ」を設定します。「インフォメーションOSD」は入力の切替えや入力信号の状態が変化したとき、または入力信号が異常なときに画面に表示されるメッセージです。

#### IP/ID情報

「IP アドレス」と「モニター ID」設定の表示を「オン」/「オフ」で設定します。

表示される内容はOSD メニューの「システム」→「外部制御」または「ネットワーク」→「ネットワーク情報」で設定します。

#### OSD透過

「オン」を選択するとOSD メニューを表示しているときに背景映像を透過します。

#### OSD方向

OSD メニューの表示方向を設定します。

ランドスケープ.....横型設置した場合に見やすい方向でOSD メニューを表示します。

ポートレート.....縦型設置した場合に見やすい方向でOSD メニューを表示します。

#### キーガイド

OSD メニューを表示しているときにキーガイドを表示する機能です。

### クローン設定

ディスプレイの設定値をLANやUSBメモリーを使って他のディスプレイに読み書きします。

#### クローン設定

現在制御中のディスプレイの設定値をUSB メモリー(FAT32)やLAN ケーブルを経由して他のディスプレイに読み書きします。

USBメモリーを使用する場合、サービスポートに接続します。

USB書き込み..... USBメモリーにディスプレイの設定内容のコピーをします。

USB読み込み..... USBメモリーに書き込まれた設定を読み込み、接続したディスプレイに選択した設定内容を上書きします。

LAN..... 制御中のディスプレイの設定値をLAN を使って接続した他のディスプレイにコピーします。

#### コピー対象

コピー対象には「現在の端子」と「すべての端子」があります。

OSDメニュー(入力、映像設定、音声設定、スケジュール、スロット、ネットワーク、保護設定、システム、HTTP)を個別に選択し、

「コピー対象」で選択した入力端子に対し設定値を読み書きします。

現在の端子: 現在の入力端子のデータのみ

すべての端子: すべての入力端子のデータ

#### ご参考

・ 読み書きする項目については当社 Web サイトを参照ください。

**コピー開始**

「SETを押すと実行します。」にカーソルを合わせ、SETボタンを押すと設定値の読み込みを開始します。  
コピー開始を実行するには

- 「クローン設定」で「USB書き込み」を選択し、SETボタンを押す
- 「クローン設定」で「USB読み込み」または「LAN」を選択、「コピー対象」で項目を選択し、SETボタンを押す

**ご参考**

コピー開始を実行すると、コピー開始前の設定値には戻せません。

**電源ランプ**

「オフ」を選択すると電源ボタン入(青色点灯)のとき、電源ランプを消灯することができます。

**ミュート設定**

ディスプレイの音声出力と映像出力をミュートすることができます。

- 音声: リモコンの MUTE ボタンを押すと音声を出力しません。
- 映像: リモコンの MUTE ボタンを押すと映像を出力しません。
- 音声&映像: リモコンの MUTE ボタンを押すと音声と映像を出力しません。

**ご参考**

以下の場合、ミュート設定が解除されます。

- ・ 「入力」を変更した場合
- ・ 主電源スイッチをオフ / オンした場合
- ・ リモコンや本体の電源ボタンでオフ / オンした場合
- ・ パワーセーブから復帰した時
- ・ 「ミュート設定」を変更した場合
- ・ 「音声モード」を変更した場合
- ・ リモコンや本体キーで音量を変更した場合
- ・ 映像信号 ( 解像度 / 走査周波数 ) を変更した場合

**USB****PCソース**

USBハブのアップストリームポートに接続する機器を切り替えます。接続する機器を固定する場合は、「外部PC」または「OPTION」「COMPUTE MODULE」を選択してください。選択した機器によりUSB Type-C1 (アップストリーム) 端子に接続した機器から、USB Type-A端子、USB Type-C2 端子(ダウンストリーム)に接続したUSB周辺機器が制御されます。

**ご参考**

- ・ 「OPTION」と「COMPUTE MODULE」は接続されているときのみ設定できます。
- ・ 「外部 PC」を選択した場合、USB Type-C1 (アップストリーム) 端子に接続したコンピューターが USB ハブのアップストリームポートに接続されます。

**USB電源**

USB Type-A端子とUSB Type-C2 (ダウンストリーム) 端子への電源供給の設定ができます。  
「オン」、「自動」から設定します。

スタンバイ時に電源を供給する場合は「オン」を選択してください。

**ご参考**

- ・ 接続している USB 機器により消費電力は変わります。

**USB-C設定**

USB Type-C1 (アップストリーム)端子のUSB 最大転送速度を設定します。

USB2.0..... 最大転送速度は 480Mbpsで、USB映像とも安定な信号伝送に適した設定です。

USB3.2..... 最大転送速度は 5Gbpsで、USB データの高速通信用設定です。

**ご参考**

- ・ 事前に本機に接続した USB 機器を停止させてください。一部の USB 機器では、この操作をおこなわないと機器の破損やデータの消失の原因になる場合があります。
- ・ 「USB3.2」を設定した場合、「DisplayPort バージョン」の「MST」を設定できません。
- ・ 「USB3.2」を設定した場合、「DisplayPort バージョン」は、「1.2」のみの設定となります。

## 各種設定メニュー

### ファームウェア更新(USB)

ファームウェアが入ったUSB メモリーを本機のサービス端子に接続し、SETを押すとファームウェアを更新します。

#### ご参考

- 適用可能なファームウェアは Web サイトからダウンロードできます (97 ページ)。インストールについては、それぞれの取扱説明書を参照してください。

### ファームウェア更新(ネットワーク)

インターネットを通じて新しいファームウェアに更新します。

#### ご参考

- ファームウェアの更新後は、以前のバージョンに戻すことはできません。
- ファームウェアの更新中は、ディスプレイをネットワークから切断したり、ディスプレイの電源を切らないでください。ファームウェアの更新に失敗した場合は、更新をもう一度実行してください。

### 更新方法

インターネットを通じてファームウェアを更新する方法を設定します。

自動.....「更新スケジュール」で設定した時刻にインターネットを通じて新しいファームウェアが利用できるか確認します。利用できる場合は自動的にファームウェアを更新します。

手動.....「更新スケジュール」で設定した時刻にインターネットを通じて新しいファームウェアが利用できるか確認します。利用できる場合は「手動更新」に利用できることを表示します。

オフ.....インターネットを通じた新しいファームウェアの確認をおこないません。

### 更新スケジュール

設定した時刻に新しいファームウェアが利用できるか確認します。本設定をおこなうには、「更新方法」を「自動」または「手動」に設定してください。

### 手動更新

新しいファームウェアが利用できるかどうかを表示します。また、SETを押すと、インターネットを通じて新しいファームウェアの確認や更新をおこないます。

本機能を使用する際は、「更新方法」を「自動」または「手動」に設定してください。

### 最新の更新

インターネットを通じて最後にファームウェアを更新した日付とリビジョンを表示します。

### リセット

「言語選択」、「OSD方向」、「キーガイド」、「日付/時刻設定」、「サマータイム」以外のシステムの各設定が工場出荷時の状態に戻ります。

### オールリセット

以下を除くすべての設定が工場出荷の状態に戻ります。

- 「システム」の「日付/時刻設定」と「サマータイム」
- 「保護設定」の「セキュリティー設定」→「パスワード」

#### ご参考

- リモコンの設定によってはすべてのマルチ接続されているディスプレイに同時に機能が実行される場合があります。オールリセットの実行には特にご注意ください。すべてのマルチ接続されているディスプレイでオールリセットが実行された場合、再度接続を有効にするためにはすべてのディスプレイで再設定が必要となります。

# 便利な機能

## ■ 電源スケジュールと再起動スケジュール

スケジュール機能により、再起動や本機の電源オンとスタンバイ状態を任意の時刻に切り替えることができます。

### スケジュールの作成

#### 1. OSDメニュー「スケジュール」の「スケジュール設定」を表示する。

- ① リモコンの MENU ボタンを押します。
- ② リモコンの▲/▼ボタンで「スケジュール設定」(43ページ)を選択します。
- ③ SET ボタンまたは▶ボタンを押して「設定」に移動します。
- ④ ◀/▶ボタンでスケジュール番号を選択し、SET ボタンを押します。
- ⑤ 番号のとなりの四角にチェックが表示されます。これで、スケジュールの作成が可能になります。



#### 2. 電源オン/オフスケジュールを設定する。

- ① ▼ボタンで「電源制御」を選択し、◀/▶ボタンで「オン」を選択します。電源オフのスケジュールを設定する場合は「オフ」を選択します。
- ② ▼ボタンで「時刻」を選択し、◀/▶ボタンで時刻を設定します。
- ③ ▲/▼ボタンで「入力」を選択し、◀/▶ボタンで入力信号を選択します。
- ④ ▼ボタンで「日付」、「毎週」を選択し、作成するスケジュールに対応するメニュー項目を選択して SET ボタンを押します。
  - ・ 特定の日にスケジュールを設定するときは「日付」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押します。
  - ・ 特定の曜日にスケジュールを設定する場合は上下ボタンで「毎週」を選択して SET ボタンを押します。続けて特定の曜日を設定します。
- ⑤ ひとつのスケジュールの作成が完了すると、別のスケジュールの作成が可能になります。MENUボタンを押してOSDメニューを終了するか、EXITボタンを押してひとつ前のOSD画面に戻ります。

### ご参考

- ・ 「スケジュール」を設定する前に、必ず「日付/時刻設定」で現在の日付を設定してください。
- ・ スケジュール設定画面を閉じると設定した値が保存されます。
- ・ 複数のスケジュールが同時刻に設定されている場合は、プログラム番号の大きいスケジュールを優先します。
- ・ 「オフタイマー」が動作中の場合は、「スケジュール設定」を実行しません。
- ・ 入力が有効でなくなると、そのテキストが赤色で表示されます。たとえば、入力がスケジュールに選択された後、「自動入力切替」が「CUSTOM DETECT」のときに、スケジュールで設定されている入力が設定されていない場合は、入力切り替えが無効になります。
- ・ スケジュール設定画面を開いている間スケジュールは実行されません。

### 本機に日付と時刻を設定する:

**タイムゾーン設定:** 本機を使用する地域と UTC (Universal Time, Coordinated) (協定世界時) との時差を設定します。

- ・ 初期値: +00:00
- ・ 日本国内で使用する場合は「+09:00」と設定してください。

**インターネット時刻サーバー:** ネットワーク上の NTP サーバーから日付と時刻を取得し、設定します。

- ・ ネットワーク上の NTP サーバーと同期して、正しい時刻を取得するときは「インターネット時刻サーバー」を「オン」にしてください。そして NTP サーバーの IP アドレス、またはホスト名を入力し、「更新」を行ってください。

### ご参考

- ・ 本機の電源コードを外したあとそのまま約 2 週間経過すると、日付と時刻が初期化され時計機能は停止します。初期化されると、日付は「2025 年 1 月 1 日」に、時刻は「00:00」になります。時計機能が停止した場合は、「日付/時刻設定」を再度行ってください。

## 便利な機能

### ■ 高度な色補正機能

本機は、独自の色補正機能である SPECTRAVIEW ENGINE (SVE) を内蔵しています。工場出荷時の測定で得られたディスプレイ個々の特性を考慮しながら周囲温度や経年劣化による影響を補正し、色や輝度の均一性、精度、安定性において良い状態を維持します。

Adobe® RGB や sRGB などの正確な色再現、ICC プロファイルと 3 次元ルックアップテーブルを使用したプリンター出力エミュレーション機能など、さまざまなカラーマネジメント機能を備えています。

SVE の動作はオンモードとオフモードがあります。

#### リモコンによる SPECTRAVIEW ENGINE のオン/オフの切り替え:

1. リモコンの MENU ボタンを押す。
2. OSDメニューの「映像設定」→「SPECTRAVIEW ENGINE」を選択する。  
▲、▼、◀、▶ボタンで OSD メニューを操作します。
3. 「オン」または「オフ」にカーソルを合わせ、SET ボタンを押し、SPECTRAVIEW ENGINE を有効または無効にする。
4. EXIT ボタンを押して「映像設定」メニューのトップに戻る。

#### SPECTRAVIEW ENGINE の使い方

SVE がオンの場合、本機の内部プロセッサがカラーマネジメント機能を実行し、高度なレベルの色や輝度の調節が可能になります。白色点調節は CIE x, y 座標で制御し、グレースケール応答はディスプレイ自身が計算、管理します。

SVE には均一性の調節機能があり、任意の補正レベルを選択することにより、明るさと色の均一性を最大にするか、輝度（明るさ）を最大にするか選ぶことができます。

SVE は 5 つのピクチャーモードを記憶しており、それぞれ個別に設定、選択することができます。各ピクチャーモードに、自由にカスタマイズした色設定を保存しておくことができます。それにより、ピクチャーモードを変更するだけですばやく設定を切り替えることが可能になります。

SVE を使用することで、人間の異なる色覚特性を模擬的に表示したり、液晶ディスプレイの出力色域を任意に選択したりするといった高度な機能を実行します。

#### SVE の各ピクチャーモードの設定を変更する:

ピクチャーモード内のそれぞれの設定値は、次ページの「ピクチャーモードのプリセット一覧」の表にあるように、一般的な使用に対応できるようあらかじめ設定されています。SVE のピクチャーモードで任意のプリセットを選択すると、それ以外の設定値は選択したプリセットの初期値に置き替わります。また、各設定値は必要に応じて個別に設定することができます。

1. リモコンの MENU ボタンを押す。
2. OSD メニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」の順に操作する。  
▲、▼、◀、▶ボタンで OSD メニューを操作します。
3. ▶ボタンを押して「ピクチャーモード」を選択する。
4. 「ピクチャーモード」で「1」から「5」のいずれかの設定を選択する。

1 → 2 → 3 → 4 → 5  
↑

5. 「プリセット」でいずれかのプリセット項目を選択する。

本機に表示するコンテンツあるいは使用するソフトウェアにとって最適な項目を選択してください。

各ピクチャーモードにおける設定値として、輝度、BLACK (黒レベル)、ガンマ、WHITE (白色点の色温度、白色点の CIE x, y 色度)、RED (赤のプライマリー x, y 色度)、GREEN (緑のプライマリー x, y 色度)、BLUE (青のプライマリー x, y 色度) があります。OSDメニューの「ピクチャーモード」で設定をします。

設定値を変更するときは ▼ ボタンを押して変更したい設定値を選択し、◀/▶ ボタンで値を変更します。

6. EXITボタンを押して「映像設定」メニューのトップに戻す。



ご参考

「ピクチャーモード」の各設定値を初期値から変更すると、プリセット名には\*マークが表示されます。「プリセット」の初期設定値には影響しません。

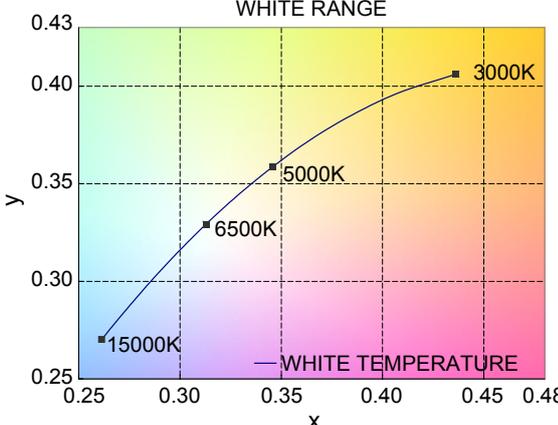
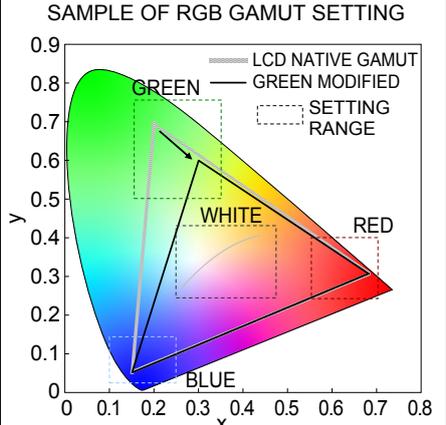
ピクチャーモードのプリセット一覧

プリセット	目的
sRGB	インターネット、Windows <sup>®</sup> 、スマートフォン、デジタルカメラで標準的に用いられる設定です。一般的なカラーマネジメント用途におすすめします。
AdobeRGB	プロ用デジタルカメラ、印刷環境など高度なグラフィック用途で用いられる広色域設定です。
eciRGB_v2	ヨーロッパの印刷業界で用いられる色空間です。
DCI-P3	デジタルシネマに用いられる設定です。
Rec.709	HDTV 放送に用いられる設定です。
Rec.2100(HLG)	UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。
Rec.2100(PQ)	UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。
Low Blue	画面から発光されるブルーライトを低減し、目に優しい表示です。紙の見え方に近い設定です。
Signage	デジタルサイネージなどの明るい環境での使用に適した、高輝度・高色温度の色設定です。
TV Studio	ディスプレイの画面がカメラで撮影されるようなスタジオ撮影に適した色設定です。TV スタジオのような電球色照明に合った色合いで表示します。
Full	色空間の補正はせず、液晶パネルの特性で表示します。外部機器でカラーマネジメントをする際に適した設定です。
DICOM sim.	X 線画像の表示など医用画像の参照に適した画質設定です。実際の診断には使用しないでください。
Programmable	対応するアプリケーションから詳細なガンマ特性を設定できます。対応するアプリケーションについては販売店にお問い合わせください。

## 便利な機能

### SPECTRAVIEW ENGINE の設定

設定一覧	目的
輝度	画面の目標輝度を設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
BLACK	画面の黒レベルを設定します。液晶パネルの特性などにより目標値に達しない場合、文字色が黄色に変化します。
ガンマ	グレースケールの見え方など、階調特性を設定します。
	sRGB : sRGB 用の設定です。
	L Star : L*a*b* 表示系で使われる設定です。
	Rec.1886 : HDTV 放送で使われる設定です。
	HDR-Hybrid Log : UHD 放送などの HDR 映像に適した設定です。システムガンマ値を設定できます。
	SYSTEM GAMMA : システムガンマ値を 0.5-2.0 の範囲で設定します。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値に応じて自動的に設定されます。
	HDR-ST2084 (PQ) : UHD パッケージコンテンツやインターネット動画配信サービスなどの HDR 映像に適した設定です。最大輝度値を設定できます。
	PEAK LUMI. : ST2084(PQ) 信号が持つ輝度情報のうち、表示する最大輝度値を設定します。数値を上げると白飛びが改善されますが、画面が暗くなります。「自動」選択時は、「輝度」で設定した値を最大輝度値として表示します。
	DICOM : 医用画像の参照に適した設定です。
	Programmable : 対応アプリケーションにより設定した階調特性を適用します。
Custom : カスタム値 : ガンマを数値で設定します。一般的な画像では 2.2 が使われます。数値を上げると中間色が暗くなり、数値を下げると中間色が明るくなります。	
<p style="text-align: center;">SAMPLE OF PRESET GAMMA</p>	

設定一覧	目的
WHITE (K) WHITE (x, y)	<p>白色の色度を、色温度 (K) もしくは CIE x, y 座標で設定します。x 値を上げると赤味が、y 値を上げると緑味が、x、y 値を両方下げると青味がそれぞれ増加します。NATIVE は液晶パネルの白色を表示します。</p>  <p>The graph titled 'WHITE RANGE' plots white temperature on the CIE x-y plane. The x-axis ranges from 0.25 to 0.48, and the y-axis ranges from 0.25 to 0.43. A curve labeled 'WHITE TEMPERATURE' shows the relationship between color temperature and chromaticity. Key points are marked: 15000K (approx. x=0.26, y=0.27), 6500K (approx. x=0.32, y=0.33), 5000K (approx. x=0.35, y=0.36), and 3000K (approx. x=0.44, y=0.41).</p>
RED (x, y) GREEN (x, y) BLUE (x, y)	<p>ディスプレイの色域をつくる三原色(赤、緑、青)に関し、色度を CIE x, y 座標で設定します。白やグレーなど無彩色以外のすべての色に影響します。</p>  <p>The graph titled 'SAMPLE OF RGB GAMUT SETTING' shows the RGB color gamut on the CIE x-y plane. The x-axis ranges from 0 to 0.8, and the y-axis ranges from 0 to 0.9. It illustrates the 'LCD NATIVE GAMUT' (solid line) and a 'GREEN MODIFIED' gamut (dashed line). A 'SETTING RANGE' is indicated by a dashed box around the primary colors. The primary colors are labeled: BLUE (approx. x=0.15, y=0.05), GREEN (approx. x=0.15, y=0.8), and RED (approx. x=0.7, y=0.3). The 'WHITE' point is also shown near the center of the gamut.</p>

**ご参考**

- ピクチャーモードごとに、「エミュレーション」、「6色調節」、「ユニフォミティ」(38ページ)の設定値が保存されます。
- コンピューターのカラー設定(ICCプロファイル)とピクチャーモードの設定が異なる場合は正しい色再現性が得られません。

## 便利な機能

### ■ その他のピクチャーモードの使い方

SPECTRAVIEW ENGINE がオフの場合、設定できるピクチャーモードが変化します。ピクチャーモードは「ピクチャーモード一覧」表のように一般的な用途に向けて設定されています。

#### ピクチャーモードを変更する：

OSDメニューの「映像設定」→「ピクチャーモード」、またはリモコンの PICTURE MODE ボタンで表示モードを選択します。

DisplayPort、USB-C、HDMI1、HDMI2、COMPUTE MODULE\*<sup>2</sup>、OPTION\*<sup>1</sup> 選択時

- 標準 → 店舗 → 会議室 → 高輝度 → 交通機関 → CUSTOM



\*<sup>1</sup>: 対応するオプションボード装着時のみ。対応可能なオプションボードについては販売店にお問い合わせください。

\*<sup>2</sup>: 動作しません。

#### ピクチャーモード一覧

ピクチャーモード	目的
標準	標準の映像設定
店舗	サインージ、ブランディングに適した映像設定
会議室	テレビ会議等に適した映像設定
高輝度	外光の明るい環境に適した映像設定
交通機関	公共施設等の設置に適した映像設定
CUSTOM	任意の設定

#### ご参考

OSDメニューの「映像設定」で設定した内容は、現在選択されている「入力」に対し保存されます。

## ■ セキュリティー設定とボタン操作のロック

通常、ディスプレイはリモコンや本体コントロールパネルのボタン / キーを使って誰でも操作できます。セキュリティーを設定し、ロックをかけることで、権限を持たない人による本機の使用や設定の変更を禁止することができます。

以下のセキュリティー機能、ロック機能を説明します。

- パスワードの設定
- パスワードによるセキュリティー
- リモコンのボタン操作をロックする(28ページ)
- 本体のボタン操作をロックする(14ページ)

### 設定メニューの表示位置

ディスプレイの OSD メニューを使ってセキュリティーとロックに関する設定方法を説明します。セキュリティーとロックに関する設定は、ディスプレイの Web ページにより設定することもできます。Web ページを使った OSD メニュー操作 (74 ページ) を参照してください。

セキュリティーとロックの設定は OSD メニューの「保護設定」または、Web ページの「PROTECT」で設定します。



## 便利な機能

### パスワードによるセキュリティ

パスワードによるセキュリティを有効にすると、主電源をオンにするときや OSD メニューを表示するときに 4 桁のパスワード入力が必要になります。パスワードを入力すると、約 3 分間パスワードの入力が無いと、本機は自動的に SECURE MODE に入り、再度パスワード入力が必要になります。

#### ご参考

- パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを記録し安全な場所に保管してください。パスワードを忘れてしまった場合は、ロックを解除するためのパスワードが必要になります。パスワードについては販売店にお問い合わせください。

### 本機のパスワードを設定する

必要に応じてパスワードを設定します。



- OSDメニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」を選択する。
- 「パスワード」にパスワードを入力し、「パスワード変更」の設定に進む。
- 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力する(パスワードの初期値:0000)。
- 「新しいパスワード」に新しいパスワードを入力し、「パスワードの確認」にもう一度新しいパスワードを入力する。
- 新しいパスワードが保存される。

### パスワードによるセキュリティを有効にする

- OSDメニューの「保護設定」→「セキュリティ設定」を選択する。
- 「パスワード」にパスワードを入力し、「SECURE MODE」の設定に進む。
- 「SECURE MODE」の種類を選択する。

**START-UP LOCK** – 主電源をオンにするときにパスワードが要求されます。

主電源スイッチの操作時や停電後の電源再投入時にのみパスワードが要求されます。リモコンや本体コントロールパネルの電源ボタンによる電源オン時、スタンバイ移行時はパスワードは要求されません。

**CONTROL LOCK** – リモコンや本体のボタンを押したときにパスワードが要求されます。

#### ご参考

- OSD 画面を閉じ約 3 分経過すると、設定が有効になります。

## ボタン操作のロック

リモコンや本体後面のボタン / キーを操作しても本機が動作しないようロックすることができます。設定の変更に必要なボタンにはロックをかけないようにすることもできます。ボタン操作のロックやロック解除時のパスワードは不要です。

### リモコンのボタン操作をロックする

「ロック設定」により、リモコンのボタンによる本機の操作をロックします。「IR」を選択した場合、本体後面のボタンやキー操作をロックすることはできません。



1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「IR」を選択する。

2. 「モード」でロックの有効範囲を選択する。

**UNLOCK** – すべてのボタンが有効になります。

**ALL LOCK** – すべてのボタンをロックします。

**CUSTOM LOCK** – 以下のボタンは個別にロック設定をし、それ以外のボタンをすべてロックします。

**電源** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択すると電源ボタンは動作します。「無効」を選択すると電源ボタンはロックされます。

**音量** – リモコンのボタンをロックしても、「有効」を選択するとVOL+、VOL-ボタンで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。

**最小音量設定/最大音量設定** – 音量調節ボタンが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は有効に設定しておいてください。

#### ご参考

「オーディオレシーバー」が「許可」の場合、本機能は動作しません。

**入力** – 「有効」を選択すると入力切替ボタン、INPUTボタンが動作します。入力切替ボタン、INPUTボタンをロックするときは「無効」を選択します。

3. 「SET」を選択する。

「SET」を押すと設定が反映されます。

### リモコンのボタン操作のロックを解除する

ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。

## 便利な機能

### 本体のボタン/キー操作をロックする

「ロック設定」により、本体後面のボタン/キーによる本機の操作をロックします。「KEY」を選択した場合、リモコンのボタン操作をロックすることはできません。



1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY」を選択する。

2. 「モード」でロックの有効範囲を選択する。

**UNLOCK** – すべてのボタン/キーが有効になります。

**ALL LOCK** – すべてのボタン/キーをロックします。

**CUSTOM LOCK** – 以下のボタン/キーは個別にロックの設定をし、それ以外のボタン/キーをすべてロックします。

**電源** – ボタン/キーをロックしても、「有効」を選択すると POWER ボタンは動作します。

**音量** – ボタン/キーをロックしても、「有効」を選択すると</>キーで音量調節が可能になります。「無効」を選択すると音量調節はできません。

**最小音量設定/最大音量設定** – </>キーが動作し、設定された最低音量と最大音量の範囲内で音量の調節ができます。「音量」は有効に設定しておいてください。

#### ご参考

「オーディオレシーバー」が「許可」の場合、本機能は動作しません。

**入力** – 「有効」を選択するとINPUTボタンで入力の切り替えが可能になります。

3. 「SET」を選択する。

「SET」を押すと設定が反映されます。

### 本体のボタン/キー操作のロック解除

本体のボタン.....ロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、本体後面の SET ボタンと MENU/EXIT ボタンを同時に 3 秒以上押し、すべての本体後面のボタンのロックを解除できます。

- 電源がオフ状態でロックを解除する場合は、本体後面の電源ボタンを押し、SET ボタンと MENU/EXIT ボタンを同時に 3 秒以上押し、本体後面のボタンとキーのロックが解除されます。
- 「モード」が「CUSTOM LOCK」で、「電源」が「有効」の場合は、本体後面の電源ボタンを押し電源をオンにし、SET ボタンと MENU/EXIT ボタンを同時に 3 秒以上押し、本体後面のボタンとキーのロックを解除できます。

OSD メニュー.....ロックを解除して通常の動作に戻すには、OSD メニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」で「KEY」を選択します。次に「モード」→「UNLOCK」→「SET」を選択します。

### リモコンボタンと本体ボタンの操作をロックする

1. OSDメニューの「保護設定」→「ロック設定」→「選択」→「KEY & IR」を選択する。

以降の設定手順やロックが有効になるボタン、ロックの解除方法は「リモコンのボタン操作をロックする」と「本体のボタン/キー操作をロックする」を参照ください。

## リモコンIDモード機能について

このリモコンには、モニター ID と同様の ID 番号を設定することができます。

複数台のディスプレイが並んだ場所で使用する場合、リモコンを ID モードで動作させ ID を切り替えることにより、ディスプレイを個別に操作することができます。

### ディスプレイ本体の設定

モニター ID で ID 番号を設定する。

### リモコンのID番号を設定する(リモコンをIDモードにする)

リモコンの ID 番号を設定した場合、ID モードで動作します。

なお、ID モード時のリモコンのボタン操作は、通常と同じです。

リモコンが ID モードのときに REMOTE ID の SET ボタンを押すと、画面の中央にモニター ID が表示されます。

下記の手順で ID モード時の ID 番号を設定することができます。

- ・ リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押した状態で
  - ・ リモコンの“1”または“0”ボタンでID番号の3桁目を押す。
  - ・ リモコンの“1-9,0”ボタンでID番号の2桁目を押す。
  - ・ リモコンの“1-9,0”ボタンでID番号の1桁目を押す。

ID 番号を押した後、REMOTE ID の SET ボタンを放すと ID 番号が記憶されます。

- ・ ID番号入力は時間をあけずに操作してください。
- ・ 設定できるID番号は0～100までです。
- ・ 0を設定するとモニターIDの設定にかかわらずすべてのディスプレイが選択されます。
- ・ リモコンのID番号の設定が0以外で、リモコンのID番号がモニターIDの設定と一致しない場合は、リモコンでの操作はできません。

### リモコンをノーマルモードにする(IDモードを解除する)

リモコンの REMOTE ID の CLEAR ボタンを 5 秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。

リモコンの初期状態はノーマルモードです。

### リモコンで特定のディスプレイのみを制御する方法

1. 制御したいディスプレイでOSD画面を表示します。OSDメニュー「システム」→「外部制御」→「モニターID」でID番号を設定します。モニターIDは1～100まで設定することができます。先頭から、順番に1,2,3... と連続でIDを設定されることをおすすめします。
2. リモコンのREMOTE IDのSETボタンを押したまま、リモコンのID番号を入力します。リモコンのID番号は、制御したいディスプレイのモニターID番号と一致している必要があります。
3. リモコンを、制御したいディスプレイのリモコン受光部に向けて、REMOTE IDのSETボタンを押します。画面中央にモニターID番号が赤色で表示されることを確認してください。モニターID番号が白色で表示される場合は、モニターID番号とリモコンのID番号は一致していません。

### ご参考

- ・ リモコンではグループ ID を指定できません。



## マルチディスプレイ接続

ディスプレイをマルチ接続（数珠つなぎ）して、ディスプレイ間でコントロールコマンドと映像信号を共有します。マルチ接続したすべてのディスプレイを使用して単一画面を表示します。制御系信号ケーブルと映像信号ケーブルをディスプレイ間で接続してマルチスクリーンの構成で設定をしますが、接続と構成について十分に検討した上で設置してください。接続する際は機器の接続（20 ページ）を参照ください。

マルチスクリーンの構成では OSD メニューおよび Web ページの「PICTURE」「SYSTEM」で設定が必要です。マルチ接続するすべてのディスプレイは同じモデルで統一してください。

- ・「映像設定-アドバンスド」—**簡単タイルマトリクス設定** — 100台までのディスプレイを使用して単一画面が表示できます。親機で「水平モニター数: 1~10」と「垂直モニター数: 1~10」を入力することにより、マルチスクリーンを自動設定する機能です。以下の項目が自動設定されます。OSDメニューの「水平モニター数」、「垂直モニター数」、「位置」、「DisplayPort バージョン」、「HDMI モード」、入力端子。

### ご参考

- ・「AUTO ID/IP設定」の「モニターID」が自動的に実行されます。



- ・「映像設定-アドバンスド」—**タイルマトリクス** — 複数のディスプレイ（100台まで）に、信号分配増幅器を介して単一画面を拡大表示します。マルチスクリーンを構成するディスプレイの縦横の台数、各ディスプレイの縦横方向の位置、TILE COMPのオン/オフを設定します。

「位置」は手動で変更する必要があります。図1を参照ください。縦型設置も図1と同様です。

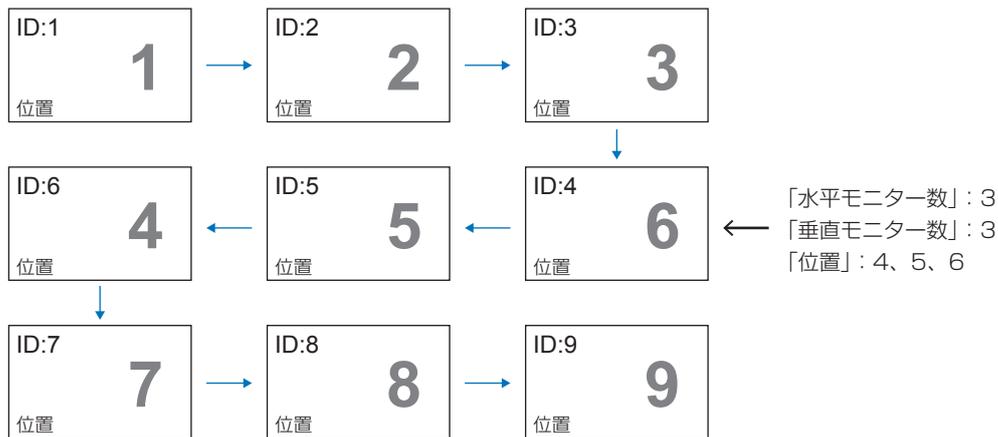


図 1

- ・ **TILE COMP** — 画面を複数のディスプレイに分割して表示する場合、より自然に見えるようにディスプレイのつなぎ目の表示方法を変更する機能です。

- ・ 「**タイルカット**」 – 表示された画像の一部を選択します。選択した範囲がスクリーン全体に表示されます。

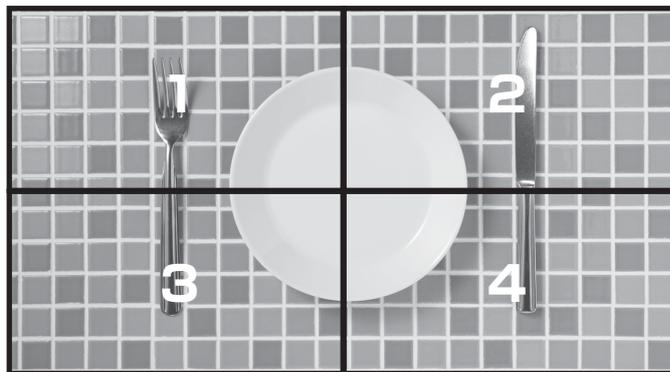
1x2の「**タイルカット**」(縦2台)の例

上部ディスプレイの設定

1. 「**水平モニター数**」 → 「**2**」、 「**垂直モニター数**」 → 「**2**」に設定する。

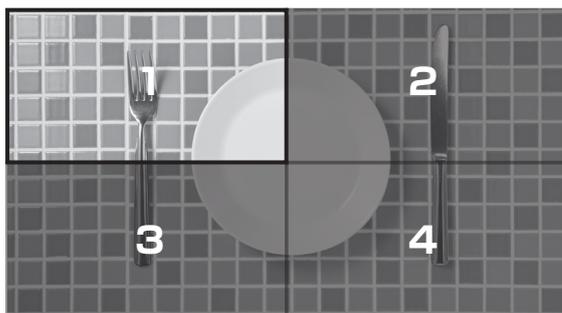
ひとつの画像が4分割され、1～4の番号が割り振られます。

タイルマトリクス	
タイルマトリクス	オン / オフ
水平モニター数	2
垂直モニター数	2
位置	1
TILE COMP	オン / オフ
水平サイズ	0 0
垂直サイズ	0 0
水平調節	0 0
垂直調節	0 0
タイルカット	オン / オフ
水平調節	0 0
垂直調節	0 0

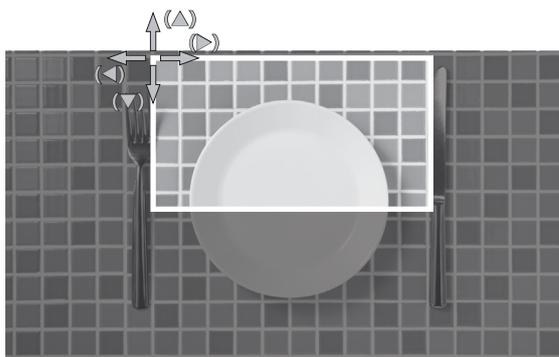


2. 「**位置**」で1～4のいずれかを選択する。

例: 「1」を選択した場合



3. 「**タイルカット**」の「**水平調節**」と「**垂直調節**」で、選択した矩形を表示したい位置に移動する。



## 便利な機能

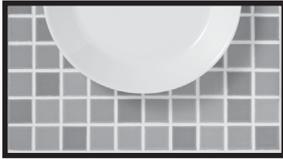
### 4.「タイルマトリクス」で「オン」を選択する。



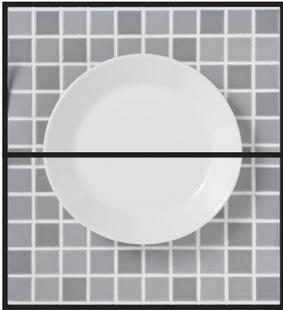
下部ディスプレイの設定

同様に操作する。

例：「位置」で「3」を選択した場合



1x2（縦2台）の場合、設定後は以下の表示になります。



- **「システム」－「外部制御」**－ 選択中のディスプレイにモニターIDとグループIPを与えます。LAN端子を使ってマルチ接続している場合、IDおよびIPは自動的にすべてのディスプレイに与えられます。
- **「システム」－「クローン設定」**－ 現在制御中のディスプレイの設定値をLANを使ってマルチ接続（数珠つなぎ）した他のディスプレイにコピーできます。

## 映像出力

端子	DisplayPort 入力	USB Type-C1 (アップストリーム)	HDMI1 (ARC) 入力	HDMI2 入力	オプションボードスロット
DisplayPort 出力	○	○	—	—	—
HDMI 出力	—	—	—	○*1	○*1

\*1: 「マルチ画面」が有効になっている場合は出力しません。

### ご参考

- ・ 同じモデルのディスプレイを接続してください。

### 複数のディスプレイを接続する場合

#### DisplayPort ケーブルで接続する場合

- ・ DisplayPort 出力端子から映像出力する際は、入力を「DisplayPort」または「USB-C」に設定してください。

#### HDMI ケーブルで接続する場合

- ・ 接続されているすべてのディスプレイで、「入力-アドバンスド」の「HDMIモード」を同じ設定（「設定1」または「設定2」）にしてください。
- ・ HDMI 出力端子から映像出力する際は、入力を「HDMI2」、「OPTION」、「COMPUTE MODULE」のいずれかに設定してください。

#### HDCP で保護された映像の場合

- ・ 本機の映像出力機能はHDCPで保護された映像コンテンツに対応しています。以下の条件でマルチ接続時にHDCPコンテンツを表示します。
  - ・ HDCP1.3:マルチ接続台数（本機を含め）最大8 台。
  - ・ HDCP2.2:マルチ接続台数（本機を含め）最大5 台。
  - ・ 接続台数によって映像が表示されるまでの時間が異なります。

### ご参考

- ・ HDCPで保護された映像コンテンツをマルチ接続で表示している際に、主電源の入れなおしやケーブルを抜き差ししないでください。映像コンテンツの再生が止まる場合があります。再生が止まった場合は、再度再生してください。
- ・ ご使用の機器によってディスプレイの接続台数は変わります。
- ・ マルチ接続での映像表示時は、ケーブルを抜かないようにしてください。必ず主電源を切ってからケーブルを抜いてください。

#### HDCP で保護されていない映像の場合

- ・ マルチ接続台数（本機を含め）最大9 台。
- ・ 接続台数によって映像が表示されるまでの時間が異なります。

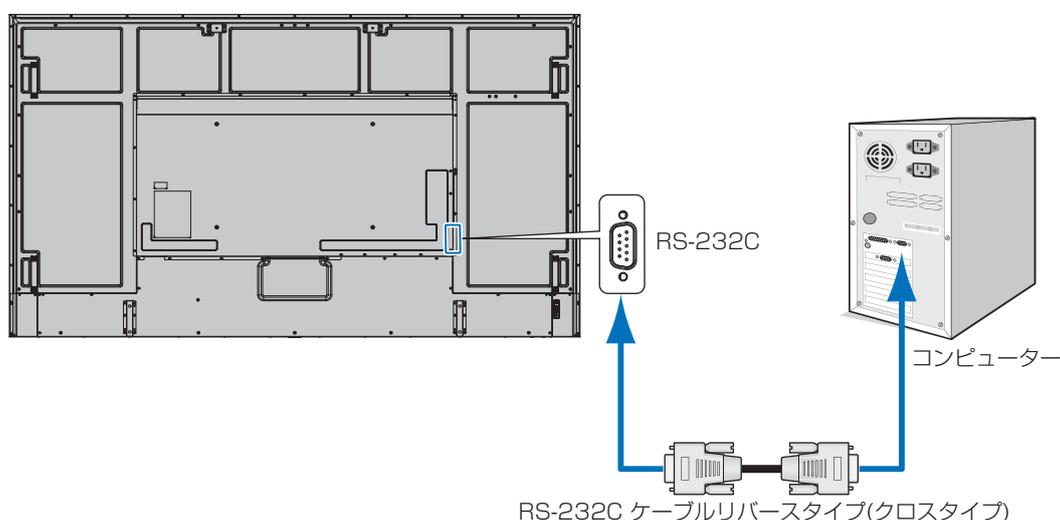
# コンピューターで本機を制御する(RS-232C)

本機の RS-232C 端子とコンピューターの RS-232C 端子をリバースタイプ (クロスタイプ) の RS-232C ケーブル (市販) で接続してください。コンピューターから次のような操作が可能になります。

- 電源を入れるまたは本機をスタンバイ状態にする
- 入力の切替
- ミュート(消音)の切替

## 本機とコンピューターの接続方法

- 接続前にコンピューターと本機の主電源を切ってください。
- 接続後はコンピューターを立ち上げてから本機の主電源を入れてください。(com ポートが正常に動作しない場合があります。)
- RS-232C で接続されたディスプレイを制御する場合は、本取扱説明書内の「コマンドによる制御」もしくは Web サイトの外部制御コマンド説明書 (「付録 A 外部のリソース」[97ページ](#))を参照ください。



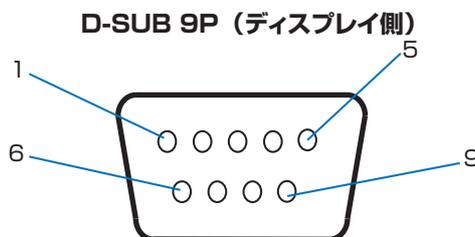
## ご参考

- コンピューターの 25 ピンシリアルポートと接続する場合は変換アダプターが必要です。変換アダプターについてはお買いあげの販売店へお問い合わせください。

## ピンの配列

RS-232C input / output

Pin No	Name
1	NC
2	RXD
3	TXD
4	NC
5	GND
6	NC
7	NC
8	NC
9	NC



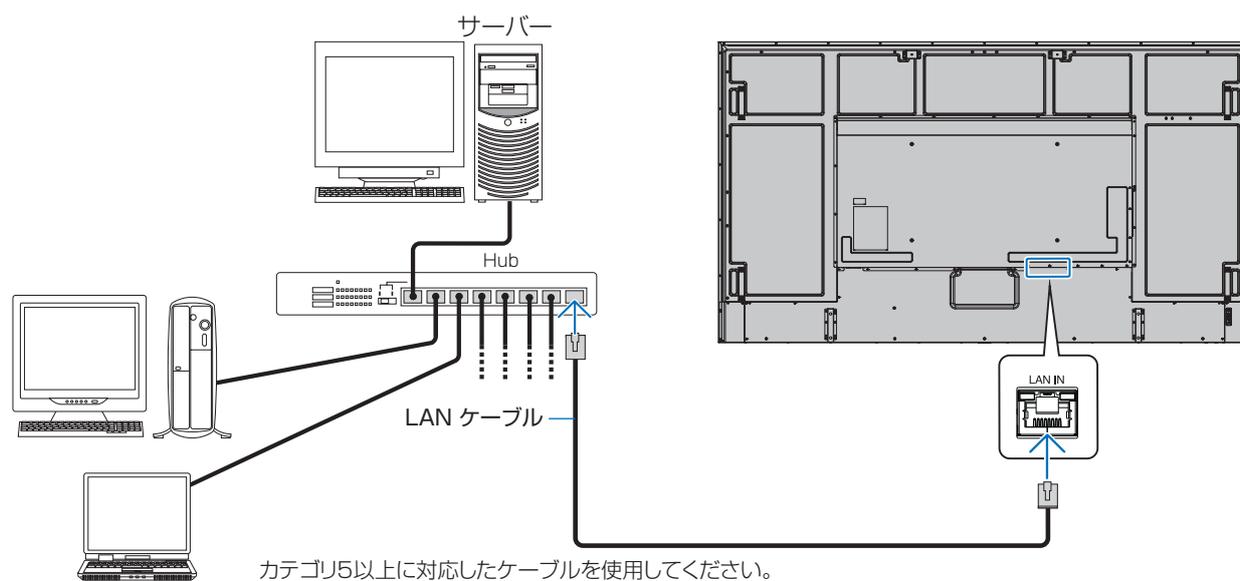
ディスプレイは RS-232C の制御に RXD、TXD、GND を使用します。

# コンピューターで本機を制御する(LAN)

本機には LAN 端子 (RJ-45) が標準装備されています。本機を LAN ケーブルを使用してコンピューターと接続し、ネットワークに接続すると、コンピューターからネットワークを経由して本機を制御することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります (46 ページ)。

DHCP ネットワークに接続した場合、自動的に本機の IP アドレスを取得します。

## 接続例



## 個人情報の初期化

本機には、IP アドレス等、個人情報が記録されている可能性があります。廃棄・譲渡する際には、オールリセットをおこない、設定の初期化をしてください。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### マルチ接続について

RS-232C 入力、リモート入力、LAN で入力されている情報を LAN ケーブルを使用して複数のディスプレイに送ることができます。

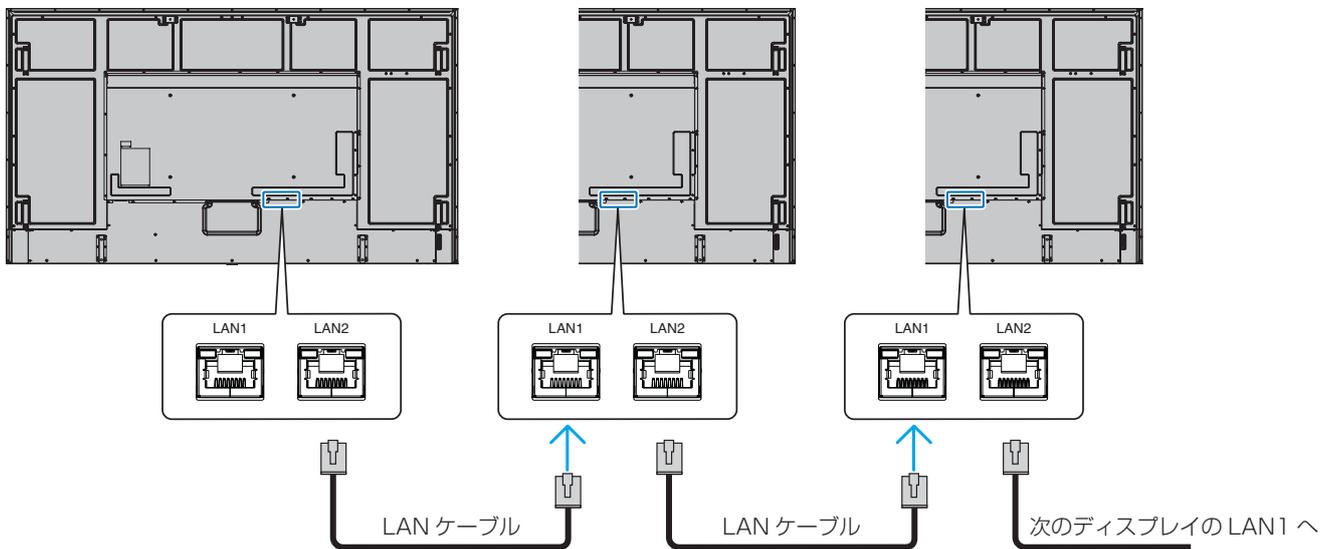
#### ご参考

- マルチ接続(数珠つなぎ)をする場合、接続台数には制限があります。
- マルチ接続した複数のディスプレイを連動させて制御する場合、マルチディスプレイのOSD メニューの「システム」→「外部制御」→「AUTO ID/IP 設定」を設定してください。  
手動でID 番号を設定する場合、「AUTO ID/IP 設定」を先に設定してください。
- LAN1、LAN2 を同じネットワークに接続しないでください。ネットワークのループ障害が発生します。マルチ接続全体としてもループ接続とにならないように注意してください。
- OSDメニューの「ネットワーク」→「ネットワークサービス」→「LANデジチェーン」を有効にしてください。

最初のディスプレイ	
端子	
入力端子	出力端子
RS-232C 入力	LAN2(DAISY CHAIN OUT)
リモート IN	
LAN1(DAISY CHAIN IN)	

2 台目以降のディスプレイ	
端子	
入力端子	出力端子
LAN1(DAISY CHAIN IN)	LAN2(DAISY CHAIN OUT)

#### 接続方法



# HTTPを使用したブラウザーによるネットワークの設定

## 概要

LAN ケーブル（市販）を接続すると HTTP サーバー機能を使って本機に LAN の設定ができます。

本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用できるようにブラウザーを設定してください。設定方法はブラウザーにより異なりますので、それぞれのソフトウェアにあるヘルプなどの説明を参照ください。

HTTP サーバー機能へのアクセスは、本機とネットワークで接続されたコンピューターで Web ブラウザーを起動し、以下の URL を入力することで可能となります。

https://〈本機の IP アドレス〉/index.html

## ネットワーク設定

### ご参考

- 工場出荷時の IP アドレス取得の設定は「自動」です。リセット後も IP アドレスは自動的に取得されます。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。  
また続けてボタン操作するとディスプレイが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作をしてください。しばらく待っても応答が無い場合は、本機の主電源を入れなおしてください。
- Web ブラウザーでネットワーク設定画面が表示されない場合は、[Ctrl] + [F5] キーを押して Web ブラウザーの画面表示を更新してください。それでも表示されない場合は Web ブラウザーのキャッシュを消去してください。
- LAN で接続されたディスプレイを制御する場合は、Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[97 ページ](#)）を参照ください。

## 使用前の準備

プロキシサーバーの種類や設定方法によっては、プロキシサーバーを経由したブラウザー操作ができないことがあります。プロキシサーバーの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ブラウザーから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバーはできるだけ使用しないことをおすすめします。

## ブラウザーによる操作のアドレスの扱い

以下の場合、ホスト名がそのまま利用できます。

- ブラウザーによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバーへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている。
- 使用しているコンピューターの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている。  
(例 1) 本機のホスト名が「pd.xxx.co.jp」と設定されている場合ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ https://pd.xxx.co.jp/index.html と指定します。  
(例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ https://192.168.73.1/index.html と指定します。

## 初回使用時の設定

ENTER NEW HTTP PASSWORD 画面が表示されます。最大 32 文字までの英数字でパスワードを設定してください。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### ブラウザによる画面調節

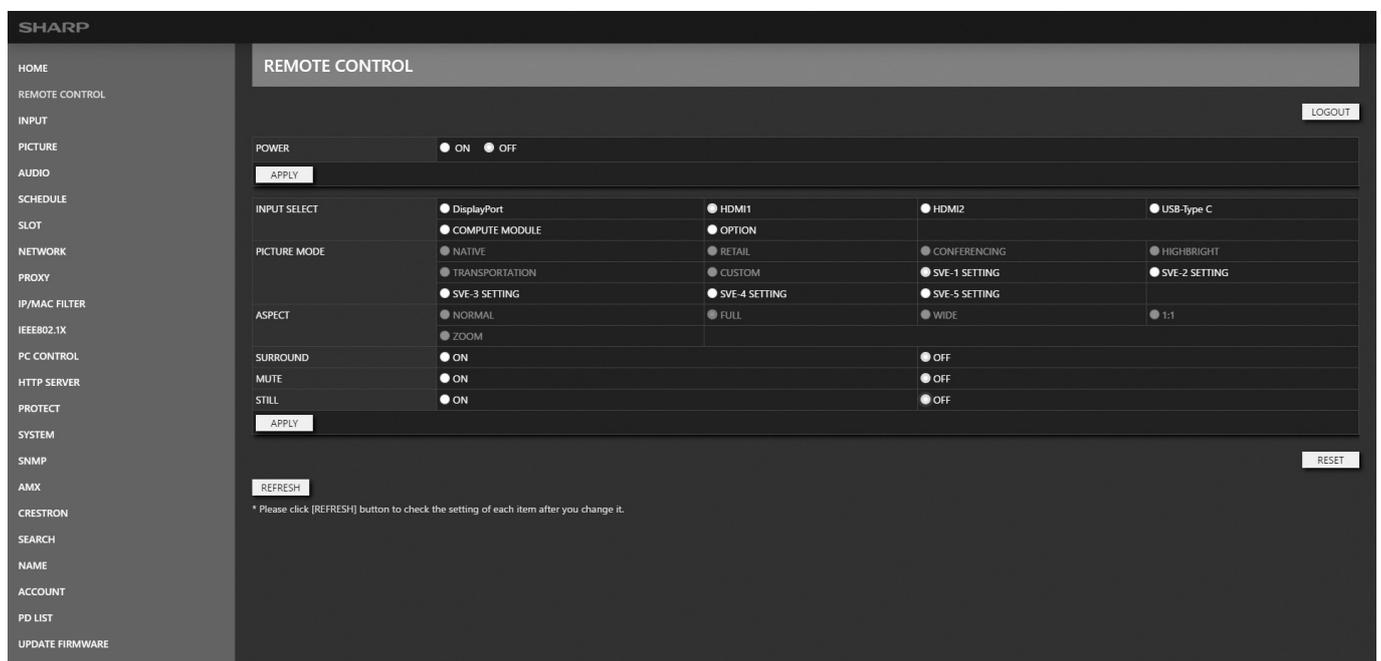
以下の URL を入力し HOME 画面を表示します。  
HOME 画面左側にある各リンクをクリックして設定画面に入ります。  
`https://〈本機の IP アドレス〉/index.html`

### ブラウザによるリモコン操作

REMOTE CONTROL : リモコンボタンと同等の操作が可能です。

### ■ Webページを使ったOSDメニュー操作

以下のリンクでは OSD メニューにあるすべての機能と同等の設定ができます。  
「INPUT」、「PICTURE」、「AUDIO」、「SCHEDULE」、「SLOT」、「NETWORK」、「PROTECT」、「SYSTEM」



### ご参考

設定画面に表示されるボタンの説明:

- APPLY:** 設定を適用します。
- CANCEL:** 各項目の設定を編集前の状態に戻します。

### ご参考

APPLY ボタンを押した後は、編集前の状態に戻りません。

- RELOAD:** 表示しているページの設定値を再読み込みします。
- RESET:** 各項目の設定が工場出荷の状態に戻ります。

## ネットワーク設定

ネットワークに関する設定をします。

[LOGOUT](#)

### NETWORK INFORMATION

IP SETTING	<input checked="" type="radio"/> AUTO <span style="margin-left: 200px;"><input type="radio"/> MANUAL</span>
IP ADDRESS	<input type="text" value="192"/> . <input type="text" value="168"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="10"/>
SUBNET MASK	<input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="255"/> . <input type="text" value="0"/>
DEFAULT GATEWAY	<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>
DNS	<input checked="" type="radio"/> AUTO <span style="margin-left: 200px;"><input type="radio"/> MANUAL</span>
DNS PRIMARY	<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>
DNS SECONDARY	<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>
MAC ADDRESS	8c:52:19:6f:65:5e
<a href="#">APPLY</a>	

### PING

IP ADDRESS	<input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/> . <input type="text" value="0"/>
<a href="#">EXECUTE</a>	

[RESET](#)

[REFRESH](#)

\* Please click [REFRESH] button to check the setting of each item after you change it.

- IP SETTING ..... IP アドレスの設定方法を選択します。  
 AUTO : IP アドレスを自動的に取得します。  
 MANUAL : IP アドレスを手動で設定します。

### ご参考

接続に関して問題が発生した場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。

- IP ADDRESS ..... 「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
- SUBNET MASK ..... 「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
- DEFAULT GATEWAY ..... 「IP SETTING」が「MANUAL」の場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。  
 設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。
- DNS ..... DNS サーバーの IP アドレスの設定方法を選択します。  
 AUTO : DNS サーバーの IP アドレスを自動的に取得します。  
 MANUAL : DNS サーバーの IP アドレスを手動で設定します。
- DNS PRIMARY ..... 本機を接続するネットワークの優先 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

### ご参考

設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

- DNS SECONDARY ..... 本機を接続するネットワークの代替 DNS サーバーの IP アドレスを設定します。

### ご参考

設定を削除する場合は、「0.0.0.0」を設定します。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### ■ PROXY設定

プロキシに関する設定をします。

PROXY		<input type="radio"/> ON <input type="radio"/> OFF
HTTP	ADDRESS	host name or IP address
	PORT	8080
	USER NAME	USER NAME
	PASSWORD	PASSWORD
HTTPS	ADDRESS	host name or IP address
	PORT	8080
	USER NAME	USER NAME
	PASSWORD	PASSWORD
EXCEPTION ADDRESS		separator is ','
<input type="button" value="APPLY"/>		

PROXY..... インターネット接続時に プロキシの認証が必要な場合に設定します。インターネットに接続すると、ファームウェアのネットワーク更新機能が利用できます。

- HTTP: インターネットにアクセスするために必要な HTTP プロキシサーバーの設定をおこないます。
- HTTPS: インターネットにアクセスするために必要な HTTPS プロキシサーバーの設定をおこないます。
- EXCEPTION ADDRESS: プロキシサーバーを使用しないアドレスを設定します。複数のアドレスを入力する場合は「,」で区切ります。

## ■ IP/MAC FILTER設定

IP/MAC FILTER、IP FILTER SETTINGS、MAC FILTER SETTINGS に関する設定をします。

IP/MAC FILTER		<input checked="" type="radio"/> ENABLE	<input type="radio"/> DISABLE
IP FILTER SETTINGS		<input checked="" type="radio"/> ALLOW	<input type="radio"/> DENY
Please input "0.0.0.0" if you don't use it.	ADDRESS FILTER 1	START ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
		END ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
	ADDRESS FILTER 2	START ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
		END ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
	ADDRESS FILTER 3	START ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
		END ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
	ADDRESS FILTER 4	START ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
		END ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
	ADDRESS FILTER 5	START ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
		END ADDRESS	0 . 0 . 0 . 0
MAC FILTER SETTINGS	MAC ADDRESS 1	00:00:00:00:00:00	
	MAC ADDRESS 2	00:00:00:00:00:00	
	MAC ADDRESS 3	00:00:00:00:00:00	
	MAC ADDRESS 4	00:00:00:00:00:00	
	MAC ADDRESS 5	00:00:00:00:00:00	
<input type="button" value="APPLY"/>			

IP/MAC FILTER.....アドレスフィルタ全体を有効 / 無効にするかを切り替えます。

IP FILTER SETTINGS.....開始アドレス / 終了アドレスの間の IP アドレスについて、許可または拒否する設定をおこないます。5種類設定できます。  
「ALLOW」は許可するアドレスを指定するモードで、  
「DENY」は拒否するアドレスを指定するモードです。

MAC FILTER SETTINGS .....MAC アドレスを5つまで許可できます。

### ご参考

- 「MAC FILTER SETTINGS」を「IP FILTER SETTINGS」の「ALLOW」と併用した場合、指定したどちらのアドレスも接続が許可されます。
- 「MAC FILTER SETTINGS」を「IP FILTER SETTINGS」の「DENY」と併用した場合、指定した MAC アドレスのうち、MAC アドレスに割り当てられた IP アドレスが「IP FILTER SETTINGS」の範囲外の場合のみ、接続が許可されます。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### IEEE802.1X SETTINGS設定

IEEE802.1Xに関する設定をします。

IEEE802.1X を使用して、接続されたユーザーを認証し、本機を利用します。

IEEE802.1X を用いた認証を使用することで、認証された機器のみネットワーク利用を許可し、第三者によるネットワークの不正利用を防ぎます。

#### ご参考

- OSDメニュー「ネットワーク」の「IEEE802.1X」(45 ページ)の有効/無効と、HTTP サーバー「IEEE802.1X」の「AUTHENTICATION」の有効/無効は同期します。HTTP サーバーで「AUTHENTICATION」を誤って有効に設定しネットワークから遮断された場合は、OSD メニューの「IEEE802.1X」で無効に設定してください。

### AUTHENTICATION

IEEE802.1X を使った認証を使用するかを設定します。

### METHOD

IEEE802.1X で EAP 認証の方式を設定します。

### EAP-PEAP

EAP-PEAP(Protected Extensible Authentication Protocol) は EAP を TLS にカプセル化し、安全な認証を提供します。サーバー側の証明書が展開され、サーバーがクライアントに対してサーバーを認証する場合によく使用されますが、クライアント側の証明書は必要ありません。

USER NAME ..... 認証するときの EAP-PEAP のユーザー名を入力します。

PASSWORD..... 認証するときの EAP-PEAP のパスワードを入力します。

VERIFY CERTIFICATE..... CA 証明書を使用して EAP-PEAP サーバ証明書を検証するか設定します。

### EAP-TLS

EAP-TLS(Transport Layer Security) は、クライアント証明書とサーバー証明書による相互認証を使用します。サーバーとクライアントの両方に証明書が必要なため、セットアップはより複雑になりますが、セキュリティは高くなります。

USER NAME ..... 認証するときの EAP-TLS のユーザー名を入力します。

VERIFY CERTIFICATE..... CA 証明書を使用して EAP-TLS サーバ証明書を検証するか設定します。

### MANAGE CERTIFICATES

証明書には 2 つのタイプがあります。

CLIENT CERTIFICATE は PFX 形式 (PKCS#12) に対応しています。この証明書は EAP-TLS に使用されます。

CA CERTIFICATE は PEM 形式と互換性があります。この証明書は、EAP-PEAP と EAP-TLS 両方に使用されます。CA 証明書は、BASE64 で符号化された PEM 形式 (pemextension) のファイルを使用します。

#### ご参考

本機に保存される証明書は 1 つです。両方の証明書をインストールした場合は、最後にインストールした証明書のみを使用できません。

### CLIENT CERTIFICATE and PRIVATE KEY

STATUS ..... クライアント証明書のインストール状況が表示されます。

VALID FROM

VALID TO ..... クライアント証明書の有効日を表示します。

#### ご参考

事前に「システム」の「日付 / 時刻設定」の設定が必要です。

FILE SELECT ..... 「ファイルの選択」を選択し、インターネットエクスプローラーを開きインポートするファイルを選択します。

PASSWORD ..... 証明書をインストールするためのパスワードを入力します。最大 32 文字の英数字を使用できます。

IMPORT/DELETE ..... 選択したファイルの本機に保存、または削除します。

### CA CERTIFICATE

STATUS ..... CA 証明書のインストール状況を表示します。

VALID FROM

VALID TO ..... CA 証明書の有効期限が表示されます。

#### ご参考

事前に「システム」の「日付 / 時刻設定」の設定が必要です。

FILE ..... 「ファイルの選択」を選択し、インターネットエクスプローラーを開きインポートするファイルを選択します。

IMPORT/DELETE ..... 選択したファイルの本機にインポートするか、選択したファイルを削除します。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### ■ PC CONTROL設定

コマンド制御に関する設定をします。

PC CONTROL

LOGOUT

PC CONTROL SETTINGS

PC CONTROL  Disable  Enable

N-FORMAT	PORT	7142 (* from 1024 to 65535)
S-FORMAT	PORT	10008 (* from 1024 to 65535)
	LOGIN AUTH	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable
	USER NAME	* MAX 64 ASCII characters
	PASSWORD	* MAX 64 ASCII characters
	AUTO LOGOUT	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable

PC CONTROL SECURE  Disable  Enable

PORT	10022 (* from 1 to 65535)
AUTO LOGOUT	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable
USER NAME	USER 1 * MAX 64 ASCII characters
	USER 2 * MAX 64 ASCII characters

APPLY

MANAGE PUBLIC KEYS (PC CONTROL SECURE)

USER 1	STATUS	NOT INSTALLED
	FILE SELECT	ファイルの選択 ファイルが選択されていません
	IMPORT/DELETE	
USER 2	STATUS	NOT INSTALLED
	FILE SELECT	ファイルの選択 ファイルが選択されていません
	IMPORT/DELETE	

RESET

REFRESH

\* Please click [REFRESH] button to check the setting of each item after you change it.

### PC CONTROL

LAN による制御コマンドを使用するかを設定します。

それぞれのコマンドフォーマットは、Web サイトの外部制御コマンド説明書（「付録 A 外部のリソース」[58 ページ](#)）または外部制御コマンド説明書（S フォーマット）を参照ください。

### N-FORMAT

PORT ..... 通常の通信制御をするときに、N-FORMAT コマンドを使用するポート番号を設定します。

### S-FORMAT

PORT ..... 通常の通信制御をするときに、S-FORMAT コマンドを使用するポート番号を設定します。

LOGIN AUTHENTICATION .. S-FORMAT コマンド使用時にログイン認証を行うかを設定します。  
ログイン認証を行う場合は、認証時に「USER NAME/PASSWORD」で設定した値を使用してユーザー認証をおこないます。

USER NAME ..... ユーザー認証で使用するユーザー名を設定します。

PASSWORD..... ユーザー認証で使用するパスワードを設定します。  
初期設定では初回電源投入時に入力したパスワードが設定されています。

AUTO LOGOUT..... 接続後に制御コマンドを受信しない期間が 15 分続くと、接続を切断するかどうかを設定します。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### PC CONTROL SECURE

公開鍵暗号方式によるユーザー認証と暗号化通信を行うかを設定します。

PORT ..... SECURE PROTOCOL による通信制御をするときに、N-FORMAT/S-FORMAT のコマンドを使用するポート番号を設定します。

AUTO LOGOUT ..... 接続後に制御コマンドを受信しない期間が 15 分続くと、接続を切断するかどうかを設定します。

USER NAME ..... ユーザー認証で使用するユーザー名を設定します。

### MANAGE PUBLIC KEYS(PC CONTROL SECURE)

SECURE PROTOCOL を使用するための、公開鍵を管理します。

FILE SELECT ..... 本機に登録する公開鍵を設定します。

IMPORT/DELETE ..... 選択したファイルの本機に保存、または削除します。

### ■ HTTP SERVER設定

HTTP SERVER や HTTP CLIENT で使用する「証明書」をインストールします。

The screenshot shows the 'HTTP SERVER' configuration page. At the top right is a 'LOGOUT' button. Below is the 'HTTP SERVER SETTINGS' section with a table:

HTTP	PORT	Disable	Enable
	80 (* from 1 to 65535)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
HTTPS	PORT	Disable	Enable
	443 (* from 1 to 65535)	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
REST API	AUTH KEY	Disable	Enable
		<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

Below the table is an 'APPLY' button. The 'MANAGE CERTIFICATES' section contains a table with columns for SERVER CERTIFICATE, CA CERTIFICATE, FILE SELECT, and PASSWORD. The 'FILE SELECT' and 'PASSWORD' rows show a file selection interface with a 'ファイルの選択' button and a message 'ファイルが選択されていません'. The 'PASSWORD' row also has a note '\* MAX 32 ASCII characters'. Below this is the 'HTTP CLIENT' section with a table for CA CERTIFICATE and FILE. Similar to the server section, it has 'FILE SELECT' and 'PASSWORD' rows with file selection and password input options. At the bottom left is a 'REFRESH' button and a note: '\* Please click [REFRESH] button to check the setting of each item after you change it.' At the bottom right is a 'RESET' button.

### HTTP SERVER SETTINGS

HTTP, HTTPS, REST API の有効 / 無効を設定します。

### MANAGE CERTIFICATES

HTTP SERVER ..... 製品出荷時に HTTP サーバーは、ダミーのサーバー証明書が使用されておりセキュリティ警告が出ます。ユーザーが証明書を入手された場合に、インストールできます。形式は PKCS#12 (pfx 拡張子) のファイルを使用します。

HTTP CLIENT ..... インターネットの接続環境に CA サーバーの証明書を使用している場合に CA 証明書をインストールします。形式は PEM 形式 (pem 拡張子) です。

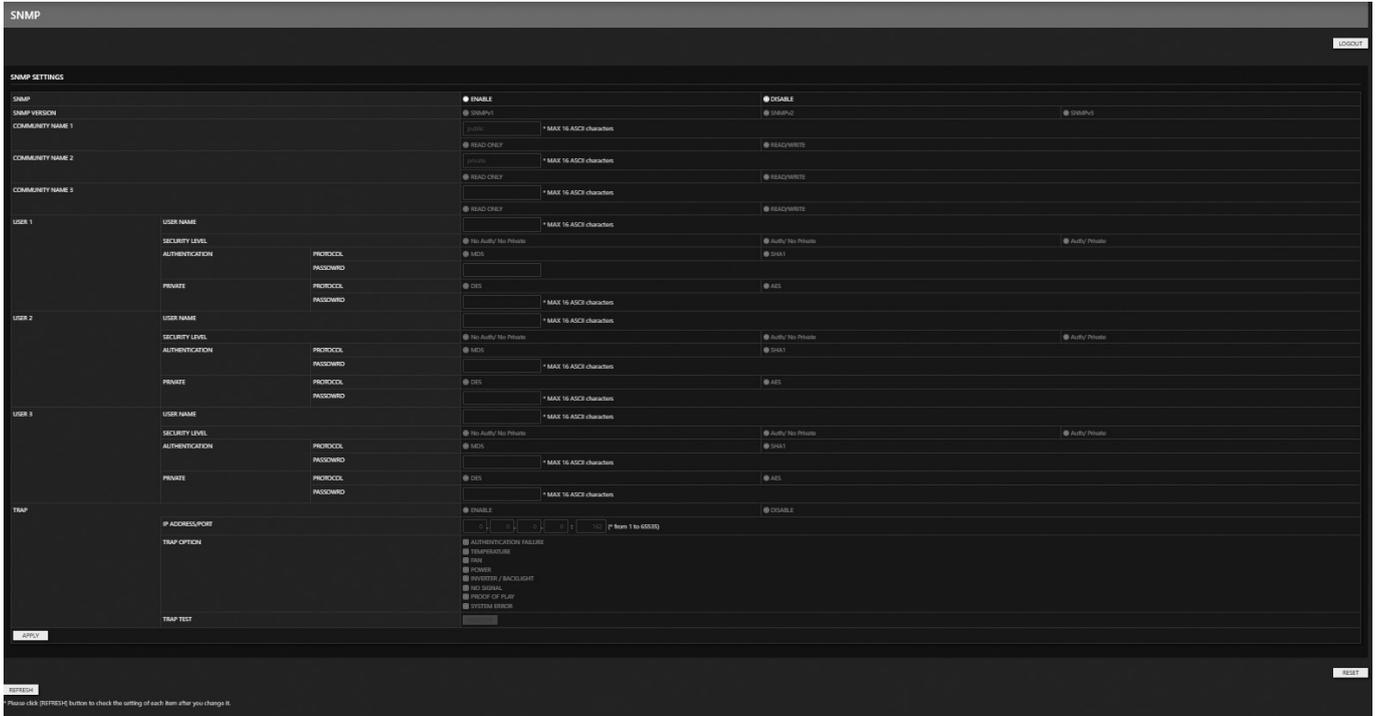
# コンピューターで本機を制御する(LAN)

## ■ SNMP設定

SNMP に関する設定をします。

SNMP はディスプレイとの通信に利用するネットワーク管理プロトコルです。

SNMP の有効 / 無効を設定します。



## SNMP VERSION

SNMP v1、SNMP v2c..... コミュニティによる認証・メッセージの暗号化は起こりません。

SNMP v3..... 認証プロトコルを利用したユーザ認証・メッセージの暗号化をおこないます。

## COMMUNITY NAME

SNMP で管理するグループの名前とアクセスタイプを設定します。

コミュニティ名の初期設定は public と private です。

READ ONLY ..... READ ONLY は情報の読み込みだけが可能となります。

READ/WRITE ..... READ/WRITE は情報の読み込み / 書き込みが可能となります。

「SNMP v3」 選択時に以下を設定します。

## USER NAME 1-3

USER1 から 3 まで登録することができます。

USER NAME ..... SNMPv3 で使用するユーザ名を設定します。

SECURITY LEVEL ..... セキュリティレベルを設定します。

セキュリティレベル	認証プロトコル	メッセージ暗号化
No Auth/No Private	なし ( ユーザー名 )	なし
Auth/No Private	MD5 or SHA 1	なし
Auth/Private	MD5 or SHA 1	DES or AES

### AUTHENTICATION

認証プロトコルとパスワードを設定します。

### PRIVATE

プライバシープロトコルとパスワードを設定します。

### TRAP

トラップ機能の有効 / 無効を設定します。

有効にした場合、TRAP OPTION で設定した項目を通知します。

IP ADDRESS/PORT ..... トラップ機能での通知先アドレスとポート番号を設定します。

TRAP OPTION ..... トラップ機能で通知するイベントを設定します。

TRAP TEST ..... 通知先にトラップテストを送信することができます。

## ■ AMX設定

HOME 画面左側にある AMX をクリックして設定画面に入ります。

AMX BEACON ..... 本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からシステムへのビーコン送信機能の有効 / 無効を設定します。

### ご参考

AMX Device Discoveryは、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要なDevice Discovery ModuleをAMXのサーバからダウンロードする仕組みです。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### ■ SEARCH SETTINGS設定

検索に関する設定をします。

- SEARCH ..... 検索機能の有効 / 無効を設定します。  
AUTO ID/IP 設定を利用するときやアプリケーションで同じネットワーク上の機器を検索するとき  
に本機能を有効にしてください。
- PORT ..... 検索する UDP ポート番号を設定します。  
通常は初期値のままご利用ください。

### ■ NAME設定

各名称の設定をします。

- MONITOR NAME ..... 本機の名称を設定します (英数字最大 16 文字)。初期設定はモデル名です。  
この名称はアプリケーション使用時に同じネットワーク上の機器を検索すると表示されます。
- HOSTNAME ..... 本機のホスト名を設定します (英数字最大 15 文字)。
- DOMAIN NAME ..... 本機のドメイン名を設定します (英数字最大 60 文字)。

### ■ ACCOUNT設定

ACCOUNT に関する設定をします。

LOGIN PASSWORD SETTINGS .....本機にアクセスするときの設定をおこないます。

LOGIN PASSWORD: 本機へのアクセスにパスワードの可否を設定します。

HTTP PASSWORD SETTINGS.....パスワードを設定します。

### ■ PD LIST INFORMATION

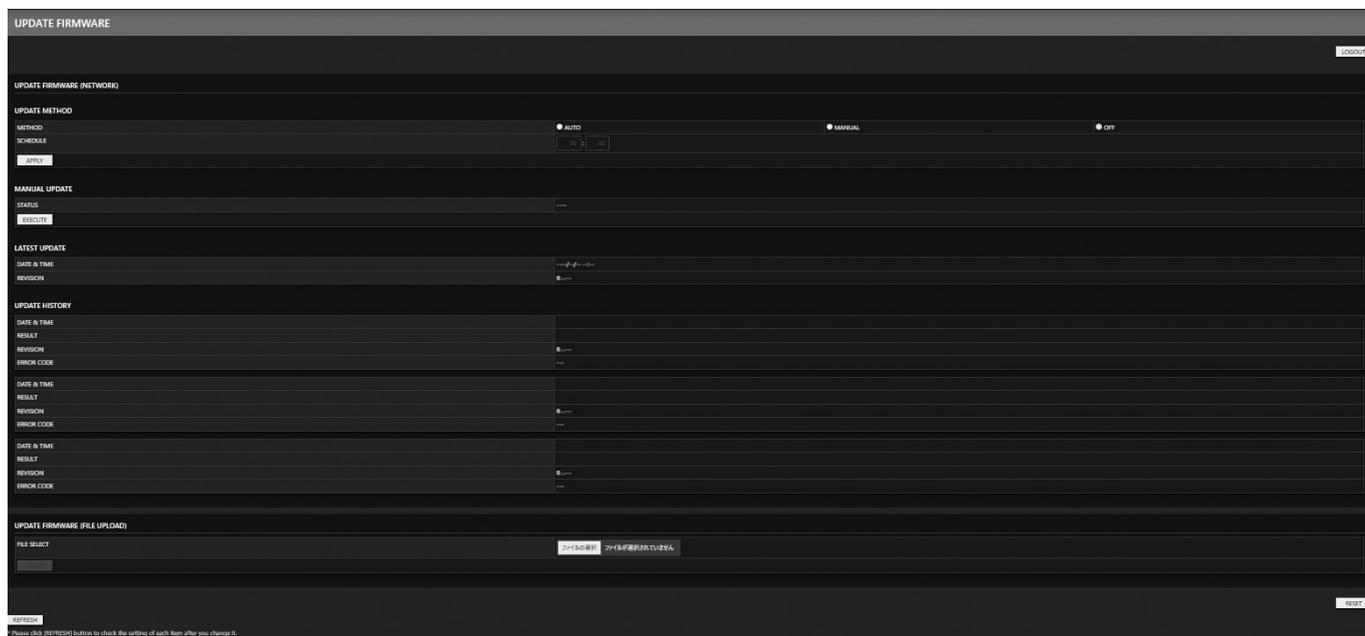
HOME 画面左側にある PD LIST をクリックして表示画面に入ります。

LAN を使ってマルチ接続（数珠つなぎ）されたディスプレイのモニター ID 番号と IP アドレスを表示します。親機のみリストが表示できます。

## コンピューターで本機を制御する(LAN)

### ■ UPDATE FIRMWARE 設定

インターネットを通じて新しいファームウェアに更新します。



#### UPDATE FIRMWARE(NETWORK)

##### UPDATE METHOD

ファームウェアの更新方法を設定します。

AUTO..... 「[SCHEDULE]」で設定した時刻にインターネットを通じて新しいファームウェアが利用できるか確認します。利用できる場合は自動的にファームウェアを更新します。

MANUAL ..... 「[SCHEDULE]」で設定した時刻にインターネットを通じて新しいファームウェアが利用できるか確認します。利用できる場合は「[MANUAL UPDATE]」に利用できることを表示します。

OFF..... インターネットを通じて新しいファームウェアの確認をおこないません。

##### SCHEDULE

設定した時刻に新しいファームウェアが利用できるか確認します。本設定をおこなうには、「[METHOD]」を「[AUTO]」または「[MANUAL]」に設定してください。

##### MANUAL UPDATE

新しいファームウェアが利用できるかどうかを表示します。また、EXECUTE を押すと、インターネットを通じて新しいファームウェアの確認や更新をおこないます。本機能を使用する際は、「[METHOD]」を「[AUTO]」または「[MANUAL]」に設定してください。

##### LATEST UPDATE

インターネットを通じて最後にファームウェアを更新した日付とリビジョンを表示します。

##### UPDATE HISTORY

過去3回分のインターネットを通じてファームウェアを更新した履歴を表示します。

#### UPDATE FIRMWARE(FILE UPLOAD)

##### FILE SELECT

ディスプレイにファームウェアファイルをアップロードして、ファームウェアを更新します。最新のファームウェアファイルは当社 HP からダウンロードしてください。

### コマンドによる制御

RS-232C 端子やネットワーク (LAN) 経由で接続した外部機器とコマンドを送受信することでディスプレイの制御ができます。それぞれのコマンドフォーマットは、Web サイトの外部制御コマンド説明書 (「付録 A 外部のリソース」[97 ページ](#)) を参照ください。

### Proof of Play機能

表示状態をセルフチェックし、ネットワークを通じて本機の状態を通知する機能です。詳しくは当社 Web サイトの外部制御コマンド説明書 (「付録 A 外部のリソース」[97 ページ](#)) を参照ください。

以下がセルフチェック項目です。

チェック項目		通知内容
①	選択されている映像入力	DisplayPort, USB-C, HDMI1, HDMI2, OPTION*, COMPUTE MODULE* <sup>1</sup>
②	入力信号の解像度	(例) (H)1920, (V)1080, (H)3840, (V)2160 or No signal or Invalid signal
③	入力されているオーディオ信号の有無	Audio in or No Audio in or N/A
④	映像の出力状態	Normal Picture or No Picture
⑤	オーディオの出力状態	Normal Audio or No Audio
⑥	年月日時間	年 / 月 / 日 / 時間 ( h ) / 分 ( m ) / 秒 ( S )
⑦	EXPANSION DATA	00h : Normal Proof of Play event 01h : Proof of Play event is "last power on time" 20h : Contents Copy from USB 21h : Contents Copy form network folder 30h : Contents Copy Success 31h : Contents Copy Error (No media) 32h : Contents Copy Error (Connect error) 33h : Contents Copy Error (Out of disk space) 34h : Contents Copy Error (Read/Write error) 40h : Human detected (Human sensor Status) 41h : Human detect cleared (Human Sensor Status)

\*: 対応するオプションボード装着時のみ切り替わります。対応可能なオプションボードについては販売店へお問い合わせください。

\*1: 動作しません。

#### 通知メッセージ例

- ① HDMI1
- ② 3840 x 2160
- ③ Audio in
- ④ Normal Picture
- ⑤ Normal Audio
- ⑥ 2024/1/1/0h/0m/0s
- ⑦ 30h : Contents Copy Success

# 故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。  
アフターサービスについては [93 ページ](#) をご覧ください。

## 表示されないときは…

症状	状態	原因と対処	参照
画面に何も映らない	電源ランプが赤色に点滅している場合	本機の故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.93
	電源ランプが点灯しない場合 OSDメニューの「システム」→「電源ランプ」が「オン」の場合	電源コードが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.23
		電源コンセントに正常に電気が供給されているか、別の機器で確認してください。 主電源スイッチがオフになっている可能性がありますので、確認してください。	P.25
	電源ランプが青色に点灯している場合	信号入力が無い入力端子が選択されている可能性があります。入力切替ボタンを押して、入力端子を切り替えてください。	P.14
		OSD 画面を表示し、以下の項目を確認してください。	
		● OSD 画面が表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.93
		● OSD 画面が正常に表示されれば故障ではありません。「映像設定」の「バックライト」と「コントラスト」を調節してください。	P.37
		● OSD 画面が正常に表示され、「バックライト」と「コントラスト」を調節しても画面が表示されない場合は、接続している機器が正しい動作状態にあることを確認してください。コンピューターと接続している場合は、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.94
	電源ランプが青色以外に点灯もしくは点滅している場合	パワーマネジメント機能が作動している可能性があります。キーボードの適当なキーを押すか、マウスを動かす、またはリモコンの POWER ボタンを押してください。	P.25、 P.26、 P.27
		信号ケーブルが本機または接続機器の端子に正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。	P.20
変換アダプターが正しく接続されていない可能性がありますので、確認してください。		P.20	
接続しているコンピューターや映像機器の電源が入っていない可能性がありますので、確認してください。			
USB-Cケーブルを USB Type-C1 (アップストリーム) 端子に接続してください。USB Type-C2 (ダウンストリーム) 端子に USB-C ケーブルを接続しても画面を表示しません。		P.22	
入力が USB Type-C1 (アップストリーム) の場合、電源ランプが橙色点灯または点滅の状態になると、映像信号を入力しても表示できません。映像信号入力で本機を復帰させる場合は、「クイック起動」を有効に設定してください。「クイック起動」が無効の場合は、リモコンもしくは本体の POWER ボタンで本機をオンにしてください。		P.26、 P.48	
画面が表示されなくなった	正常に表示されていた画面が、暗くなったり、ちらつくようになったり、表示しなくなった場合*	新しい液晶パネルとの交換が必要です。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。	P.93

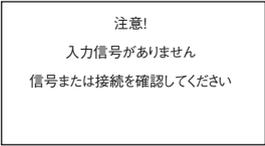
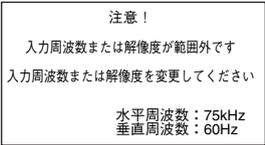
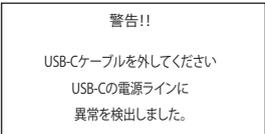
\* ディスプレイに使用しているバックライトには寿命があります。

## 表示がおかしいときは…

症 状	原因と対処	参照
画面上に黒点(点灯しない点)や輝点(点灯したままの点)がある	液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.3
画面表示の明るさにムラがある	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面に薄い縦縞の陰が見える	表示内容によってはこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
細かい模様を表示するとモアレが生じる	細かい模様を表示するとこのような症状が生じることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	
画面を見る角度によって色がおかしい	視野角(画面を見る角度)によっては、色相の変化が大きくなります。	P.95
画面の表示状態が変わっていく	ディスプレイは使用時間の経過に伴い表示状態が少しずつ変化します。また周囲の温度によっては画面の表示状態に影響を受けることがありますが、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。	P.27
画面を切り替えても前の画面の像が薄く残っている	同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。ただし、長時間 同じ画像を表示し続けると、消えない場合があります。	
表示色がおかしい	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 ● OSD画面が正常に表示されれば故障ではありません。「色のこさ」を選択し、お好みで色の割合を調節していただくか、または映像設定の「アドバンス」のリセットを実行して工場出荷値に戻してください。 ● OSD画面が正常に表示され、「映像設定」を調節してもコンピューターの画面が正常に表示されない場合は、コンピューターとの接続、コンピューターの周波数、解像度、出力信号の種類を確認してください。	P.93 P.37、 P.43 P.20、 P.37
画面がざらつく(上記以外の場合)、または映像が一瞬途切れる	中継器、分配器、長いケーブルを使用した場合、画面のざらつきや映像が一瞬途切れることがあります。ご使用のケーブルをシールド付きの物に交換する、もしくは中継器、分配器を使用せずに直接ディスプレイ本体にケーブルを接続してください。ツイストペアケーブル延長器をご利用の際はシールド付きケーブルに対応したものをご使用ください。また、使用環境や使用ケーブルによって画面にノイズが現れたり映像が途切れることがあります。接続されているシステムに関するご相談は、ご購入の販売店または営業担当にお問い合わせください。シャープサポートページの問い合わせフォームよりお問い合わせいただくことも可能です。 シャープサポートページ： <a href="https://jp.sharp/business/lcd-display/support/">https://jp.sharp/business/lcd-display/support/</a>	
	OSD画面を表示し、以下の項目を確認してください。 ● OSD画面が正常に表示されない場合は故障の可能性があります。販売店または修理受付/アフターサービス窓口にご相談ください。 ● HDMI入力を使用し、解像度3840×2160または4096×2160にて入力した際に映像が途切れる場合は、4K対応のHDMIケーブルをご使用ください。	P.93
自動的に電源が切れてしまう	「CEC」の設定を無効にしてください。	P.36
スケジュール機能で設定したとおりに動作しない	「オフタイマー」の設定を確認してください。「オフタイマー」が「オン」と設定されている場合は、スケジュール機能は動作しません。	P.44
画面が乱れる	電源を入れたとき、または設定を変更したときに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。	

## 故障かな?と思ったら

### 案内画面／注意画面が表示されたら…

症 状	原 因	対 処	参 照
画面に「注意」が表示された※1 	信号ケーブルが本体またはコンピューターの端子に正しく接続されていない可能性があります。	信号ケーブルを本体およびコンピューターの端子に正しく接続してください。	P.20
	HDMI入力が切り替わった可能性があります。	「CEC」の設定を無効にしてください。	P.36
	信号ケーブルが断線している可能性があります。	信号ケーブルが断線していないか確認してください。	
	コンピューターの電源が切れている可能性があります。	コンピューターの電源が入っているか確認してください。	
	コンピューターのパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。	マウスを動かすかキーボードのキーを押してください。	
※2 	本機に適切な信号が入力されていない可能性があります。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.94
	本機の対応する解像度よりも高い解像度の信号を入力しています。	入力周波数またはコンピューターの解像度を変更してください。	P.94
画面に「温度警告!!」が表示された	周りの環境が保証温度を超えた状態になっています。	故障の原因となりますので、電源を切ってください。	
	異常な電圧または電流が検出された場合に表示されます。	USB-C ケーブルを速やかに抜いてください。	P.21

※1 コンピューターによっては、解像度や入力周波数を変更しても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば、入力信号は適正です。

※2 コンピューターによっては電源を入れても正規の信号がすぐに出力されないため、注意画面が表示されることがありますが、しばらく待って画面が正常に表示されれば入力信号の周波数は適正です。

## その他（コンピューターと接続している場合）

症 状	原因と対処	参考
解像度や色数の変更ができない ／固定されてしまう	うまく信号が入出力できないことがまれにあります。本機とコンピューターの電源をいったん切り、もう一度電源を入れ直してください。	P.25
	ビデオカードのドライバーがOSに正しく認識されていない可能性があります。ビデオカードのドライバーを再インストールしてください。再インストールに関しては、コンピューターの取扱説明書を参照いただくか、コンピューターのサポート機関にお問い合わせください。	
接続しているUSB対応周辺機器が認識されない。 正常に動作しない。	Windowsをお使いの場合： USB対応周辺機器のデバイスドライバーが正常に組み込まれていない(ドライバーインストールが必要なUSB対応周辺機器のみ) USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。デバイスマネージャーで“不明なデバイス”と表示される場合は、“不明なデバイス”をデバイスマネージャー上で削除し、USB対応周辺機器のデバイスドライバーを組み込んでください。	
USB端子を多段接続（複数台の連結接続）した後に、USB対応周辺機器を接続すると、USB対応周辺機器が正常に動作しない。	USB対応周辺機器が、USB端子の多段接続に対応していない。 USB対応周辺機器をコンピューターに近いUSB端子に接続してください。	
USB Type-C（アップストリーム）接続で充電が始まらない、充電が不安定	電源ランプが赤色または橙色点灯、もしくは橙色点滅時は充電できません。通常動作時に充電されているかご確認ください。	P.27
	接続したUSB Type-C 機器が USB Power Delivery 規格に対応しているか確認してください。	
	USB-C ケーブルが USB Power Delivery の認証を取得しているか確認してください。	
	USB Type-C1（アップストリーム）端子の過電圧、過電流の可能性あります。USB-C ケーブルを取り外してください。	P.15
	オプションボード装着時は、USB Type-C1(アップストリーム)端子への電源供給は5V/3Aに制限されます。	P.95, P.97

## 故障かな?と思ったら

### その他 (リモコン、スピーカー)

症状	原因と対処	参照
リモコンで操作できない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● リモコンの乾電池の+が正しい向きに入っているか確認してください。</li> <li>● ディスプレイ本体またはリモート入力端子に接続したセンサーユニットの受光部に正しく向けていない可能性があります。</li> <li>● 「ロック設定」の選択が「IR」または「KEY &amp; IR」が設定されている可能性があります。リモコンロックを解除して通常のボタン動作に戻すには、DISPLAY ボタンを5秒以上押してください。</li> <li>● リモコンがIDモードになっている可能性があります。リモコンのREMOTE IDのCLEAR ボタンを5秒以上押すとリモコンはノーマルモードに戻ります。</li> <li>● モニターIDとリモコンIDの番号があっているか確認してください。番号があっていない場合は、「リモコンIDモード機能について」を参照し、番号を再設定してください。</li> </ul>	P.24, P.65, P.63
映像は出るが、音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>● オーディオケーブルが正しく接続されているか確認してください。また音声バランスが片側によっていないか確認してください。片側によっている場合はバランス設定をセンターに戻してください。</li> <li>● 消音状態になっていませんか。リモコンの MUTE ボタンを押して、音が出るかどうかを確認してください。</li> <li>● 音量が最小になっていませんか。本体の ◀▶ ボタンまたはリモコンの VOL+ または VOL- で音量を調節してください。</li> <li>● DisplayPort 接続している機器によっては音声出力非対応の場合があります。</li> </ul>	P.20, P.28, P.43

### その他 (USB、RS-232C または LAN で接続している)

症状	原因と対処	参照
RS-232C で制御できない	リバースタイプ(クロスタイプ)のRS-232C ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。	P.70
LAN で制御できない	LAN ケーブル(カテゴリ5以上)が正しく接続されているかを確認してください。	P.71
	ネットワーク設定が正しく設定されているか確認してください。	P.71
USB で制御できない	USB Type-C 1 (アップストリーム) 端子にケーブルが正しく接続されているかを確認してください。OSDメニューの「システム」→「外部制御」→「ポート」が「USB」になっていて、「システム」→「USB」→「PC ソース」が「自動」または「外部PC」に設定されているかを確認してください。	P.51, P.53

### 映像機器を使用するとき

症状	原因と対処	参照
映像も音も出ない	プレーヤーなどの外部機器は正しく接続し、正しく操作していますか。詳しくは外部機器の取扱説明書をご覧ください。	P.20
	本機のパワーマネージメント機能が作動している可能性があります。外部機器側が動作(再生)状態になっているかご確認ください。	P.27
色がつかない、色がおかしい	「色のこさ」の調節をしてください。	P.37
画面が縦長に見える	16:9の映像が4:3に圧縮され、縦長の映像として表示されている場合(スクイーズ信号)があります。正しい比率で見るために、画面の「アスペクト」を「ワイド」に設定してください。	P.31

# アフターサービスについて

## ■ 製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売店にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みの上大切に保存してください。

保証期間はご購入の日から3年間です（ただし、光源のLEDバックライトは消耗品ですので、保証の対象になりません）。

保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証書が適用される範囲は、製品のハードウェア部分に限らせていただきます。

修理の際の取り外し、再設置に要する費用は、別途お客様負担となります。

製品のハードウェア部分に起因しない不具合について復旧作業を行う場合は、別途作業費を申し受けます。

## ■ 補修用性能部品について

当社は、原則として、本製品の補修用性能部品を製造打切後、5年間保有しています。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品のことです。

## ■ 修理を依頼される時は（出張修理）

先に「故障かな？と思ったら」（88ページ）をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（同梱のご相談窓口のご案内）にご連絡ください。ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

### ご連絡していただきたい内容

- ・ 品名：インフォメーションディスプレイ
- ・ 形名：PN-M752/PN-P756/PN-M862/PN-M982（取り付けている別売品があれば、その形名も連絡ください。）
- ・ お買いあげ日（年月日）
- ・ 故障の状況（できるだけ具体的に）
- ・ ご住所（付近の目印も併せてお知らせください。）
- ・ お名前
- ・ 電話番号
- ・ ご訪問希望日

### 保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

### 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

アフターサービスについてわからないことは、ご購入の販売店またはもよりのお客様ご相談窓口（同梱のご相談窓口のご案内）にお問い合わせください。

# 仕様

画面解像度		ドット 周波数	水平 周波数	垂直 周波数	HDMI		DisplayPort / USB-C(USB2.0)					USB-C (USB3.2)	備考
					設定 2	設定 1	1.4SST	1.4MST	1.2SST	1.2MST	1.1a		
VGA	640 x 480	25.18 MHz	31.5 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
US TEXT	720 X 400	28.32 MHz	31.5 kHz	70 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
SVGA	800 X 600	40.00 MHz	37.9 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
XGA	1024 x 768	65.00 MHz	48.4 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
HD	1280 x 720	74.25 MHz	45.0 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
WXGA	1280 x 800	83.50 MHz	49.7 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
SXGA	1280 x 1024	108.00 MHz	64.0 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
WXGA+	1360 x 768	85.50 MHz	47.7 kHz	60 Hz	x	○	○	○	○	○	○	○	
	1366 x 768	85.50 MHz	47.7 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
SXGA+	1400 x 1050	121.75 MHz	65.3 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
WXGA+	1440 x 900	106.50 MHz	55.9 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
UXGA	1600 x 1200	162.00 MHz	75.0 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
WSXGA+	1680 x 1050	146.25 MHz	65.3 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
Full HD	1920 x 1080	148.50 MHz	67.5 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
WUXGA	1920 x 1200	193.25 MHz	74.6 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
4K/2	1920 x 2160	277.25 MHz	133.3 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
4K	3840 x 2160	209.75 MHz	52.4 kHz	24 Hz	x	x	x	○	x	x	○	○	
	3840 x 2160	297.00 MHz	54.0 kHz	24 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	
	3840 x 2160	297.00 MHz	56.3 kHz	25 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	
	3840 x 2160	262.75 MHz	65.7 kHz	30 Hz	x	x	○	○	○	○	○	○	
	3840 x 2160	297.00 MHz	67.5 kHz	30 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	
	3840 x 2160	594.00 MHz	112.5 kHz	50 Hz	○	x	x	x	x	x	x	x	
	3840 x 2160	533.25 MHz	133.3 kHz	60 Hz	x	x	○	x	○	x	x	x	推奨信号タイミング
	3840 x 2160	594.00 MHz	135.0 kHz	60 Hz	○	x	x	x	x	x	x	x	推奨信号タイミング
	4096 x 2160	223.00 MHz	52.4 kHz	24 Hz	x	x	○	○	x	x	x	x	簡易圧縮表示
	4096 x 2160	297.00 MHz	54.0 kHz	24 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	簡易圧縮表示
	4096 x 2160	297.00 MHz	56.3 kHz	25 Hz	○	x	x	x	x	x	x	x	簡易圧縮表示
	4096 x 2160	279.50 MHz	65.7 kHz	30 Hz	x	x	○	○	x	x	x	x	簡易圧縮表示
	4096 x 2160	297.00 MHz	67.5 kHz	30 Hz	○	x	x	x	x	x	x	x	簡易圧縮表示
	4096 x 2160	594.00 MHz	112.5 kHz	50 Hz	○	x	x	x	x	x	x	x	簡易圧縮表示
4096 x 2160	567.25 MHz	133.3 kHz	60 Hz	x	x	○	x	x	x	x	x	簡易圧縮表示	
4096 x 2160	594.00 MHz	135.0 kHz	60 Hz	○	x	x	x	x	x	x	x	簡易圧縮表示	
HDTV (1080p)	1920 x 1080	74.25 MHz	27.0 kHz	24 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1920 x 1080	74.25 MHz	28.1 kHz	25 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1920 x 1080	74.25 MHz	33.8 kHz	30 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1920 x 1080	148.50 MHz	56.3 kHz	50 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1920 x 1080	148.50 MHz	67.5 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
HDTV (1080i)	1920 x 1080 (Interlaced)	74.25 MHz	28.1 kHz	50 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	
	1920 x 1080 (Interlaced)	74.25 MHz	33.8 kHz	60 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	
HDTV (720p)	1280 x 720	74.25 MHz	37.5 kHz	50 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1280 x 720	74.25 MHz	45.0 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
SDTV (576p)	720 x 576	27.00 MHz	31.3 kHz	50 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
SDTV (480p)	720 x 480	27.03 MHz	31.5 kHz	60 Hz	○	○	○	○	○	○	○	○	
SDTV (576i)	720 x 576 (Interlaced)	27.00 MHz	15.6 kHz	50 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	
SDTV (480i)	720 x 480 (Interlaced)	27.03 MHz	15.8 kHz	60 Hz	○	○	x	x	x	x	x	x	

## ■ 製品仕様

形名	PN-M752	PN-P756	PN-M862	PN-M982
液晶表示素子	75V型ワイド(対角189.3 cm) TFT液晶		86V型ワイド(対角217.4 cm) TFT液晶	98V型ワイド(対角247.8 cm) TFT液晶
最大解像度	3840 × 2160			
最大表示色	約10.7 億色			
画素ピッチ	水平0.430 mm × 垂直0.430 mm		水平0.494 mm × 垂直0.494 mm	水平0.562 mm × 垂直0.562 mm
輝度(標準値)	550 cd/m <sup>2</sup> *1	700 cd/m <sup>2</sup> *1	550 cd/m <sup>2</sup> *1	
コントラスト(標準値)	1200:1			
視野角	左右178°/上下178°(コントラスト比≥10)			
表示画面サイズ	横1649.66 mm × 縦927.94 mm		横1895.04 mm × 縦1065.96 mm	横2158.85 mm × 縦1214.35 mm
応答速度(標準値)	8ms(Gray to Gray)			
プラグ&プレイ	VESA対応			
入力端子	映像/音声	HDMI(2系統) DisplayPort(1系統) USB Type-C (1系統)		
	シリアル(RS-232C)	D-sub9ピン(1系統)		
	リモート	φ3.5ステレオミニジャック(1系統)		
出力端子	映像/音声	HDMI(1系統) DisplayPort(1系統)		
	音声	φ3.5mmミニステレオジャック(1系統)		
USB端子	USB 2.0/USB 3.2 Gen 1 準拠(USB Type-A)(1系統) USB 2.0/USB 3.2 Gen 1 準拠(USB Type-C)(1系統) サービスマネージャ(USB Type-A)(1系統)			
LAN端子	10BASE-T/100BASE-TX			
電源供給端子	5 V, 0.9 A (USB Type-A) 5 V, 1.5 A (USB Type-C2 ダウンストリーム) 5 V/3 A, 9 V/3 A, 12 V/3 A, 15 V/3 A, 20 V/3.25 A (オプションボード装着時: 5 V/3 A)(USB Type-C1 アップストリーム) 5 V, 0.5 A (USB Type-A) (サービスマネージャ)			
オプションボードスロット	12 V, 5.5 A(別売品での機能拡張時の供給電力)			
スピーカー出力	10W + 10W			
電源*2	AC100-240V, 4.6 A - 1.9 A, 50/60Hz	AC100-240V, 5.4 A - 2.2 A, 50/60Hz	AC100-240V, 5.9 A - 2.4 A, 50/60Hz	AC100-240V, 6.7 A - 2.7 A, 50/60Hz
使用温度条件*3	0~40℃			
使用湿度条件	20~80%(結露なきこと)			
使用高度条件	3000m以下			
保管温度条件	-20℃~60℃			
保管湿度条件	10%~80%(結露なきこと)			
消費電力*4 (最大/ネットワークスタンバイモード*5/スタンバイモード*6)	140 W (410 W/2.0 W/0.5 W)	170 W (480 W/2.0 W/0.5 W)	190 W (525 W/2.0 W/0.5 W)	210 W (595 W/2.0 W/0.5 W)
外形寸法(突起部を除く)	幅約1682.3 mm × 奥行約83.2 mm × 高さ約961.1 mm		幅約1927.6 mm × 奥行約 83.2 mm × 高さ約1099.1 mm	幅約2194.7 mm × 奥行約 84.3 mm × 高さ約1250.2 mm
質量	約38.0 kg		約47.0 kg	約68.0 kg
梱包時寸法	幅約1830 mm × 奥行約225 mm × 高さ約1070 mm		幅約2090 mm × 奥行約225 mm × 高さ約1225 mm	幅約2350 mm × 奥行約310 mm × 高さ約1400 mm
梱包時質量	約 51 kg		約 64 kg	約 99 kg

- ※1 輝度は、入力モードや映像調節の設定などにより変わります。  
また、輝度は経年により劣化します。一定の輝度を維持するものではありません。
- ※2 AC200V(50/60Hz)のコンセントを使用するときは、別売の電源コード(QACCJ1093MPPZ)を使用してください。
- ※3 別売品を付けると温度条件が変わる場合があります。  
別売品取り付け時の温度条件は、別売品の説明書をご確認ください。
- ※4 工場出荷時の設定条件(別売品未装着)。
- ※5 別売品未装着時。ネットワークスタンバイに移行するまでの待機時間：20秒(工場出荷時の設定)。  
入力がUSB-Cの場合のみ、スタンバイに移行するまでの待機時間：3分。
- ※6 別売品未装着時。スタンバイモードに移行するまでの待機時間：3.5分(工場出荷時の設定)。

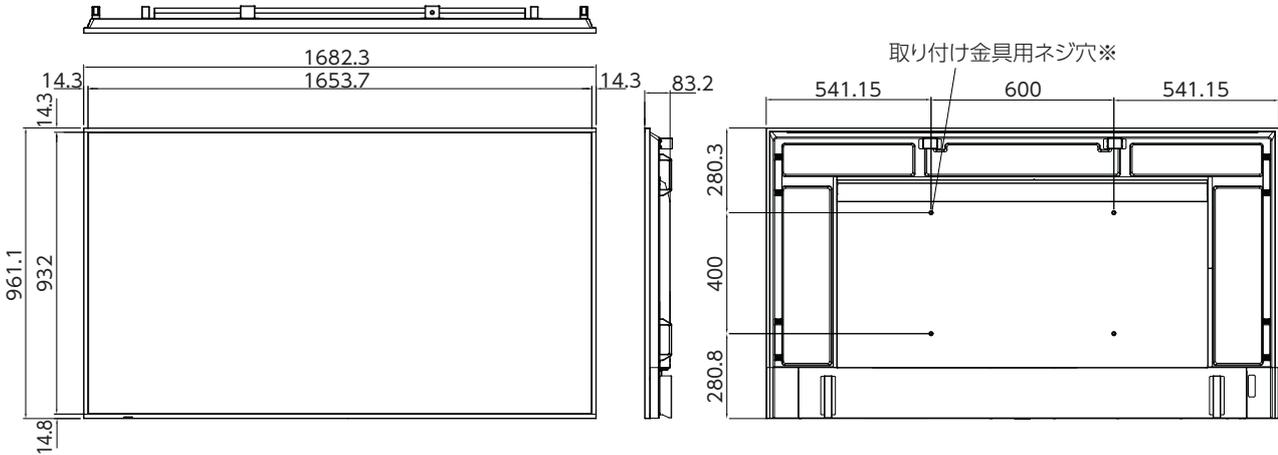
# 仕様

## ■ 寸法図

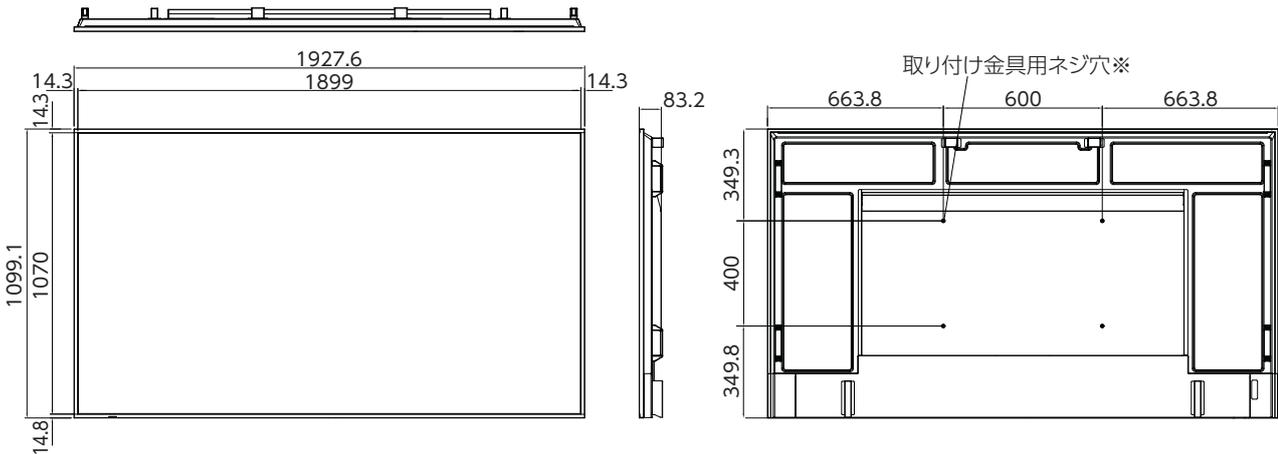
数値はおよその値です。

[PN-M752/PN-P756]

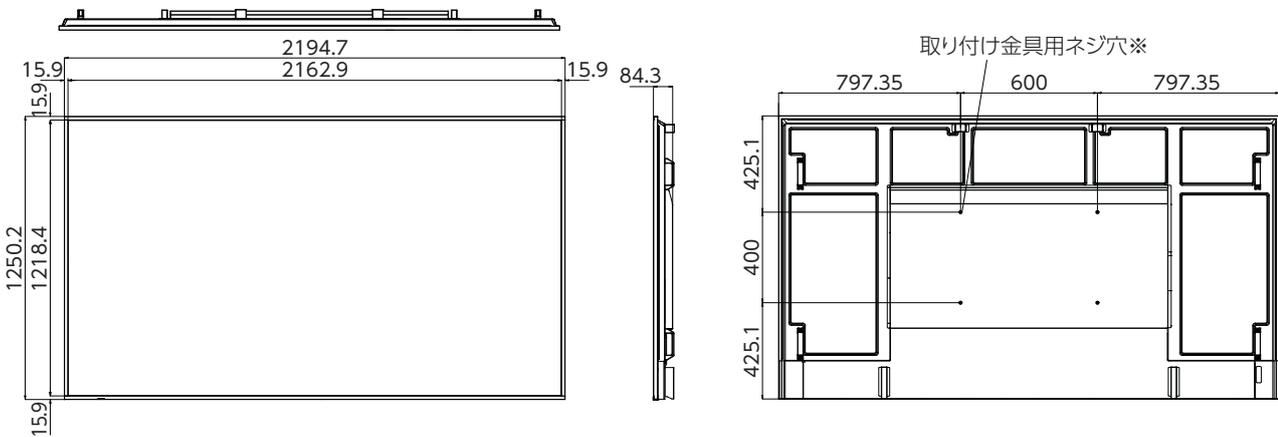
(単位 : mm)



[PN-M862]



[PN-M982]



※金具の取り付けには、指定のネジ(99ページ)を使用してください。

# 付録-A 外部のリソース

本機の仕様、アクセサリやオプションのソフトウェアに関するドキュメントで、取扱説明書にも記載されているものは以下のとおりです。

## ■ 本機についての Web サイト

日本：<https://jp.sharp/business/lcd-display/>

## ■ 補足ドキュメント

### 外部制御コマンド説明書

RS-232C または LAN を介してディスプレイを外部制御したりディスプレイへの問い合わせをするための通信プロトコルについて記載しています。このプロトコルは符号化バイナリを用いており、チェックサム計算が必要で、ディスプレイのほぼすべての機能を制御できるコマンドです。

詳細は Web サイトを参照ください。

## ■ ソフトウェア

### 「NaViSet Administrator」ソフトウェア



ディスプレイおよびプロジェクターをネットワークを介して高度に、かつパワフルに制御・監視し、資産を管理するフリーソフトです。Windows および macOS 環境下で動作します。

最新バージョンの「NaViSet Administrator」ソフトウェアについては、販売店またはご相談窓口にお問い合わせください。

### 「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェア

各ソフトウェアの最新版の確認とダウンロードができます。Windows 環境下で動作します。

「インフォメーションディスプレイダウンローダー」ソフトウェアは、以下の Web サイトからダウンロードできます。

[https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver\\_soft.html](https://jp.sharp/business/lcd-display/support/download/driver_soft.html)

# 設置時の注意事項（ご販売店・設置業者様用）

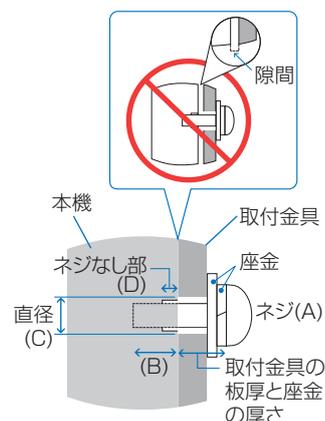
設置の前に「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。

ご販売店、設置業者様は以下の説明をお読みのうえ本機を設置してください。

## 取付金具について

- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。本機の4倍の質量に耐えるものを使用してください。
- 取り付け前に、強度など安全性を確認してください。
- 金具の一部がディスプレイの通風孔をふさがないようにご注意ください。
- 取り付け方法、安全な設置方法の詳細は、市販の取付金具の取扱説明書を参照ください。
- 取付穴は後面に4個あります。取り付けの際は上下左右均等に取り付けてください。（推奨取り付け例は「設置方法」を参照ください）
- ディスプレイへの金具の取り付けには以下のサイズのネジを使用し、しっかりと締めてください。

ネジサイズ		ネジ穴直径	ネジなし部	締付トルク
(A)	(B)	(C)	(D)	
M8(4本)	16~18 mm	≤ $\varnothing$ 12 mm	6 mm	950~1600 N・cm

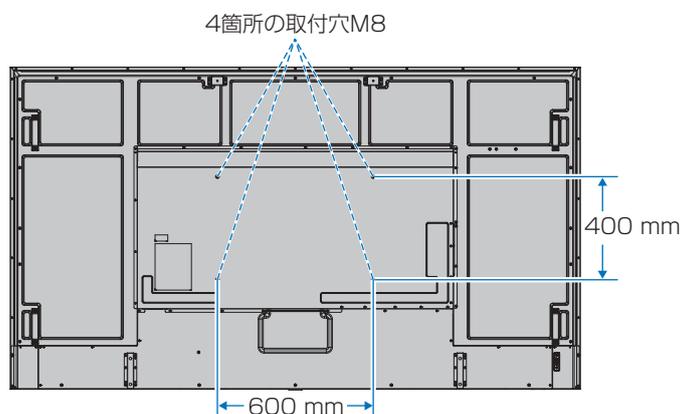


### ■ 設置方法

設置の際は、必要に応じてアイボルト (M10) を使用して吊り上げ装置 (機械) 等で本機を吊り上げて設置してください。この際、アイボルトが緩んでいないことを確認してください。人の力だけで本機を持ち上げると、落下してけがの原因となることがあります。

#### ■ ご注意

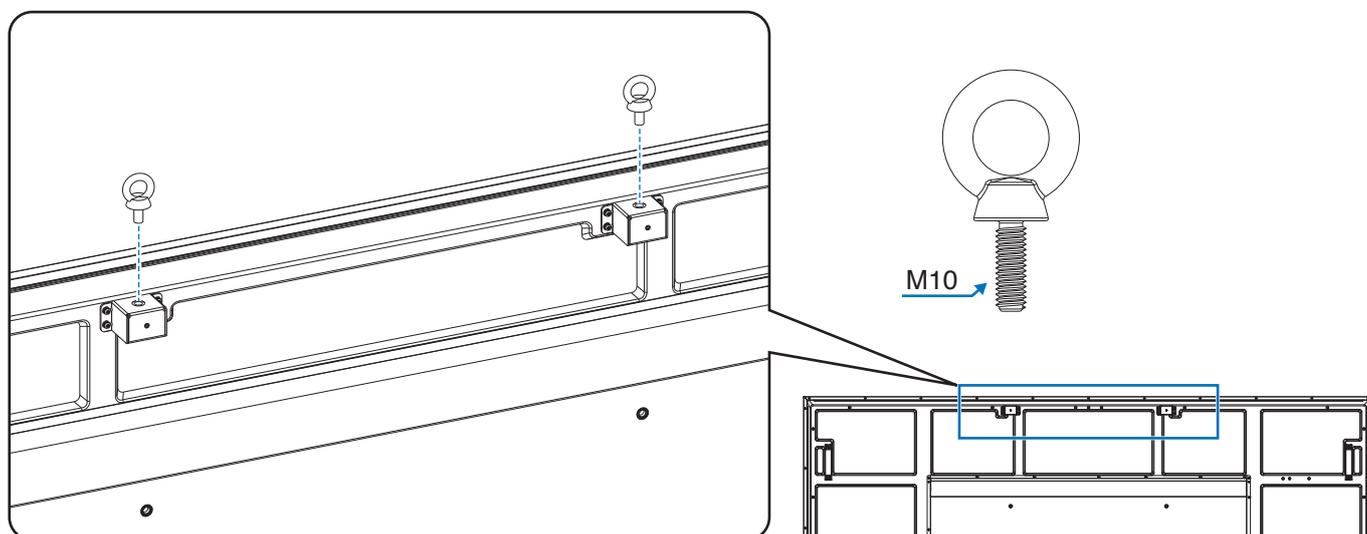
- 取り付け時は本機の取っ手と右下および左下部分を持ち、表示面に触れないようにしてください。他の場所に力が加わるとディスプレイが変形するおそれがあります。
  - 必ずディスプレイより大きい場所の上に置いてください。
1. 机の上のような平らな場所にマットや毛布など柔らかいものを敷きます。
  2. ディスプレイをその上に置きます。
  3. 市販の取付金具を取り付けてください。  
取り付け、取り外し方法の詳細は、市販の壁掛け用や天吊り用金具の取扱説明書を参照してください。



### ■ 壁掛け用や天吊り用として使用する場合

#### アイボルト(市販品)の取り付け

アイボルトブラケットに市販のアイボルトを (M10) をしっかり締め付けて固定してください。



## 設置時の注意事項(ご販売店・設置業者様用)

### 設置時の注意事項

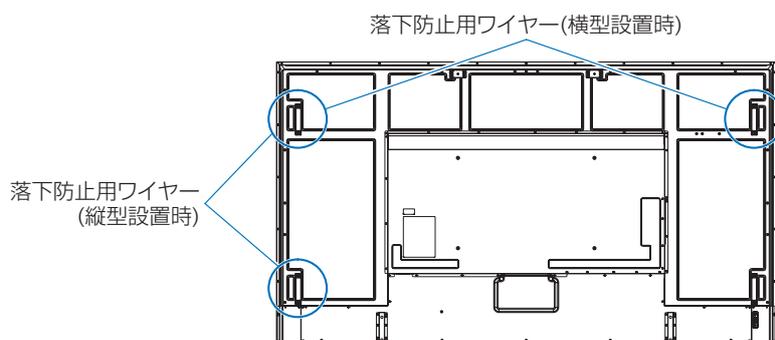
- 設置する際は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- アイボルト (M10) は本機の設置作業をする目的で、かつ一時的使用のものです。
- 設置する際はアイボルトだけでなく、市販の取付金具が必要です。
- 市販の取付金具は、本機を支えるのに十分なものを選んでください。
- 壁や天井などに取り付ける際は、本機と取り付け金具を合わせた4倍の質量に耐える場所 (コンクリートの壁や柱など) に取り付けてください。本機の質量は「仕様」を参照ください。

### ■ 落下防止対応のお願い

ディスプレイを壁掛けや天吊りで設置する場合は、市販の壁掛け・天吊り金具を使用し、さらに落下防止用ワイヤーを設置してください。

### 落下防止用ワイヤー取り付け可能取っ手位置

落下防止用ワイヤーは下図で示した取っ手を使用して取り付けてください。



### ■ 自立スタンド(別売を使用する場合)

スタンドの取り付けは、必要に応じてアイボルトを使用して吊り上げ装置 (機械) 等で本機を吊り上げてください。この際、アイボルトが緩んでいないことを確認してください。人の力だけで本機を持ち上げると、落下してけがの原因となることがあります。

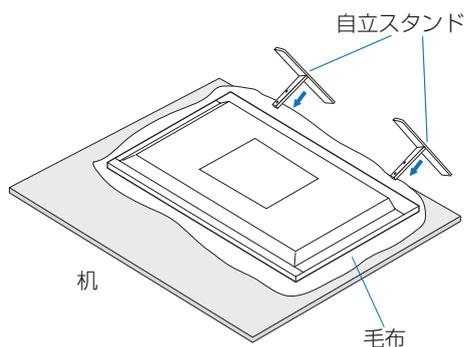
マットや毛布など柔らかいものを敷いた上に本機をパネル面が下になるように置いてください。スタンドの取り付けにはスタンドの取扱説明書を良くお読みください。

#### 適合スタンド

ST-801 (ネジ付属)

#### ご注意

- スタンドに付属のネジをお使いください。
- 横型設置のみ対応です。



# Crestron Connected 機能について

## ■ Crestron Connected設定

Crestron Electronics 社製の機器やソフトウェアから、ネットワーク経由で本機を操作することができます。Crestron Connected は、Crestron Electronics 社が開発した、ネットワークに接続された複数の機器を管理・制御するための機能です。詳細は、Crestron Electronics 社のホームページをご覧ください。

<https://www.crestron.com/>

本機は、「Crestron Fusion」「Crestron XiO Cloud」に対応しており、Crestron XiO Cloud サービスと互換性があります。詳細は、Crestron Electronics 社のホームページをご覧ください。

<https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/Crestron-Fusion>

<https://www.crestron.com/Products/Featured-Solutions/XiO-Cloud>

Crestron Connected	<input checked="" type="radio"/> Disable	<input type="radio"/> Enable			
MODE TYPE	<input type="radio"/> Disable	<input type="radio"/> Control System	<input type="radio"/> VC-4	<input type="radio"/> Fusion On-Premises	<input type="radio"/> Fusion in the Cloud
AUTO DISCOVERY	<input type="radio"/> Disable	<input type="radio"/> Enable			
XiO Cloud	<input type="radio"/> Disable	<input type="radio"/> Enable			
SERIAL NUMBER	0123456789				
MAC ADDRESS	00:52:13:0F:55:66				

APPLY

Crestron Connected .....Crestron Connected の有効 / 無効を設定します。

MODE TYPE.....モードを設定します。有効にできるのは「Control System」、 「VC-4」、 「Fusion On-Premises」、 「Fusion in the Cloud」 のうちいずれか 1 つです。  
 「Disable」 を設定した場合、「CONTROL SYSTEM」、 「VC-4」、 [Fusion On-Premises]、 [Fusion in the Cloud] を無効にします。

AUTO DISCOVERY .....本機を自動的に検出するかどうか設定します。

XiO Cloud.....XiO Cloud を使用するかどうか設定します。

## Crestron Connected 機能について

### Control System

「MODE TYPE」で「Control System」を選択した場合、Control System の設定項目が表示されます。

Crestron Connected	
Crestron Connected	<input type="radio"/> Disable <input checked="" type="radio"/> Enable
MODE TYPE	<input type="radio"/> Disable <input checked="" type="radio"/> Control System <input type="radio"/> VC-4 <input type="radio"/> Fusion On-Premises <input type="radio"/> Fusion in the Cloud
Control System	
IP ADDRESS	192 . 168 . 0 . 100
PORT	41794 (* from 1024 to 65535)
IP ID	3 (* from 3 to 254)
USE TLS	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable
VERIFY CERTIFICATE	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable
SECURE PORT	41796 (* from 1024 to 65535)
USER NAME	<input type="text"/> * MAX 20 ASCII characters except ':'
PASSWORD	<input type="text"/> * MAX 16 ASCII characters except ':'
AUTO DISCOVERY	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable
XiO Cloud	<input type="radio"/> Disable <input type="radio"/> Enable
SERIAL NUMBER	0123456789
MAC ADDRESS	ABCDEF:1234:5678
<input type="button" value="APPLY"/>	

IP ADDRESS.....Control System の IP アドレスを設定します。

PORT.....Control System に接続するときのポート番号を設定します。

IP ID.....Control System に接続するときの ID を設定します。

USE TLS.....TLS による暗号化通信を使用するかどうかを設定します。

VERIFY CERTIFICATE.....TLS を使う場合、証明書による認証をするかどうかを設定します。

SECURE PORT.....TLS を使う場合、ポート番号を設定します。

USER NAME.....TLS を使う場合、ユーザー名を設定します。

PASSWORD.....TLS を使う場合、パスワードを設定します。

## VC-4

「MODE TYPE」で「VC-4」を選択した場合、VC-4 の設定項目が表示されます。

- IP ADDRESS.....VC-4 の IP アドレスを設定します。
- PORT .....VC-4 に接続するときのポート番号を設定します。
- IP ID .....VC-4 に接続するときの ID を設定します。
- VIRTUAL CONTROL ROOM ID .....VIRTUAL CONTROL ROOM に接続するときの ID を設定します。
- USE TLS.....TLS による暗号化通信を使用するかどうか設定します。
- VERIFY CERTIFICATE.....TLS を使う場合、証明書による認証をするかどうか設定します。
- SECURE PORT .....TLS を使う場合、ポート番号を設定します。
- USER NAME .....TLS を使う場合、ユーザー名を設定します。
- PASSWORD.....TLS を使う場合、パスワードを設定します。

## Crestron Connected 機能について

### Fusion On-Premises

「MODE TYPE」で「Fusion On-Premises」を選択した場合、Fusion On-Premises の設定項目が表示されます。

The screenshot shows the 'Crestron Connected' settings page. At the top, there are two radio buttons: 'Disable' (selected) and 'Enable'. Below this is the 'MODE TYPE' section with five radio buttons: 'Disable' (selected), 'Control System', 'VC-4', 'Fusion On-Premises', and 'Fusion in the Cloud'. The 'Fusion On-Premises' section is active, showing a 'PORT' field with the value '41794'. Below that are 'AUTO DISCOVERY' and 'XiO Cloud' sections, both with 'Disable' and 'Enable' radio buttons. At the bottom, there are fields for 'SERIAL NUMBER' (0123456789) and 'MAC ADDRESS' (BC:52:1B:0F:85:6E), followed by an 'APPLY' button.

PORT .....Fusion On-Premises に接続するときのポート番号が表示されます。

### Fusion in the Cloud

「MODE TYPE」で「Fusion in the Cloud」を選択した場合、Fusion in the Cloud の設定項目が表示されます。

The screenshot shows the 'Crestron Connected' settings page. At the top, there are two radio buttons: 'Disable' and 'Enable' (selected). Below this is the 'MODE TYPE' section with five radio buttons: 'Disable', 'Control System', 'VC-4', 'Fusion On-Premises', and 'Fusion in the Cloud'. The 'Fusion in the Cloud' section is active, showing a 'URL' field (empty) and a 'PORT' field with the value '443'. Below that are 'AUTO DISCOVERY' and 'XiO Cloud' sections, both with 'Disable' and 'Enable' radio buttons. At the bottom, there are fields for 'SERIAL NUMBER' (0123456789) and 'MAC ADDRESS' (BC:52:1B:0F:85:6E), followed by an 'APPLY' button.

URL .....Fusion in the Cloud の URL を設定します。

PORT .....Fusion in the Cloud に接続するときのポート番号が表示されます。

APPLY: 設定を適用します。

### MANAGE CERTIFICATE

Control System と VC-4 の証明書を本機にインポートします。  
登録済みの証明書がある場合は、削除してから設定する証明書をインポートしてください。証明書のフォーマットは「.cer」  
「.der」です。

Control System	STATUS	NOT INSTALLED
	VALID FROM	
	VALID TO	
	FILE	ファイルの選択 ファイルが選択されていません
	IMPORT/DELETE	IMPORT DELETE
VC-4	STATUS	NOT INSTALLED
	VALID FROM	
	VALID TO	
	FILE	ファイルの選択 ファイルが選択されていません
	IMPORT/DELETE	IMPORT DELETE

RESET

RESET: 設定を工場出荷時の状態に戻します。

### ご参考

インポートされた証明書は RESET では削除されません。証明書を削除する場合は、それぞれの DELETE ボタンを押して削除してください。

# シャープ株式会社

本社 〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

●住所などは変わることがあります。(2025.5)